

**MUTOH**

**取扱説明書**

**OPERATION  
MANUAL**

**MUTOH Layer Editor**

ご使用前に必ずお読みください

# 目次

<b>1. はじめに .....</b>	<b>1</b>
<b>2. 動作環境 .....</b>	<b>2</b>
<b>3. 起動する前に.....</b>	<b>3</b>
3.1. 機体の登録 .....	3
3.1.1. Windows プリンタードライバーを使用して印刷 .....	3
3.1.2. RIP ソフトウェアを使用して印刷 .....	3
3.2. 印刷データ「カラーモード」.....	4
<b>4. プリンタードライバー.....</b>	<b>6</b>
4.1. プリンタードライバーを起動する .....	6
4.2. ドライバ出力先設定.....	8
4.3. MUTOH Layer Editor を起動する.....	8
4.4. カラーモードの選択 .....	9
4.4.1. XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF .....	9
4.4.2. VJ-628X.....	11
4.4.3. VJ-628MP.....	12
4.4.4. VJ-1627MH .....	13
<b>5. レイヤー印刷の基本手順 .....</b>	<b>14</b>
5.1. MUTOH Layer Editor を起動する.....	14
5.2. 初期設定（初回起動時）.....	15
5.2.1. プリンタードライバーを使用する機種 .....	15
5.2.2. RIP を使用する機種 .....	16
5.2.3. インクセットの設定 .....	17
5.2.4. XPJ-661UF / VJ-626UF ロータリーユニット .....	18
5.3. 起動時動作 .....	19
5.4. メニュー構成 .....	20
5.5. ドキュメント表示 .....	21
5.6. 印刷方法（レイヤーモード）の選択.....	29
5.6.1. 通常印刷 .....	30

5.6.2.	シングルレイヤー印刷.....	30
5.6.3.	マルチレイヤー印刷.....	32
5.6.4.	オーバーコート印刷.....	33
5.7.	機種別レイヤーモード種類 .....	34
5.7.1.	XPJ-461UF / XPJ-661UF .....	34
5.7.2.	VJ-426UF / VJ-626UF .....	35
5.7.3.	XPJ-661UF / VJ-626UF ロータリーユニット .....	36
5.7.4.	VJ-1626UH.....	37
5.7.5.	VJ-1638UH.....	38
5.7.6.	VJ-1638UR.....	39
5.7.7.	VJ-1617H / VJ-1627MH .....	40
5.7.8.	VJ-628MP.....	41
5.7.9.	VJ-628X / VJ-1628X.....	42
5.8.	印刷データの選択.....	44
5.9.	各種機能.....	49
5.9.1.	名称変更.....	49
5.9.2.	プレビュー.....	51
5.9.3.	詳細 .....	56
5.9.4.	スプールフォルダ .....	58
5.9.5.	サポート.....	63
5.10.	VJ-1638UR シングルレイヤーモード印刷 基本手順.....	67
5.11.	VJ-1638UH シングルレイヤーモード印刷 基本手順.....	72
5.12.	XPJ-461UF-/ XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF マルチレイヤーモード印刷77 基本手順 .....	77
5.13.	VJ-628X / VJ-1628X Metallic Library 印刷 基本手順 .....	82
5.14.	コピー印刷.....	87
5.15.	プリンタ操作 .....	89
5.15.1.	メイン画面 .....	90
5.15.2.	エキスパート設定 .....	91
5.16.	レイヤーセット .....	95
5.16.1.	印刷内容の保存 .....	95
5.16.2.	レイヤーセット保存 .....	96
5.16.3.	メイン画面「レイヤーセット」表示.....	98

## 6. レイヤー印刷の仕上がり調整方法 ..... 100

6.1.	特定のレイヤーを厚くする .....	100
------	--------------------	-----

6.2.	光沢処理 .....	102
<b>7.</b>	<b>画面毎の説明 .....</b>	<b>104</b>
7.1.	メイン画面(1) .....	104
7.2.	メイン画面(2) .....	106
7.3.	メイン画面(3) リスト表示 ドキュメント .....	107
7.4.	メイン画面(4) リスト表示 レイヤーセット .....	108
7.5.	メイン画面(5) ドキュメント リスト表示 マルチレイヤー印刷 .....	109
7.6.	メイン画面(6) XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF オプション .....	110
7.7.	メイン画面(7) VJ-1638UH / VJ-1638UR / VJ-1626UH オプション .....	112
7.8.	メイン画面(8) VJ-628X / VJ-1628X 8色 ① オプション .....	114
7.9.	メイン画面(9) VJ-628X / VJ-1628X 8色 ② Metallic Library .....	115
7.10.	メイン画面(10) XPJ-661UF / VJ-626UF ロータリーユニット .....	116
7.11.	レイヤーモード選択画面 .....	117
7.12.	詳細情報画面 .....	118
7.13.	パス間重ね設定 .....	120
7.14.	プレビュー表示 .....	121
7.15.	プリンタ管理 .....	122
7.16.	その他のプリンタ .....	123
7.17.	フォルダ管理(スプールフォルダ、ホットフォルダ) .....	124
7.18.	フォルダ履歴 .....	125
7.19.	サポート .....	126
7.20.	名称変更 .....	127
7.21.	レイヤーセット保存 .....	128
7.22.	エキスパート設定(1) VPJ-461UF / XPJ-661UF .....	129
7.23.	エキスパート設定(2) VJ-628X / VJ-1628X / VJ-1617H / VJ-628MP / VJ-1627MH .....	131
7.24.	エキスパート設定(3) VJ-426UF / VJ-626UF / VJ-1626UH .....	133
7.25.	エキスパート設定(4) VJ-1638UH / VJ-1638UR .....	135
7.26.	カラーモード編集 .....	137
7.27.	カラー選択 .....	138
7.28.	バージョン表示画面 .....	139
<b>8.</b>	<b>FAQ .....</b>	<b>140</b>

# 1. はじめに

MUTOH Layer Editor(以下、Layer Editor)はレイヤー印刷機能を向上させるアプリケーションです。

以下のような特徴があります。

- Windows プリンタードライバー、RIP ツールから出力した印刷データを組み合わせ、レイヤーデータを作成できます。

## 対象機種

XPJ-461UF	XPJ-661UF			
VJ-426UF	VJ-626UF	VJ-628X	VJ-628MP	VJ-1627MH
VJ-1638UH	VJ-1626UH	VJ-1617H	VJ-1628X	VJ-1638UR

- 仕上がりまでを指定してから印刷を開始できる為、誤操作を防ぎます。  
プリンタードライバー及び RIP ツールで Layer Editor に出力したデータは保存されており、再利用する事ができます。プリンタードライバー及び RIP ツールで印刷した複数のデータから、1 回のプリントヘッドの移動で 3 層までを作画する、シングルレイヤー印刷用データに変換する事ができます。
- 機種「XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF」マルチレイヤー印刷の場合は、最大 15 層のレイヤーデータを 1 つのジョブとしてプリンタに送信する為、複数の PC でプリンタを共有している場合でも、レイヤー印刷中に他のプリンタから割り込まれることはありません。

本書では Layer Editor Ver.5.2.0 の操作方法についてご説明致します。

尚、名称、デザインおよび仕様については予告なく変更になる可能性があります。

本書に記載されている Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

## 2. 動作環境

- 対象機種専用の Windows プリンタードライバーか RIP ツールを PC にインストールしておく必要があります。
- 対応する Windows プリンタードライバーのバージョンは Ver.1.0.0 以降です。
- Layer Editor の推奨環境は Windows プリンタードライバー、RIP ツールの推奨環境に準じます。

### 必要なシステム構成

オペレーティングシステム (OS)	Windows7	Service Pack 1 以降 [32bit/64bit]
	Windows8/8.1	[32bit/64bit]
	Windows10	[32bit/64bit]
	* サービスパッチなどは最新を適用してください。	
ビデオカード及びディスプレイ	横 1366 × 縦 768 ピクセル以上の表示が可能なものを推奨	

### 注 記

印刷ドキュメントとプレビュー画像を PC 上に保存します。大量にデータを保存する場合は「7.17 フォルダ管理 (スプールフォルダ、ホットフォルダ)」に従って保存場所を指定してください。

## 3. 起動する前に

### 3.1. 機体の登録

Layer Editor でデータの編集、印刷をするために機体の登録をおこないます。機体の登録は「機種」と「IP アドレス」の設定が必要です。以下のいずれかの方法で機種名と IP アドレスを追加してください。

#### 3.1.1. Windows プリンタードライバーを使用して印刷

XPJ-461UF	XPJ-661UF			
VJ-426UF	VJ-626UF	VJ-628X	VJ-628MP	VJ-1627MH

上記のプリンタは、付属のCDROMにプリンタードライバーが含まれています。

Layer Editor を使用する前に、プリンタードライバーをご使用のコンピューターにインストールしてください。インストール後に Layer Editor を起動すると、機種と IP アドレスが自動的に Layer Editor に設定され、プリンタードライバーを介してデータの送信・印刷が可能になります。

設定方法の詳細については後述の「4 プリンタードライバー」「5.2.1 プリンタードライバーを使用する機種」をご覧ください。

#### 3.1.2. RIP ソフトウェアを使用して印刷









Layer Editor 起動時、対象のプリンタ機種と IP アドレスをプリンタダイアログで追加します。RIP ツールを使用し印刷データの作成をおこない、Layer Editor で印刷データの編集、印刷がおこなえます。








設定方法の詳細については後述の「5.2.2RIP を使用する機種」をご覧ください。

### 3.2. 印刷データ「カラーモード」

Layer Editor では Windows プリンタードライバー、または RIP ツールより出力した印刷データを使用しレイヤー印刷をおこないます。この際、各印刷データの「カラーモード」に基づき設定をおこないます。使用できるカラーモードは機種、インクセットによって異なります。

機種「VJ-628MP」ではインクセット 5 色と 7 色、「VJ-628X」及び「VJ-1628X」ではインクセット 7 色と 8 色の選択に応じて表示するカラーモードが異なります。設定は「5.2.3 インクセットの設定」で行います。

6 色セット「KCMYWV」				
インクセット		対応機種	カラーモード	
K	 ブラック	XPJ-461UF	カラー	
C	 シアン	XPJ-661UF		
M	 マゼンタ	VJ-426UF		
Y	 イエロー	VJ-626UF(*1)	ホワイト	
W	 ホワイト	VJ-1626UH		
V	 バーニッシュ	VJ-1638UH	バーニッシュ	
		VJ-1638UR(*2)		










5 色セット「KCMYW」				
インクセット		対応機種	カラーモード	
K	 ブラック	VJ-628MP VJ-1627MH VJ-1617H	カラー	
C	 シアン			
M	 マゼンタ			
Y	 イエロー		ホワイト	
W	 ホワイト			













#### 注 記

(\*1) XPJ-661UF / VJ-626UF では円筒治具での印刷をサポートする「ロータリーユニット」モードがあります。設定方法については後述の「5.2.4XPJ-661UF / VJ-626UF ロータリーユニット」をご覧ください。

(\*2) VJ-1638UR ではインク 5 色組み合わせ「カラー・バーニッシュ(KCMYV)」とした時、一部のシングルレイヤーモードが無効になります。5 色組み合わせの際は「5.7.6 VJ-1638UR」にてレイヤーモードの確認をお願いします。



7 色セット「KCMYLCmW」				
インクセット		対応機種	カラーモード	
K	 ブラック	VJ-628MP VJ-628X VJ-1628X	カラー	
C	 シアン			
M	 マゼンタ			
Y	 イエロー			
Lc	 ライトシアン		ホワイト	
Lm	 ライトマゼンタ			
W	 ホワイト			

8 色セット「KCMYLCmWMt」				
インクセット		対応機種	カラーモード	
K	 ブラック	VJ-628X VJ-1628X	カラー	
C	 シアン		ホワイト	
M	 マゼンタ			
Y	 イエロー		メタリック	
Lc	 ライトシアン			
Lm	 ライトマゼンタ		マスクデータ(*3)	
W	 ホワイト			
Mt	 メタリック			

### 注 記

(\*3) マスクデータは VJ-628X / VJ-1628X 8 色セットで使用されるデータです。メタリック印刷時に他色との混色を防ぐために使用します。後述する Metallic Library 印刷 (「5.13 VJ-628X / VJ-1628X Metallic Library 印刷 基本手順」) の際は、マスクデータとライブラリカラーの組み合わせで印刷します。

## 4. プリンタードライバー

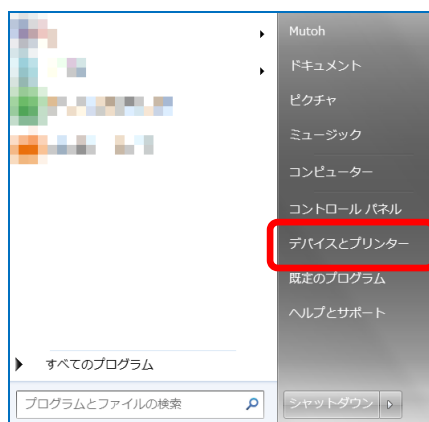
### 4.1. プリンタードライバーを起動する

〔デバイスとプリンターの表示〕 → 〔印刷設定〕をクリックします。

#### デバイスとプリンターの表示

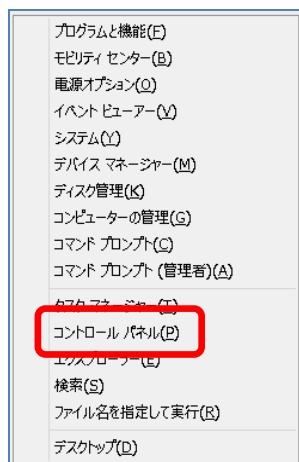
##### Windows7

〔スタート〕メニューから〔デバイスとプリンター〕をクリックします。



##### Windows8.1

①キーボードの〔Windows〕キーを押しながら、  
〔X〕キーを押します。表示されたメニューから、  
〔コントロールパネル〕をクリックします。

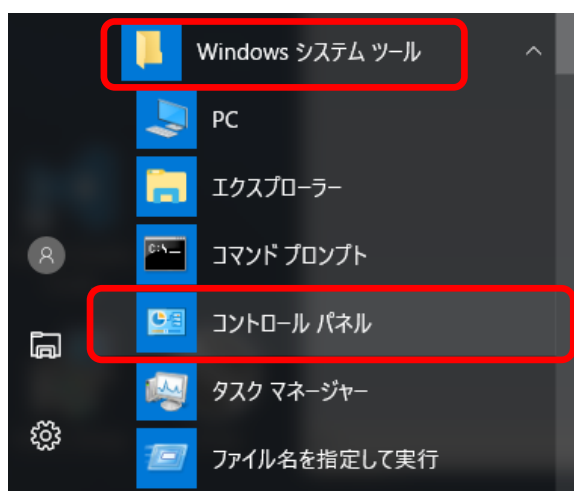


②〔デバイスとプリンターの表示〕をクリックします。

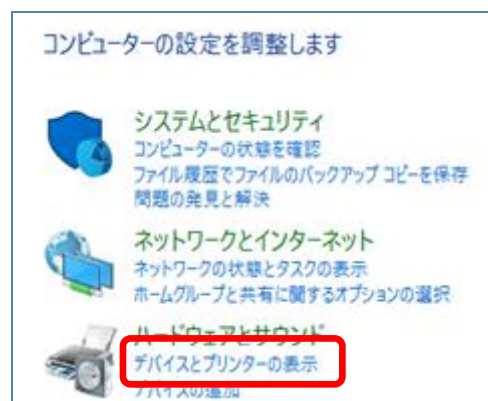


## Windows10

①「スタート」をクリックし「W」項目にある「Windows システムツール」を選択し、「Windows システムツール」内の「コントロール パネル」をクリックします

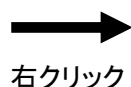


②「[デバイスとプリンターの表示]」をクリックします。



## 印刷設定

対象機種のアイコンを右クリックしメニューより「印刷設定」をクリックします。



右クリック



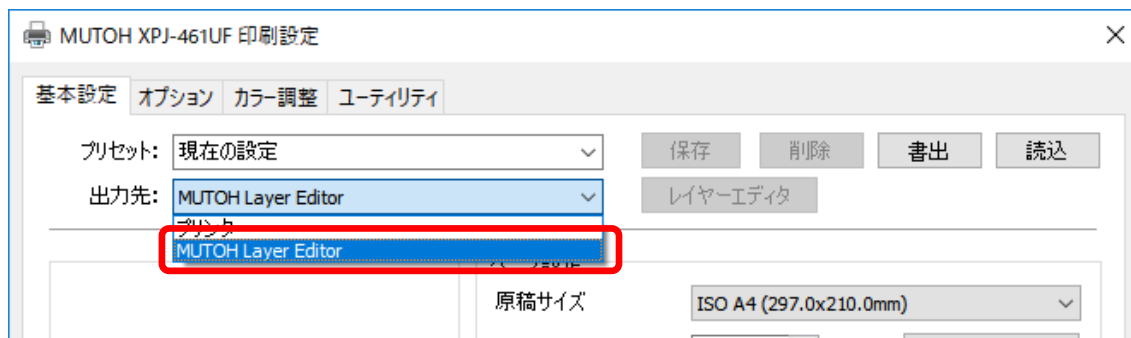
## 注 記

(Windows ドライバや Layer Editor を使用した操作例については、「ドライバのヘルプ」、  
「プリンタドライバユーザーズガイド」もご覧ください。

## 4.2. ドライバ出力先設定

ドライバの出力設定をプリンタから Layer Editor に設定します。

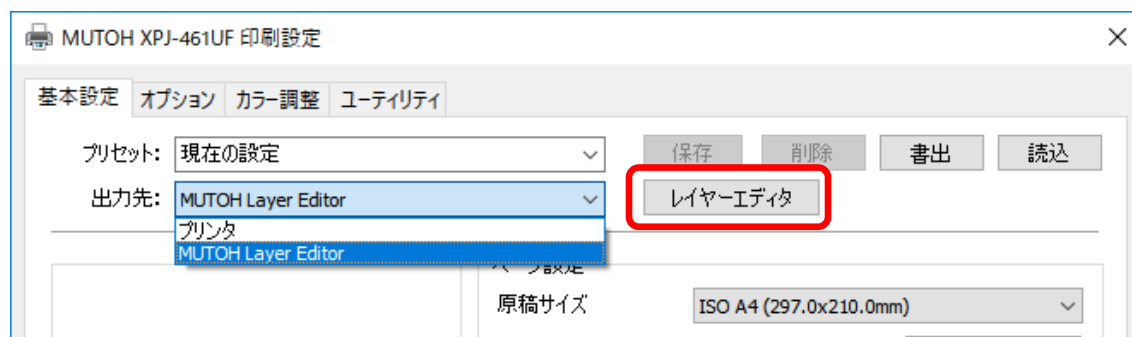
〔基本設定〕タブ「出力先」より「ValueJetLayer Editor」を選択し〔OK〕をクリックします。



## 4.3. MUTOH Layer Editor を起動する

ドライバから「MUTOH Later Editor」を起動します。

〔基本設定〕タブの〔レイヤーエディタ〕をクリックします。



## 4.4. カラーモードの選択

### 4.4.1. XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF

フルカラー、スポットカラーとして白、バーニッシュが指定できます。

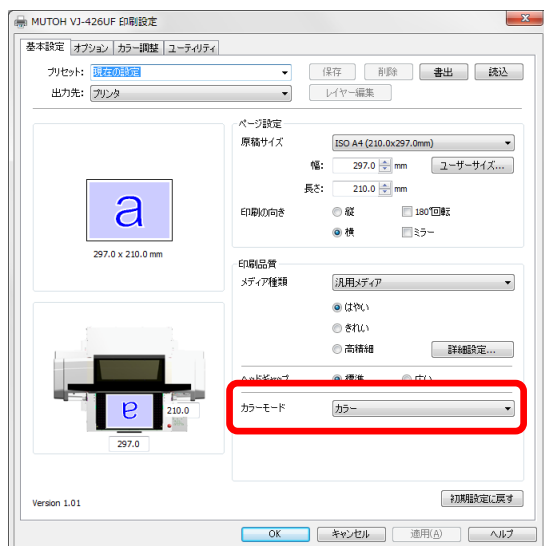
XPJ-461UF



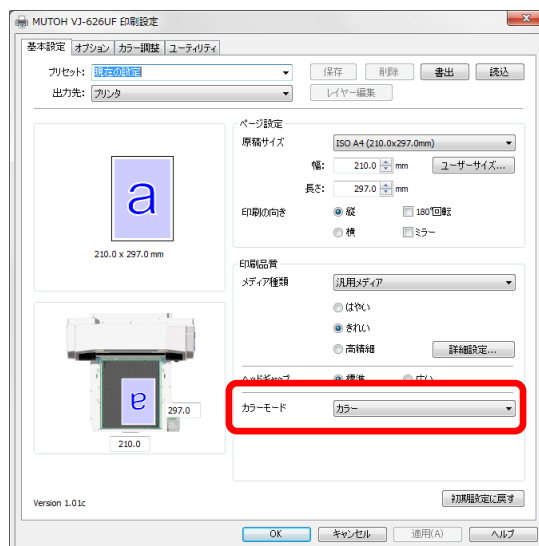
XPJ-661UF



VJ-426UF



VJ-626UF



## カラー印刷

カラーモード カラー

カラーモード 色補正なし

## 白印刷

カラーモード ホワイト

インク濃度 100 % ☐ 高密度

☐ グラデーションを有効にする

## バーニッシュ印刷

カラーモード バーニッシュ

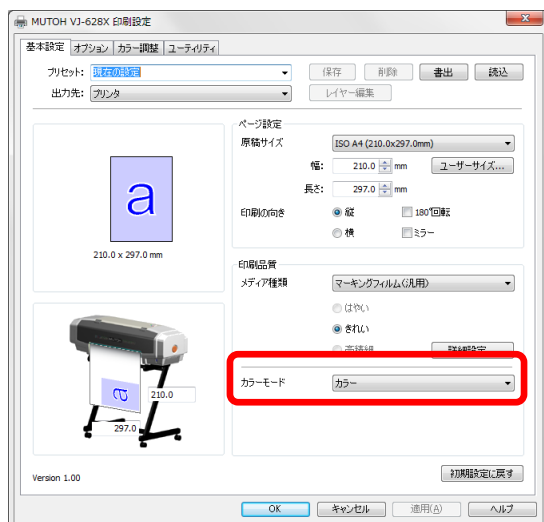
インク濃度 100 % ☐ 高密度

☐ グラデーションを有効にする

☐ 光沢仕上げ

## 4.4.2. VJ-628X

VJ-628X(7色)ではフルカラー、スポットカラーとしてホワイトの設定、VJ-628X(8色)ではフルカラー、スポットカラーとしてホワイト、メタリック、マスクデータが設定できます。



## VJ-628X(7色)

## カラー印刷

カラーモード カラー

## ホワイト印刷

カラーモード ホワイト

インク濃度 100 % ☐ 高密度

☐ グラデーションを有効にする

## VJ-628X(8色)

## カラー印刷

カラーモード カラー

## ホワイト印刷

カラーモード ホワイト

インク濃度 100 % ☐ 高密度

☐ グラデーションを有効にする

## メタリック印刷

カラーモード メタリック

インク濃度 100 % ☐ グラデーションを有効にする

## マスクデータ印刷

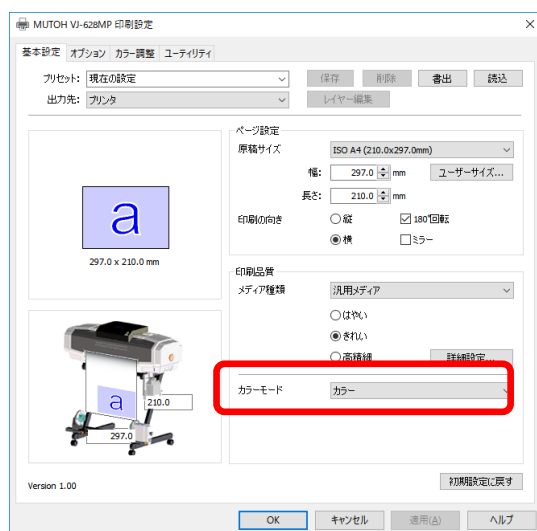
カラーモード マスクデータ

インク濃度 100 % ☐ グラデーションを有効にする

### 4.4.3. VJ-628MP

フルカラー、またはスポットカラーとしてホワイトが設定できます。

#### VJ-628MP



#### VJ-628MP (5 色)

##### カラー印刷

カラーモード カラー

##### ホワイト印刷

カラーモード ホワイト

インク濃度 100 % ☐ 高密度

☐ グラデーションを有効にする

#### VJ-628MP (7 色)

##### カラー印刷

カラーモード カラー

##### ホワイト印刷

カラーモード ホワイト

インク濃度 100 % ☐ グラデーションを有効にする



#### 4.4.4. VJ-1627MH

フルカラー、またはスポットカラーとしてホワイトが設定できます。

VJ-1627MH



##### カラー印刷

カラーモード	カラー
--------	-----

##### ホワイト印刷

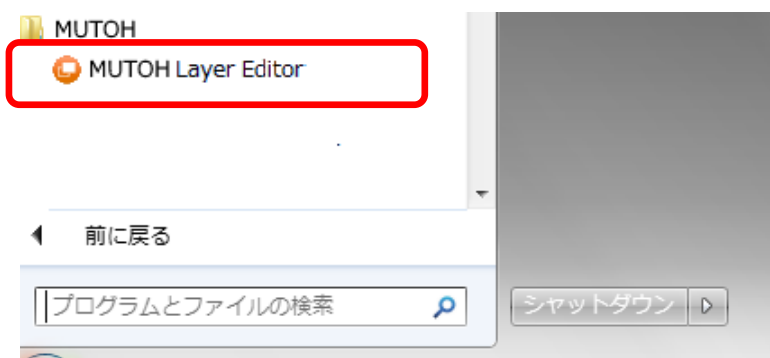
カラーモード	ホワイト
インク濃度	100 %
	<input type="checkbox"/> グラデーションを有効にする

## 5. レイヤー印刷の基本手順

### 5.1. MUTOH Layer Editor を起動する

#### Windows7

〔スタート〕 – 〔すべてのプログラム〕 – 〔MUTOH〕 – 〔MUTOH Layer Editor〕をクリックします。



#### Windows8.1

①「スタート」画面から検索アイコンをクリックし検索ボックスを表示します。

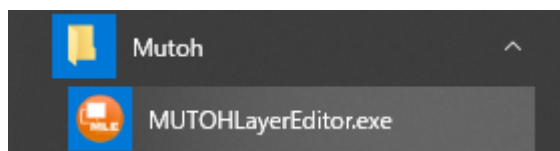


②検索ボックスに「MUTOH Layer Editor」と入力します。「MUTOH Layer Editor」アイコン右クリック「スタート画面にピン留めする」でスタート画面にタイルが作成されます。



#### Windows10

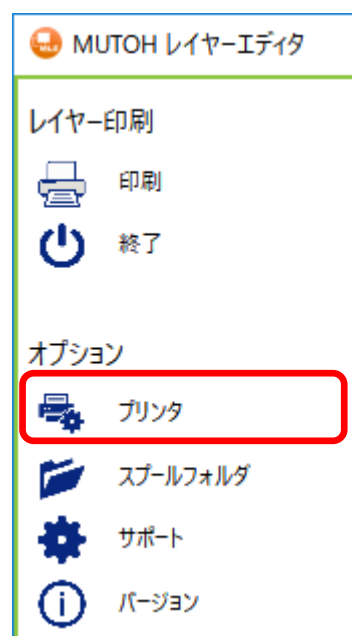
〔スタート〕 – 〔すべてのアプリ〕 – 〔Mutoh〕 – 〔MUTOH Layer Editor〕をクリックします。



## 5.2. 初期設定（初回起動時）

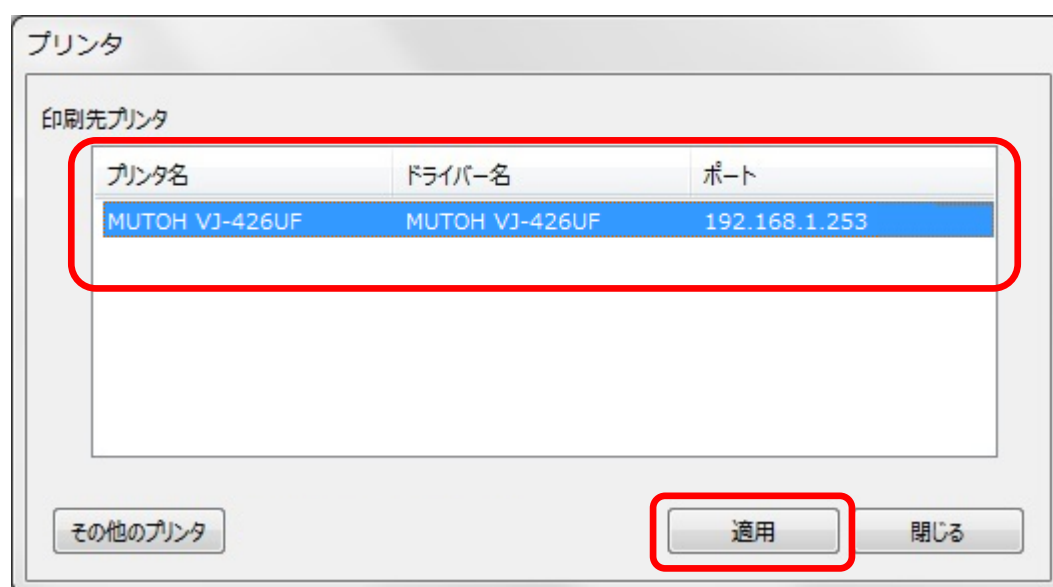
新規に起動すると、「プリンタ」画面が開きます。

再度設定プリンタを設定したい場合は  
メイン画面[プリンタ]からも表示します。



### 5.2.1. プリンタードライバーを使用する機種

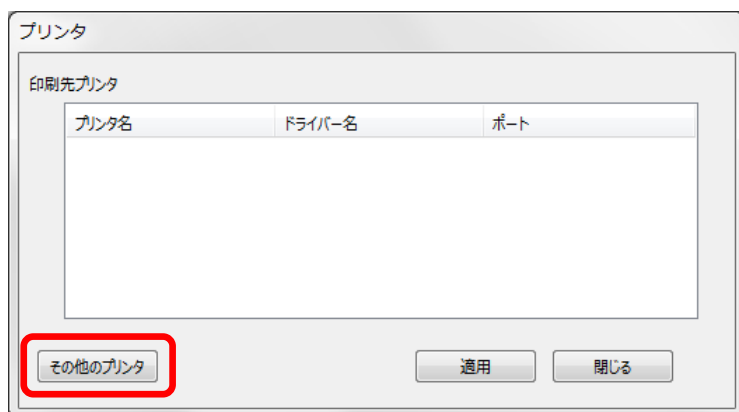
プリンタードライバーがインストール済みであれば「プリンタ名」、「ドライバ名」、「ポート」をリストに表示します。使用したいプリンタを選択し[適用]をクリックします。



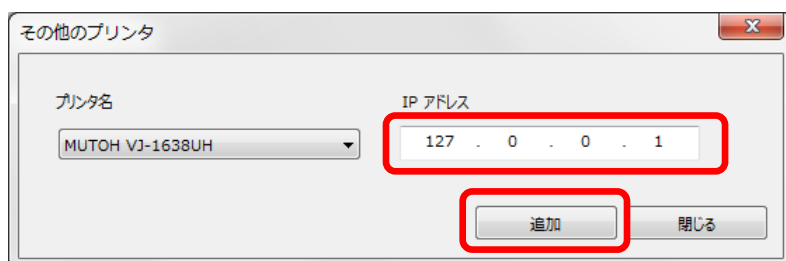
### 5.2.2. RIP を使用する機種

RIP を使用する機種ではプリンタードライバーを必要としないため初回起動時のリスト表示はありません。リストより対象機種を選択し以下の手順でプリンタの IP アドレス設定をしてください。

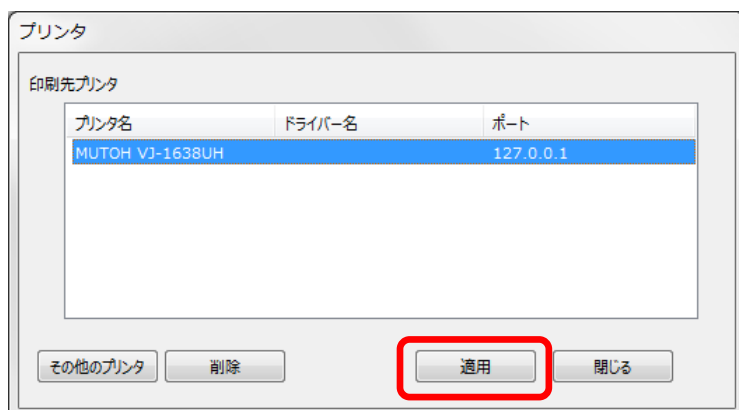
- ① 「その他のプリンタ」をクリックし「その他のプリンタ」を表示します。



- ② プリンタ名を確認し IP アドレスを入力します。入力後「追加」をクリックします。



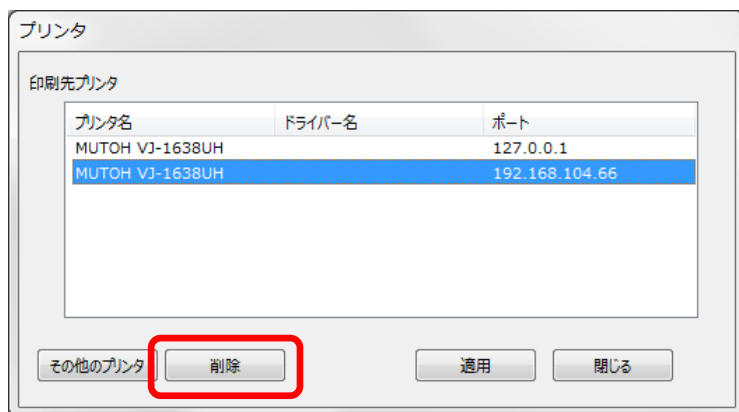
- ③ 設定した IP アドレスを「プリンタ」画面にリスト表示します。使用したいプリンタを選択し「適用」をクリックします。



## 削除

プリンタポートは[追加]により複数の設定が追加できます。

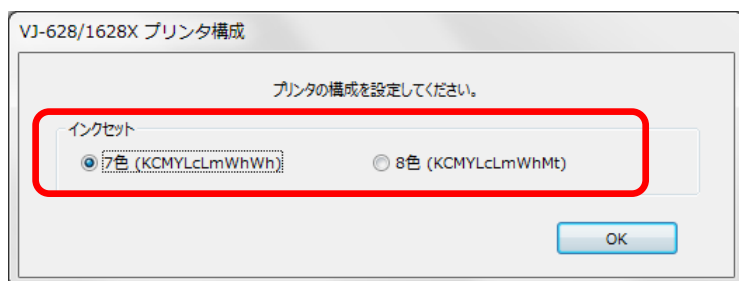
設定を無効にする場合は[削除]クリックにより「プリンタ名」及び「ポート」を消去します。



## 5.2.3. インクセットの設定

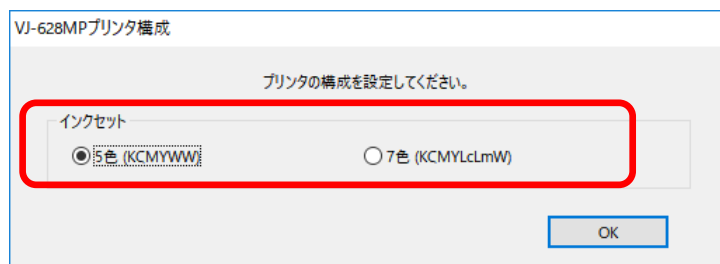
### 5.2.3.1. VJ-628X / VJ-1628X インクセット

機種選択で VJ-628X / VJ-1628X を選択すると「VJ-628X / VJ-1628X プリンタ構成」画面を表示します。充填しているインクの組み合わせを確認し、7 色あるいは 8 色のいずれかを選択し [OK] をクリックします。



### 5.2.3.2. VJ-628MP

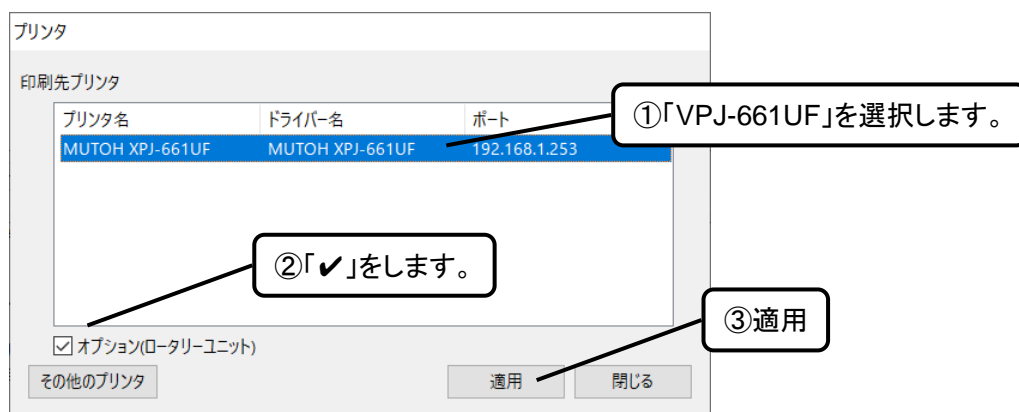
機種選択で VJ-628MP を選択すると「VJ-628MP プリンタ構成」画面を表示します。充填しているインクの組み合わせを確認し、5 色あるいは 7 色のいずれかを選択し [OK] をクリックします。



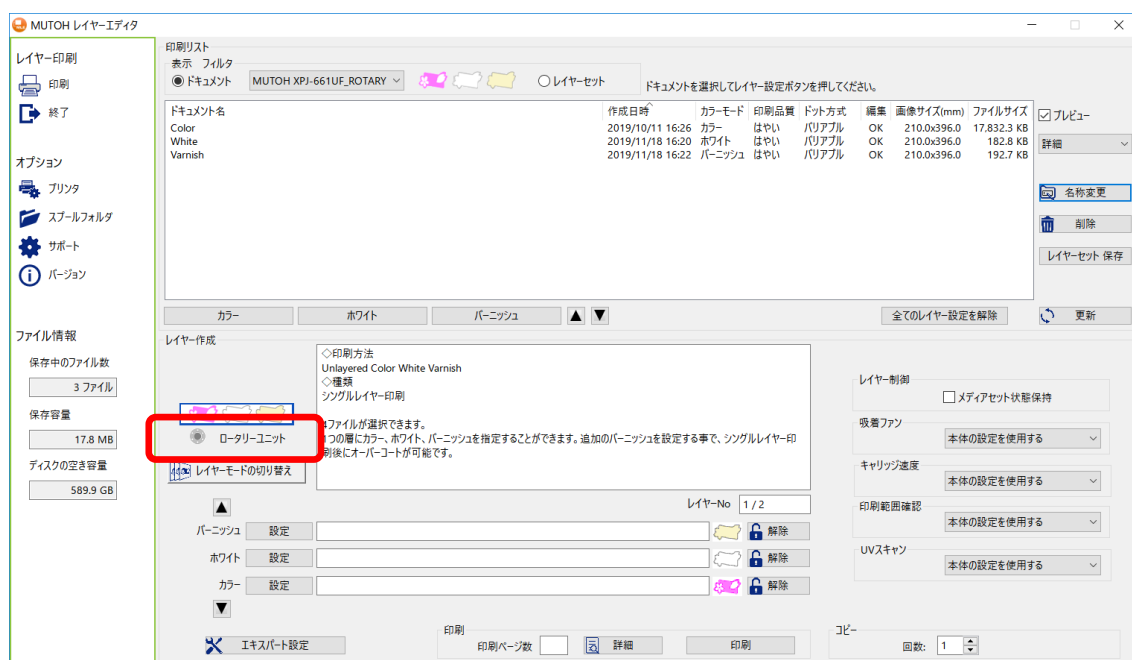
### 5.2.4. XPJ-661UF / VJ-626UF ロータリーユニット

XPJ-661UF / VJ-626UF 通常のフラットベースによる印刷モードに加えて円筒治具を使用した専用の印刷モード「ロータリーユニット」を提供します。ロータリーユニットを使用するには

- ① 「プリンタ」画面よりドライバ名「MUTOH VPJ-661UF」「MUTOH VJ-626UF」を選択します。
- ② 画面下部に「オプション(ロータリーユニット)」チェックボックスを表示します。円筒治具を使用する場合はチェックボックスを「✓」します。
- ③ 「適用」をクリックします。



設定後はメイン画面にロータリーユニットを表すアイコン、テキストを表示します。



### 5.3. 起動時動作

ツール起動時、以下の動作を自動でおこないます。

#### ドット形式変換

Layer Editor では印刷データのドット形式を「バリエブルドット」として扱います。このため印刷ファイルのデータを確認し、ドット方式がバリエブルドットでない場合は印刷ファイルをバリエブルドットに変換します。

#### カラーモード編集判定

印刷データのカラーモード解析編集に使用できるかどうかの解析動作をおこないます。

※「カラーモード編集」機能を使用するとカラーモードの変更、インクプレーンの選択が編集できます。編集画面の表示方法は「5.9 各種機能 ②プレビュー」に記載しています。

編集方法の詳細は同梱の「ValueJet Layer Editor カラーモード編集 ガイド」を参照してください。

CDROM の場合は Manual¥Layer Editor¥VLEJ-B-02.pdf です。

インストーラの場合は同じフォルダの VLEJ-B-02.pdf です。

#### 注 記

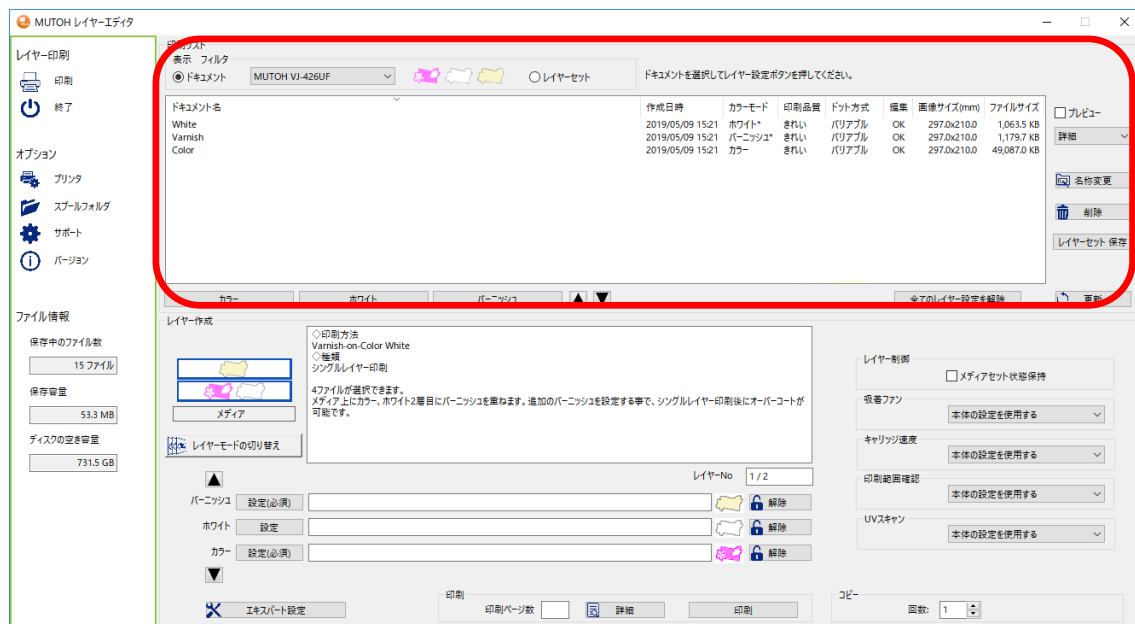
上記の変換、解析処理では時間を要します。この際リストに処理結果を表示するまで時間を要しますのでしばらくお待ちください。ただし、一度処理を実施した印刷データであれば次回起動時は処理の必要がありません。処理結果についてはこの後「5.5 ドキュメント表示」にて説明します。

## 5.4. メニュー構成

「プリンタ」画面よりプリンタ選択が完了するとメイン画面を表示します。

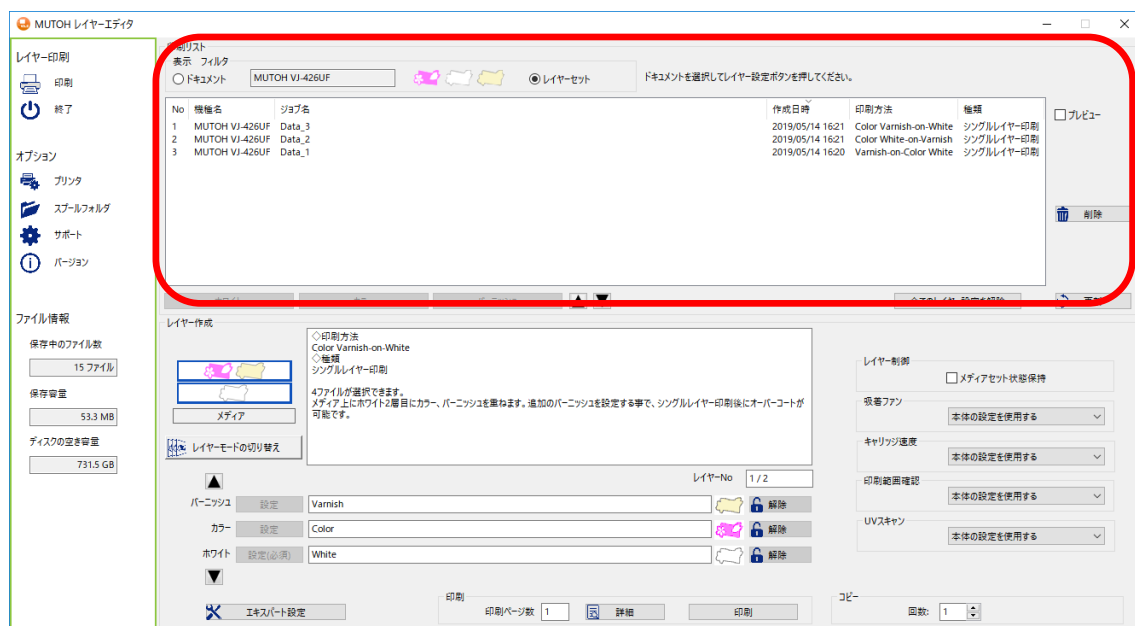
メイン画面リスト表示では各種印刷データファイルを表示する「ドキュメント」、そして 1 度印刷した内容を保存し表示する「レイヤーセット」の2種類を表示します。メイン画面上部のラジオボタンをクリックして表示を切り替えます。

### メイン画面「ドキュメント」



### メイン画面「レイヤーセット」

※この後「5.16 レイヤーセット」にて説明します。





## 5.5. ドキュメント表示



## ① 印刷データリスト

各種印刷データをリスト表示します。

表示されている印刷データは、プリンタードライバー及び RIP から受け取った印刷データです。

左から順に各列に「ドキュメント名」、「作成日時」、「カラーモード」、「印刷品質」、「ドット方式」、「編集」、「画像サイズ」、「ファイルサイズ」を表示します。

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集	画像サイズ(mm)	ファイルサイズ
11th	2019/05/09 17:25	ホワイト	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	107.0
12th	2019/05/09 17:25	バーニッシュ*	はやい	バリアブル	OK	297.0x210.0	432.0
9th	2019/05/09 17:24	バーニッシュ	はやい	バリアブル	OK	297.0x210.0	62.7
7th	2019/05/09 17:23	カラー	はやい	バリアブル	OK	297.0x210.0	194.5
8th	2019/05/09 17:23	ホワイト	はやい	バリアブル	OK	297.0x210.0	59.7
5th	2019/05/09 17:22	ホワイト	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	76.6
6th	2019/05/09 17:22	バーニッシュ	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	83.1
4th	2019/05/09 17:21	カラー	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	265.5
3rd	2019/05/09 17:20	バーニッシュ*	高精細	バリアブル	OK	297.0x210.0	541.8
2nd	2019/05/09 17:17	ホワイト*	高精細	バリアブル	OK	297.0x210.0	409.5
1st	2019/05/09 17:15	カラー	高精細	バリアブル	OK	297.0x210.0	432.5

### カラーモード

印刷データが該当するカラーモードを表示します。一部の機種のカラーモードでは「\*」を表記します。

カラーモード 表示	XPJ-461UF XPJ-661UF VJ-426UF VJ-626UF VJ-1626UH	VJ-1627MH VJ-1617H VJ-628MP (5 色)	VJ-628MP (7 色)	VJ-628X (8 色) VJ-1628X (8 色)	VJ-628X (8 色) VJ-1628X (8 色)	VJ-1638UR VJ-1638UH
カラー	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ホワイト	✓	✓	✓	✓	✓	✓
バーニッシュ	✓					✓
メタリック					✓	
マスクデータ					✓	
グレースケール						✓(*3)
カラー#					✓(*2)	
ホワイト			✓			
ホワイト#					✓(*2)	
ホワイト*	✓(*1)	✓(*1)		✓(*1)		✓(*1)
バーニッシュ*	✓(*1)					✓(*1)

(\*1) 「ホワイト\*」、「バーニッシュ\*」はインク量が 2 倍の「高密度」印刷データを表します。

(\*2) 「カラー#」、「ホワイト#」はカラーモード「メタリック」、または後述する Metallic Library (「5.13VJ-628X / VJ-1628X Metallic Library 印刷 基本手順」) 使用時に設定する印刷データを表します。

(\*3) 「グレースケール」はカラーモード「ホワイト」または「バーニッシュ」として使用できます。

### ドット方式

印刷データのドット方式を表示します。変換中は変換前のドット方式を表示します。変換終了後は印刷データに異常がなければ「バリエブル」を表示します。

### 編集

印刷データがカラーモード編集に使用できるかどうかの解析結果を表示します。解析中は「---」を表示します。解析終了後は「OK」または「NG」を表示します。印刷データの編集、設定は「OK」が表示されるまでお待ちください。

### リスト表示

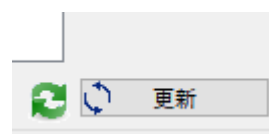
変換、解析中

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集
sample.jpeg	2017/03/21 11:28	カラー	きれい	スモール	---



リスト表示中のいずれかの印刷データの変換、解析の終了を⑦[更新]横にアイコンで表示します。

[更新]をクリックしリスト表示を更新します。



変換、解析後

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集
sample.jpeg	2017/03/21 11:28	ホワイト*	きれい	バリエブル	OK

## 注 記

- 一部の印刷データでは Layer Editor が推奨するデータ構成と異なるため意図しないカラーモードを表示する場合があります。このようなケースではカラーモードを変更して本来のカラーモードで印刷をおこなってください。
- 「高密度」印刷データはリスト項目「編集」表示が解析中を示す「---」ではカラーモードを「カラー」として表示します。

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集
sample.jpeg	2017/03/21 14:45	カラー	きれい	バリエブル	---
sample.jpeg	2017/03/21 14:45	カラー	きれい	バリエブル	---



リスト項目「編集」表示が解析動作の終了「OK」表示で改めて「ホワイト\*」「バーニッシュ\*」を表示します。印刷データの編集、設定は「OK」が表示されるまでお待ちください。

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集
sample.jpeg	2017/03/21 14:45	ホワイト*	きれい	バリエブル	OK
sample.jpeg	2017/03/21 14:45	バーニッシュ*	きれい	バリエブル	OK

## 複数選択

リスト中の各ドキュメントは複数選択ができます。

ドキュメントをまとめて削除する場合等に使用できます。

[shift]キーを押しながらクリックでドキュメント名「1st」から「10th」全選択

ドキュメント名	作成日時
10th	2015/06/25 17:14
8th	2015/06/25 17:13
9th	2015/06/25 17:13
7th	2015/06/25 17:12
6th	2015/06/25 17:11
4th	2015/06/25 17:10
5th	2015/06/25 17:10
3rd	2015/06/25 17:08
2nd	2015/06/25 17:07
1st	2015/06/25 17:05

[ctrl]キーを押しながらクリックでドキュメント名「1st」と「10th」選択

ドキュメント名	作成日時
10th	2015/06/25 17:14
8th	2015/06/25 17:13
9th	2015/06/25 17:13
7th	2015/06/25 17:12
6th	2015/06/25 17:11
4th	2015/06/25 17:10
5th	2015/06/25 17:10
3rd	2015/06/25 17:08
2nd	2015/06/25 17:07
1st	2015/06/25 17:05

## ② 選択機種

「プリンタ」画面で選択された機種名／インク構成をこのボタンに表記します。

初期起動時、またはボタンクリック時に表記された機種名が対応する印刷データのみをリストにフィルタ表示します。

XPJ-461UF    XPJ-661UF    VJ-426UF    VJ-626UF

VJ-1626UH    VJ-1617H    VJ-628MP    VJ-1627MH

ドキュメント名	作成日時	カラーモード
Amsterdam	2017/03/27 17:15	カラー
White	2017/03/22 09:44	ホワイト
High-Density White	2017/03/21 14:45	ホワイト*
Varnish	2017/03/29 09:18	バーニッシュ
High-Density Varnish	2017/03/21 14:45	バーニッシュ*

VJ-1638UH    VJ-1638UR

ドキュメント名	作成日時	カラーモード
Amsterdam	2017/03/27 17:15	カラー
White	2017/03/22 09:44	ホワイト
High-Density White	2017/03/21 14:45	ホワイト*
Varnish	2017/03/29 09:18	バーニッシュ
High-Density Varnish	2017/03/21 14:45	バーニッシュ*
Gray Scale	2017/03/29 10:30	グレースケール

VJ-628X    VJ-1628X

ドキュメント名	作成日時	カラーモード
Amsterdam	2018/09/19 14:48	カラー
Amsterdam	2018/09/19 14:48	カラー#
MaskData	2018/09/19 14:55	マスクデータ
White1	2018/09/19 14:48	ホワイト
White2	2018/09/19 14:47	ホワイト#
High-Density White	2018/09/19 14:48	ホワイト*
Metallic	2018/09/19 14:48	メタリック

③ 全てのドキュメントを表示

リストフィルタ表示を解除し機種に関わらず全ての印刷データを表示します。

印刷リスト

表示   フィルタ

● ドキュメント

MUTOH XPJ-461UF

ドキュメント名

MUTOH XPJ-461UF

全てのドキュメントを表示

ドキュメント名	作成日時	カラーモード
MaskData_Sample	2015/03/18 17:11	マスクデータ
Metallic_Sample	2015/03/18 17:09	メタリック
White_Sample	2015/03/18 17:08	ホワイト*
Under-White	2015/03/17 15:15	ホワイト
Coating Layer	2015/03/17 15:13	バーニッシュ
Sample-Photo	2015/03/17 14:50	カラー

④ インク構成アイコン

各機種が対応するインク構成を表示します。

XPJ-461UF

XPJ-661UF   VJ-1638UH

VJ-626UF   VJ-1626UH

VJ-426UF   VJ-1638UR

VJ-628X (7 色)

VJ-1628X(7 色)   VJ-628MP

VJ-1627MH   VJ-1617H

VJ-628X (8 色)

VJ-1628X (8 色)

⑤ 詳細 アイコン

リスト表示を切り替えます。  
リスト中の印刷データを詳細、またはアイコンで表示します。

☐ プレビュー

詳細

詳細

アイコン

詳細

ドキュメント名	作成日時
Sample_Font3	2015/11/17 11:32
Sample_Font2	2015/11/16 11:00
Sample_Font2	2015/11/16 10:59
Sample_Font1	2015/11/16 10:35
Amsterdam	2015/11/13 13:10

アイコン

Amsterdam

Sample\_Font1

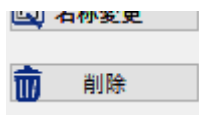
Sample\_Font2

Sample\_Font2

## ⑥ 削除

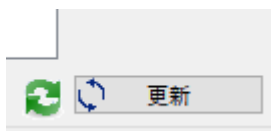
印刷データリストよりファイルを削除します。

リスト中からファイルを選択しクリックします。



## ⑦ 更新

印刷データの一覧表示を更新します。ボタン横に更新を促す下記のアイコンを表示します。アイコン表示の際は[更新]をクリックしリスト表示の更新をしてください。



## 注 記

リストより印刷データファイルを誤って削除した場合は Windows「ゴミ箱」内を確認してください。

印刷データ「\*\*\*.prn」ファイルを右クリックし「元に戻す」で元の位置に移動します。



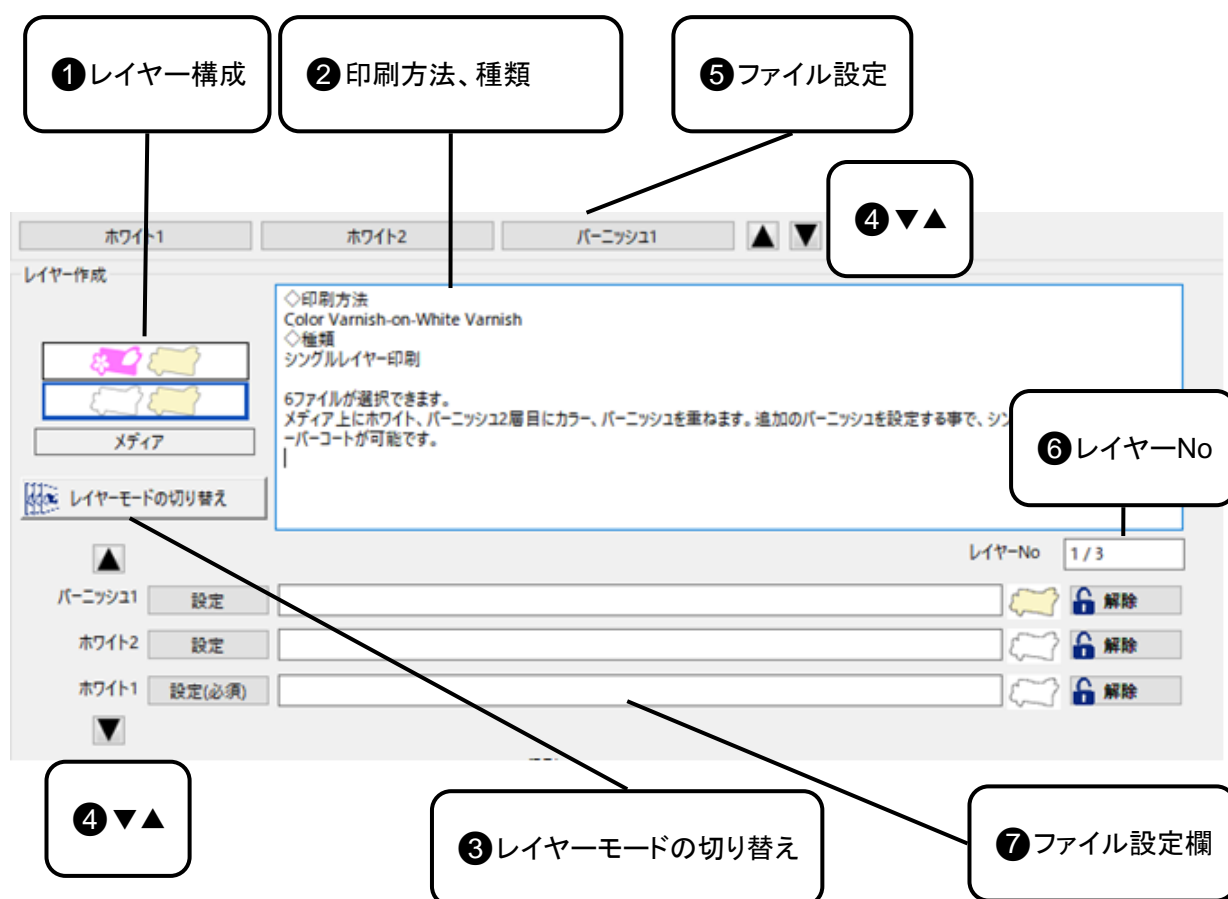
## 5.6. 印刷方法(レイヤーモード)の選択

メイン画面中央にレイヤーモードを表示します。

- ①レイヤー構成をイラストで表示します。
- ②「印刷方法」、「種類」とその説明をテキストで表示します。
- ③[レイヤーモードの切り替え]クリックで「レイヤーモード選択」画面を表示します。

機種／インク構成によって表示するレイヤーモードが異なります。

また、設定ファイル欄が 3 種類を超える場合は画面中に④[▲][▼]を表示してクリックでレイヤー表示を切り替えます。ボタンクリックに連動して⑤[ファイル設定]、⑥レイヤーNo、⑦ファイル設定欄の各表示、①レイヤー構成の表示中レイヤーを青枠で表示します。



### 5.6.1. 通常印刷

カラー、機種によってはホワイト、バーニッシュ 1 種類のファイルを単層で印刷します。

#### カラー

レイヤー作成

◇印刷方法  
Color  
◇種類  
通常印刷

1ファイルが選択できます。  
メディア上にカラーで印刷します。

メディア

レイヤーモードの切り替え

ファイルを設定 [解除]

ファイルを設定 [解除]

ファイルを設定 [解除]

### 5.6.2. シングルレイヤー印刷

1 回の印刷で各層に指定されたカラーモードをレイヤー印刷します。カラーモードで指定された各レイヤーに印刷ファイルを設定し、各レイヤーを合成して1つのデータとして印刷します。

#### Color - White - Color

レイヤー作成

◇印刷方法  
Color-White-Color  
◇種類  
シングルレイヤー印刷

3ファイルが選択できます。  
メディア上にカラー2層目にホワイト、3層目にメディア面と同じカラーを重ねます。追加のバーニッシュを設定する事で、シングルレイヤー印刷後にオーバーコートが可能です。

メディア

レイヤーモードの切り替え

▲ 設定 [解除]

レイヤーNo 1 / 2

ホワイト 設定(必須) [解除]

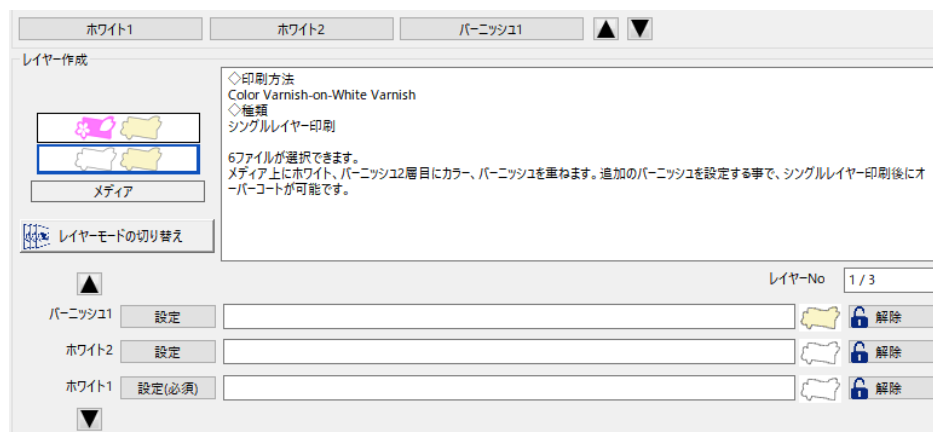
カラー 設定(必須) [解除]

▼

〔▲〕、〔▼〕を表示します。ボタンクリックで各レイヤーに表示を切り替えます。

### Color Varnish-on-White Varnish

レイヤー No 1 / 2



〔▲〕〔▼〕クリック

レイヤー No 2 / 2



### 5.6.3. マルチレイヤー印刷

XPJ-461UF VPJ-661F VJ-426UF VJ-626UF

設定された印刷データを 1 層ずつ重ねて印刷します。レイヤー構成、ファイル設定欄では 1~15 層間で入力中のレイヤーNo を表示します。

〔▲〕、〔▼〕を表示します。ボタンクリックで各レイヤーに表示を切り替えます。

詳細は「5.12 XPJ-461UF-/ XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF マルチレイヤーモード印刷基本手順」をご覧ください。

レイヤー No 1 2 3

〔▲〕〔▼〕クリック



〔▲〕〔▼〕クリック

レイヤー No 13 14 15

#### 5.6.4. オーバーコート印刷

XPJ-461UF VPJ-661UF VJ-426UF VJ-626UF

始めにシングルレイヤー、続けてバーニッシュによるオーバーコート印刷をします。

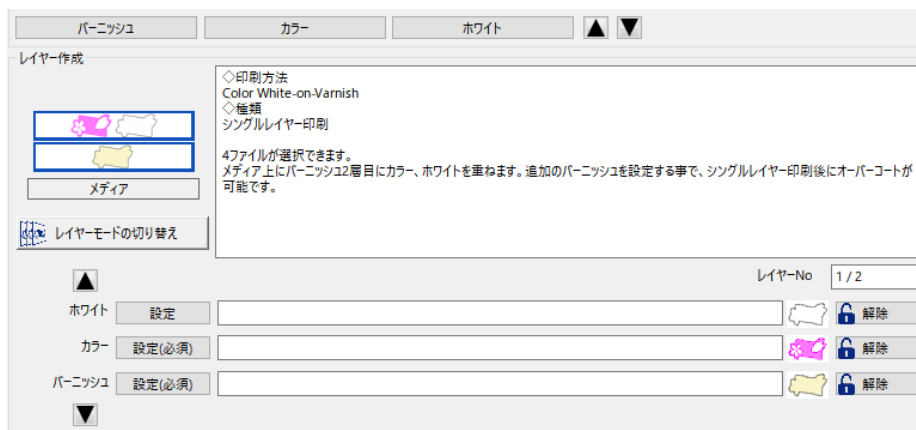
各シングルレイヤーモードの最終レイヤーにバーニッシュが設定できます。

〔▲〕、〔▼〕を表示します。ボタンクリックで各レイヤーに表示を切り替えます。

##### Color White-on-Varnish

Layer No 1 / 2

通常のシングルレイヤーモードの設定を行います。

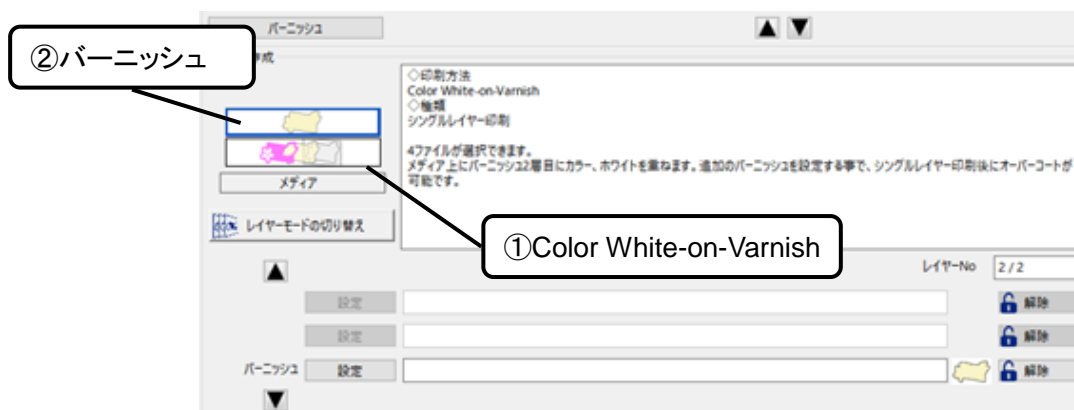


〔▲〕〔▼〕click

Layer No 2 / 2

最終レイヤー画面を表示します。ここではオーバーコートに使用するバーニッシュを設定します。

レイヤー構成①では最初の印刷シングルレイヤーモード「Color White-on-Varnish」を②ではオーバーコートを表す「バーニッシュ」を表示します。

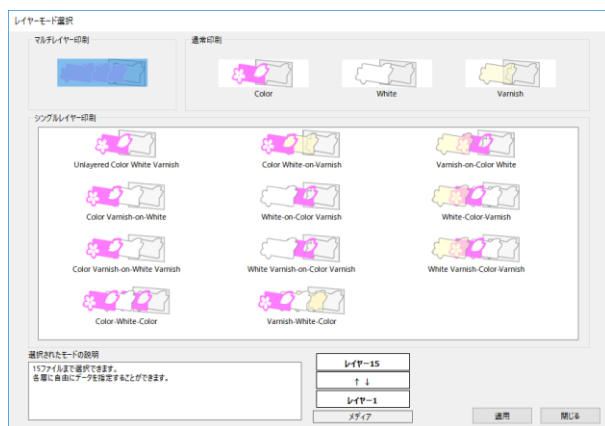


## 5.7. 機種別レイヤーモード種類

### 5.7.1. XPJ-461UF / XPJ-661UF

レイヤーモード	種類
マルチレイヤー	---
通常印刷(シングル)	カラー ホワイト バーニッシュ
シングルレイヤー	1 層(Unlayerd Color White Varnish) ホワイト・アンダーレイ(KCMYVV-on-WW) ホワイト・オーバーレイ(WW- on- KCMYVV) バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYWW-on-VV) バーニッシュ・オーバーレイ(VV-on-KCMYWW) ホワイト・バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYV-on-WWV) ホワイト・バーニッシュ・オーバーレイ(WWV-on-KCMYV) 3 層(WW-KCMY -VV) 3 層( WWV-KCMY-V ) 3 層(KCMY-WW-KCMY) 3 層(VV-WW-KCMY)
オーバーコート	---

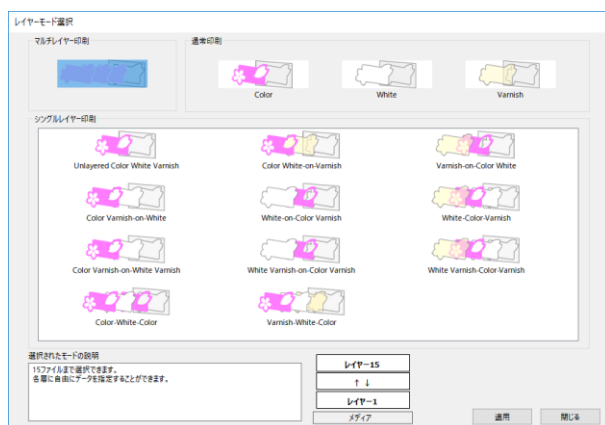
### 「レイヤーモード選択」画面



## 5.7.2. VJ-426UF / VJ-626UF

レイヤーモード	種類
マルチレイヤー	---
通常印刷(シングル)	カラー ホワイト バーニッシュ
シングルレイヤー	1 層(Unlayerd Color White Varnish) ホワイト・アンダーレイ(KCMYVV-on-WW) ホワイト・オーバーレイ(WW- on- KCMYVV) バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYWW-on-VV) バーニッシュ・オーバーレイ(VV-on-KCMYWW) ホワイト・バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYV-on-WWV) ホワイト・バーニッシュ・オーバーレイ(WWV-on-KCMYV) 3 層(WW-KCMY -VV) 3 層( WWV-KCMY-V ) 3 層(KCMY-WW-KCMY) 3 層(VV-WW-KCMY)
オーバーコート	---

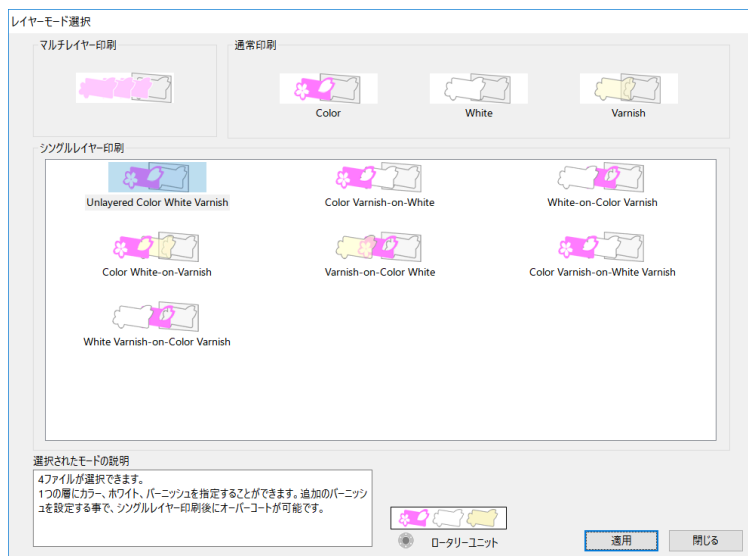
## 「レイヤーモード選択」画面



## 5.7.3. XPJ-661UF / VJ-626UF ロータリーユニット

レイヤーモード	種類
マルチレイヤー	--
通常印刷(シングル)	カラー ホワイト バーニッシュ
シングルレイヤー	1 層(Unlayerd Color White Varnish) ホワイト・アンダーレイ(KCMYVV-on-WW) ホワイト・オーバーレイ(WW- on- KCMYVV) バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYWW-on-VV) バーニッシュ・オーバーレイ(VV-on-KCMYWW) ホワイト・バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYV-on-WWV) ホワイト・バーニッシュ・オーバーレイ(WWV-on-KCMYV)
オーバーコート	--

## 「レイヤーモード選択」画面

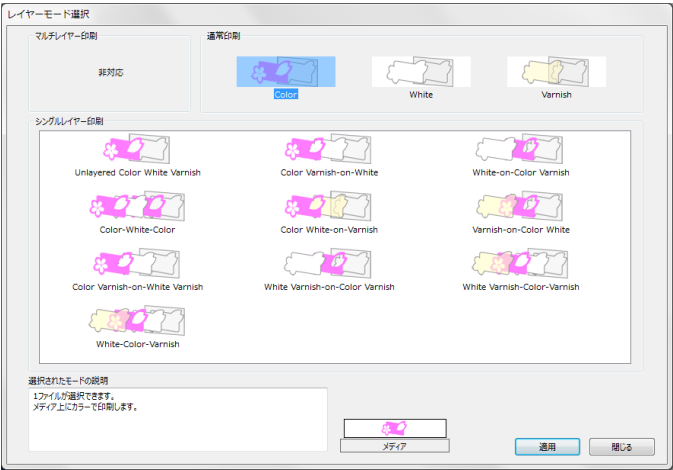




5.7.4. VJ-1626UH

レイヤーモード	種類
通常印刷(シングル)	カラー ホワイト バーニッシュ
シングルレイヤー	1 層(Unlayerd Color White Varnish) ホワイト・アンダーレイ(KCMYVV-on-WW) ホワイト・オーバーレイ(WW- on- KCMYVV) バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYWW-on-VV) バーニッシュ・オーバーレイ(VV-on-KCMYWW) ホワイト・バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYV-on-WWV) ホワイト・バーニッシュ・オーバーレイ(WWV-on-KCMYV) 3 層( KCMY-WW-KCMY ) 3 層( WWV-KCMY-V ) 3 層( WW-KCMY-VV )

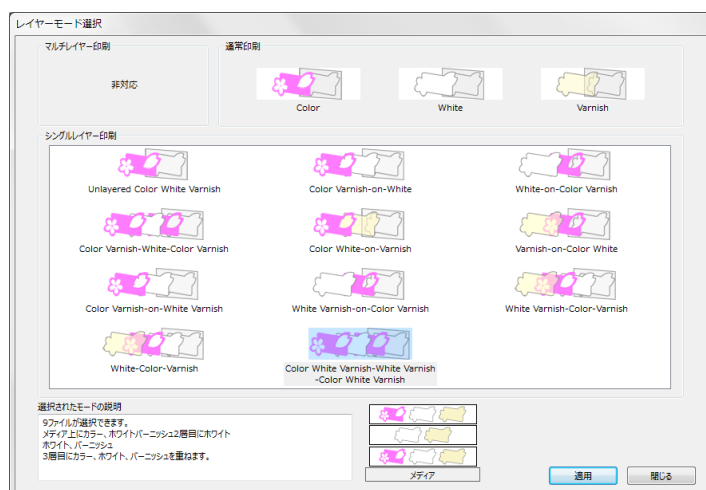
「レイヤーモード選択」画面



## 5.7.5. VJ-1638UH

レイヤーモード	種類
通常印刷(シングル)	カラー ホワイト バーニッシュ
シングルレイヤー	1 層(Unlayerd Color White Varnish) ホワイト・アンダーレイ(KCMYVV-on-WW) ホワイト・オーバーレイ(WW- on- KCMYVV) バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYWW-on-VV) バーニッシュ・オーバーレイ(VV-on-KCMYWW) ホワイト・バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYV-on-WWV) ホワイト・バーニッシュ・オーバーレイ(WWV-on-KCMYV) 3 層(WWV-KCMY-V) 3 層(WW-KCMY -VV) 3 層(KCMYVV-WW-KCMYVV) 3 層(KCMYWV-WWV-KCMYWV)

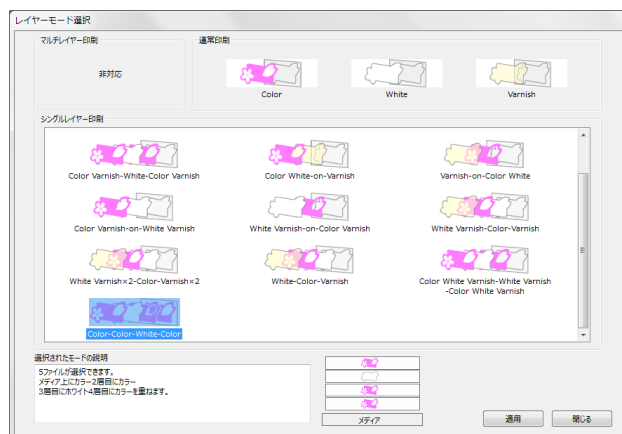
## 「レイヤーモード選択」画面



## 5.7.6. VJ-1638UR

レイヤーモード	種類	6 色 (KCMYWV)	5 色 (KCMYV)
通常印刷(シングル)	カラー	✓	✓
	ホワイト	✓	
	バーニッシュ	✓	✓
シングルレイヤー	1 層(Unlayerd Color White Varnish)	✓	✓
	ホワイト・アンダーレイ(KCMYVV-on-WW)	✓	
	ホワイト・オーバーレイ(WW- on- KCMYVV)	✓	
	バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYWW-on-VV)	✓	✓
	バーニッシュ・オーバーレイ(VV-on-KCMYWW)	✓	✓
	ホワイト・バーニッシュ・アンダーレイ(KCMYV-on-WWV)	✓	✓
	ホワイト・バーニッシュ・オーバーレイ(WWV-on-KCMYV)	✓	✓
	3 層(WWV-KCMY-V)	✓	✓
	3 層(WWVV-KCMY-VV)	✓	✓
	3 層(WW-KCMY -VV)	✓	
	3 層(KCMYVV-WW-KCMYVV)	✓	
	3 層(KCMYWV-WWV-KCMYWV)	✓	✓
	4 層(KCMY-KCMY-WW-KCMY)	✓	

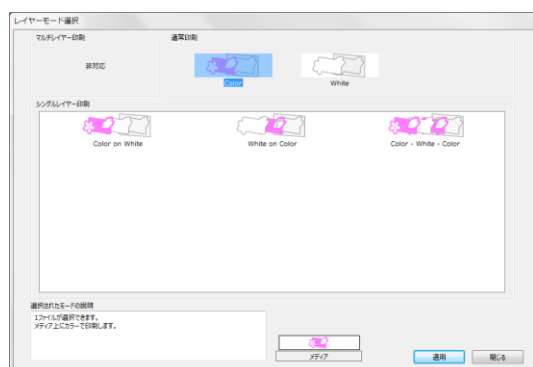
## 「レイヤーモード選択」画面



## 5.7.7. VJ-1617H / VJ-1627MH

レイヤーモード	種類
通常印刷(シングル)	カラー
	ホワイト
シングルレイヤー	アンダーレイ(Color-on-White)
	オーバーレイ(White-on-Color)
	3層(Color-White-Color)

## 「レイヤーモード選択」画面

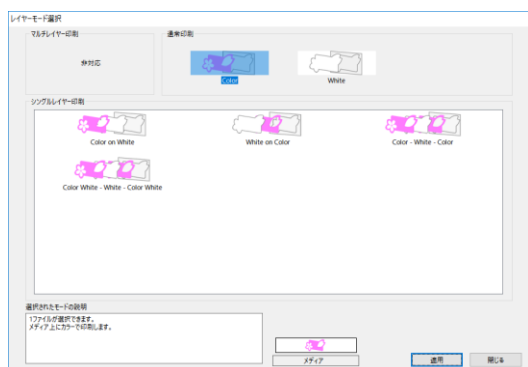


## 5.7.8. VJ-628MP

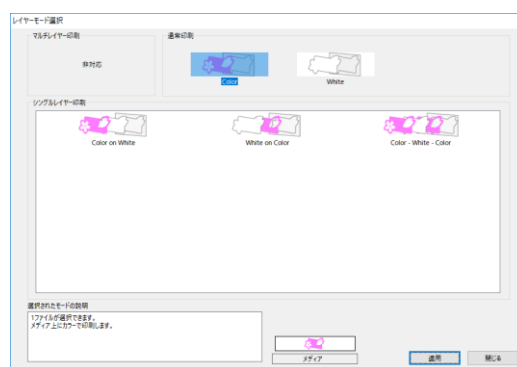
レイヤーモード	種類	5 色 (KCMYW)	7 色 (KCMYLcLmW)
通常印刷(シングル)	カラー	✓	✓
	ホワイト	✓	✓
シングルレイヤー	アンダーレイ(Color-on-White)	✓	✓
	オーバーレイ(White-on-Color)	✓	✓
	3 層(Color-White-Color)	✓	✓
	3 層(KCMYW-WW-KCMYW )	✓	

## 「レイヤーモード選択」画面

## 5 色



## 7 色

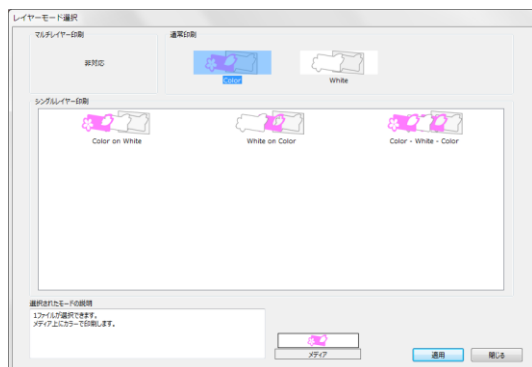


## 5.7.9. VJ-628X / VJ-1628X

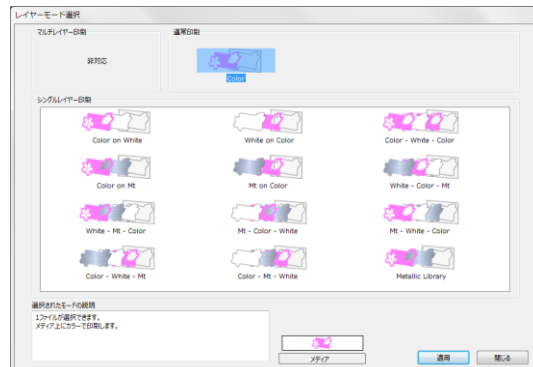
レイヤーモード	種類	7 色 (KCMYLCmWt)	8 色 (KCMYLCmWtMt)
通常印刷(シングル)	カラー	✓	✓
	ホワイト	✓	
シングルレイヤー	アンダーレイ(Color-on-White)	✓	✓
	オーバーレイ(White-on-Color)	✓	✓
	アンダーレイ(Color-on-Mt)		✓
	オーバーレイ(Mt-on-Color)		✓
	3 層(Color-White-Color)	✓	✓
	3 層(White-Color-Mt)		✓
	3 層(White-Mt-Color)		✓
	3 層(Mt-Color-White)		✓
	3 層(Mt-White-Color)		✓
	3 層(Color-White-Mt)		✓
	3 層(Color-Mt-White)		✓
	Mutoh Metallic Library		✓

## 「レイヤーモード選択」画面

## 7 色

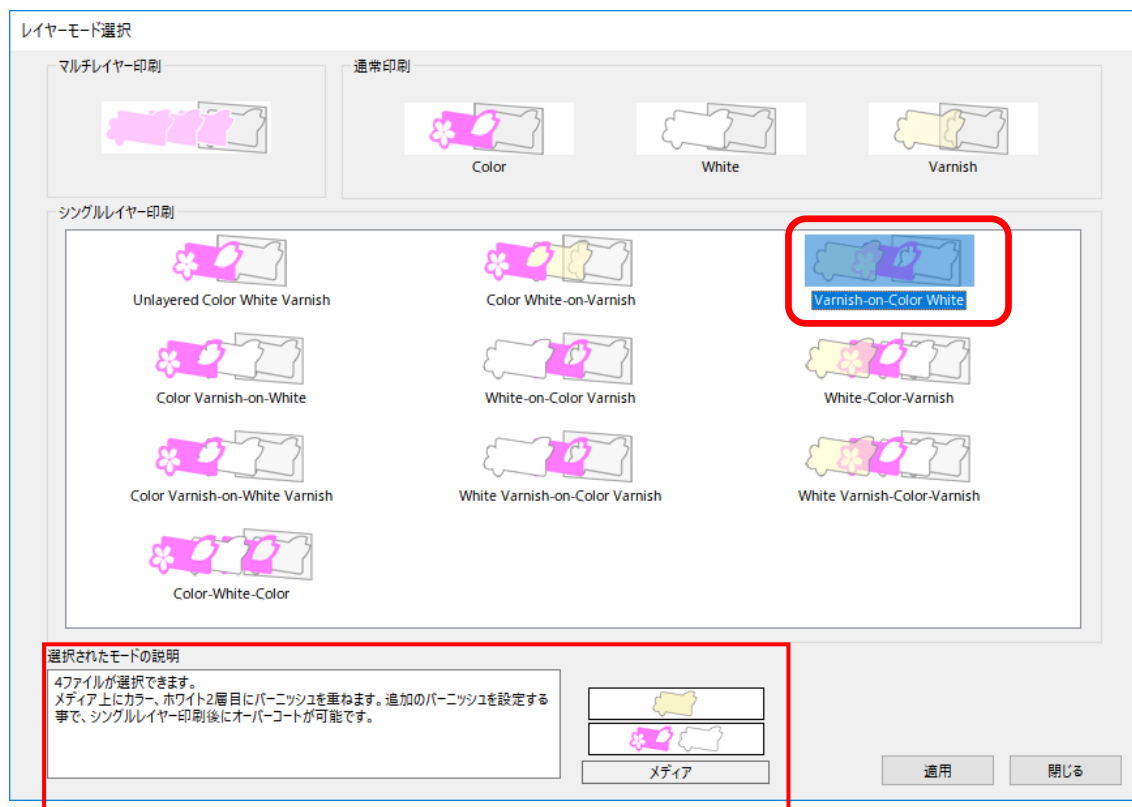


## 8 色



「レイヤーモード選択」画面より希望するアイコンを選択しクリックします。

選択時は画面下部に各モードの説明及びイラストが表示されます。



〔適用〕をクリックします。



## 5.8. 印刷データの選択

レイヤーモード選択後、印刷データを選択します。リスト表示中のカラーモードを参考に該当する設定欄にファイルを設定します。

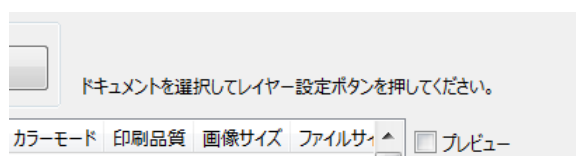
ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集	画像サイズ(mm)	ファイルサイズ
White	2019/05/09 15:21	ホワイト*	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	1,063.5 KB
Varnish	2019/05/09 15:21	バーニッシュ*	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	1,179.7 KB
Color	2019/05/09 15:21	カラー	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	49,087.0 KB

カラーモード

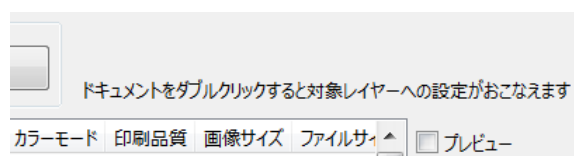
リスト右上に設定方法を表示します。

選択したレイヤーモードにより、以下の2つの設定方法があります。

### 通常

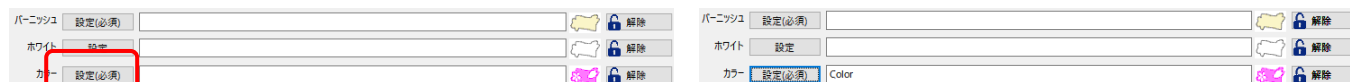


### ダブルクリック



### 通常

リストより設定欄のカラーモードに該当するドキュメントを選択して[ファイルを設定]をクリックします。



① カラーモード「カラー」[ファイルを設定]をクリック

② カラーモード「カラー」にファイルを設定します

### ダブルクリック

ダブルクリック設定の表示がある場合は通常の設定に加えて、印刷データリストに表示中のドキュメントをダブルクリックすると所定の各対象カラーモードにファイルを設定します。

ドキュメント名	作成日時	カラーモード
White	2019/05/09 15:21	ホワイト*
Varnish	2019/05/09 15:21	バーニッシュ*
Color	2019/05/09 15:21	カラー



① カラーモード「カラー」をダブルクリック

② カラーモード「カラー」にファイルを設定します



設定を無効にするには[解除]をクリックします。

▲ レイヤー-No 1/2 ▼

パーニッシュ	設定(必須)	Varnish		解除
ホワイト	設定	White		解除
カラー	設定(必須)	Color		解除

▼

### 通常印刷

カラーモード 1 種類 1 枚のファイルを設定します。

ファイルを設定

ファイルを設定			解除
ファイルを設定			解除
ファイルを設定			解除

### マルチレイヤー印刷 (XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF)

設定欄のカラーモードの制限はありません。レイヤー1 からレイヤー15 の各設定欄に印刷ファイルを自由に配置できます。

▲ レイヤー-No 1, 2, 3 ▼

レイヤー3	ファイルを設定	Varnish		解除
レイヤー2	ファイルを設定	White		解除
レイヤー1	ファイルを設定	Color		解除

▼

## シングルレイヤー印刷

シングルレイヤー印刷では設定ボタンを「設定(必須)」あるいは「設定」のいずれかで表示します。

**設定(必須)**      設定欄に必ずファイルを設定します。

**設定**      条件次第で設定欄を省略できます。

下記のようなケースでは条件として「カラーモードが2種類以上」であれば印刷が行えます。

### 1). Color Varnish-on-White

- ①「設定(必須)」表示のホワイト設定欄にファイルを設定します。
- ②カラー、バーニッシュの設定欄のいずれかにファイルを設定すれば印刷が行えます。

### 2). Unlayered Color White Varnish

ボタン表示に「設定(必須)」がありません。①カラーモードを2種類以上ランダムに設定してください。

VJ-628X(8色) / VJ-1628X(8色)ではマスクデータが省略できます。

### 3). 「Mutoh Metallic Library」を除くマスクデータ

- ①「設定(必須)」表示のカラー、メタリックにファイルを設定します。
- ②メタリック強調(マスクデータ)は省略してもかまいません。用途に応じて設定してください。

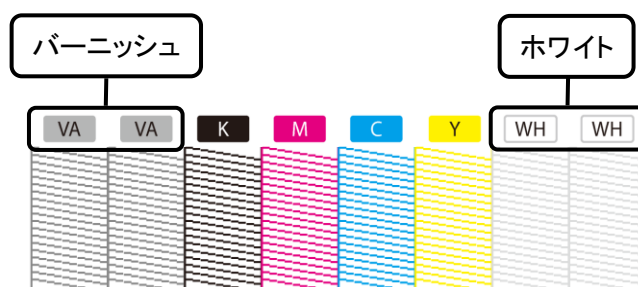
ホワイト、およびバーニッシュを取り扱う機種ではファイルを設定する方法が機種によって異なります。

#### ホワイト、バーニッシュ設定(XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF)

1 ファイルで 2 ノズルを使用します。印刷データを複写し同様のデータを 2 つのノズルで使用します。

Varnish	Select(Must)	Varnish			Cancel
Color	Select(Must)				Cancel
White	Select(Must)	White			Cancel

#### ノズルチェック印刷例(6Color)



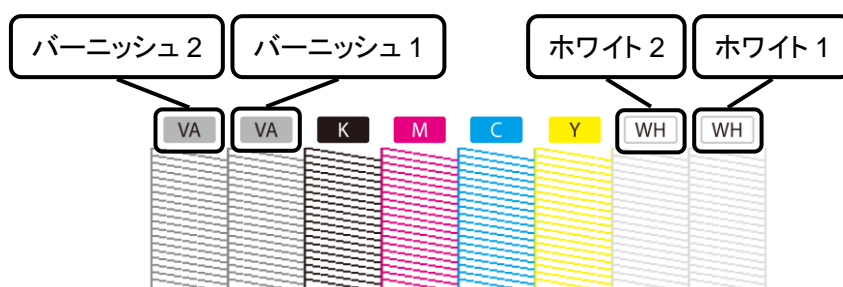
#### ホワイト、バーニッシュ設定(VJ-1626UH / VJ-1638UH / VJ-1638UR / VJ-426UF / VJ-626UF)

2 ファイルで各ノズルを使用します。各ノズルで個別に印刷ファイルを設定しそれぞれのデータを使用します。設定ボタン左に各インク対応ノズルを番号で表示します。

設定		
ホワイト2	設定	white.jpeg
ホワイト1	設定(必須)	white.jpeg

バーニッシュ2	設定	varnish.jpeg
バーニッシュ1	設定	varnish.jpeg
カラー	設定	

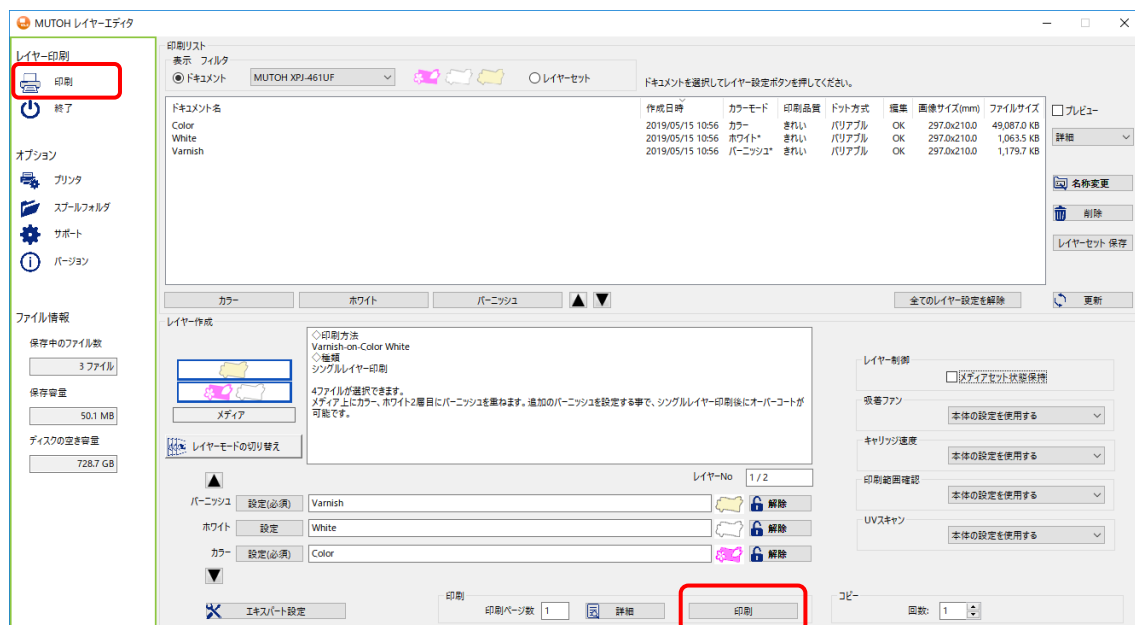
#### ノズルチェック印刷例(6Color)



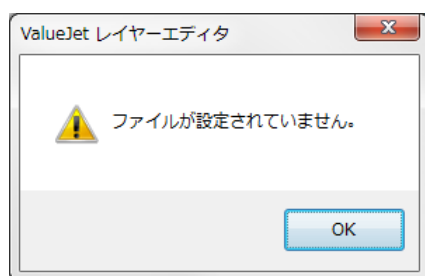
### 注 記

設定欄「ホワイト 1」「ホワイト 2」、および「バーニッシュ 1」「バーニッシュ 2」で同様のデータを設定するとインク濃度を 2 倍にして印刷できます。

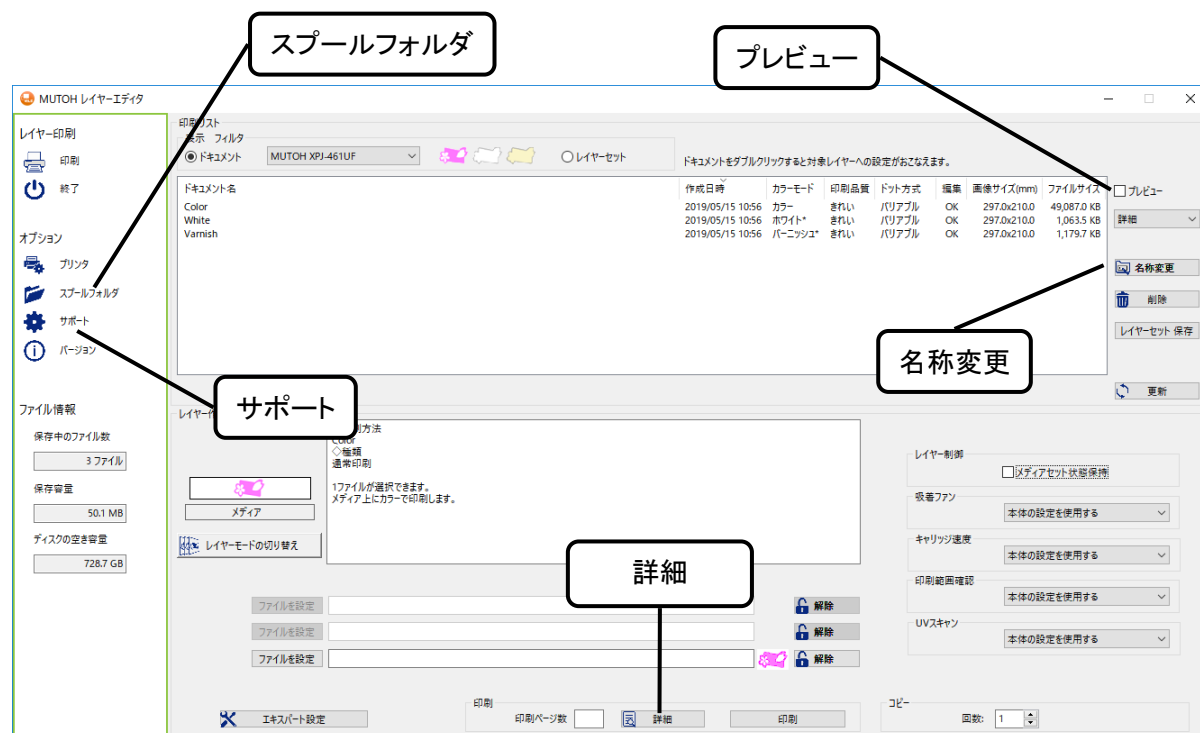
印刷データを各レイヤーに設定後、[印刷]をクリックし印刷を開始します。



ファイルが 1 つも設定されていない場合や条件を満たさない場合は[印刷]クリック時にエラーを表示します。



## 5.9. 各種機能



### 5.9.1. 名称変更

「名称変更」画面を表示します。

リスト表示中の印刷データのドキュメント名を変更できます。

「名称変更入力欄」に任意の名称を入力してください。

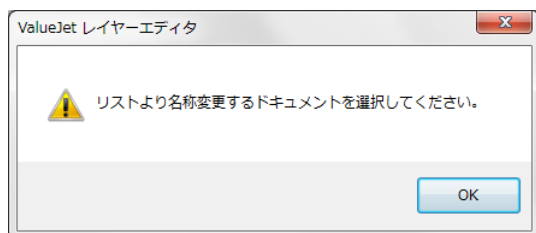


## 設定手順

- ① リストより名称変更をおこないたい印刷データを選択します。ボタンを押す前にあらかじめ名称を変更したい印刷データをリストより選択します。ドキュメント選択は複数選択が可能です。

ドキュメント名	作成日時	カラーモード
Amsterdam	2018/09/20 08:49	カラー#
Sample_Font1	2018/09/20 08:49	ホワイト#
Sample_Font2	2018/09/20 08:49	メタリック
Sample_Font2	2018/09/20 08:49	マスクデータ

ファイルが選択されていない場合は下記のメッセージを表示します。



- ② 「名称変更」をクリックします。

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集	画像サイズ(mm)	ファイルサイズ	
Amsterdam	2018/09/20 08:49	カラー#	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	20,334.2 KB	<input type="checkbox"/> プレビュー
Sample_Font1	2018/09/20 08:49	ホワイト#	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	218.8 KB	詳細 ▼
Sample_Font2	2018/09/20 08:49	メタリック	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	189.0 KB	
Sample_Font2	2018/09/20 08:49	マスクデータ	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	189.0 KB	

**名称変更**

- ③ 名称変更画面に「名称変更入力欄」に任意の名称を入力し「適用」をクリックします。

名称変更

組み合わせを覚えやすい名前を入力してください。

Combination1

**適用** 閉じる

- ④ リスト上のドキュメント名が変更されます。

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集	画像サイズ(mm)	ファイルサイズ
Sample_Font2	2018/09/20 08:49	メタリック	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	189.0 KB
Sample_Font2	2018/09/20 08:49	マスクデータ	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	189.0 KB
Combination1	2018/09/20 08:49	カラー#	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	20,334.2 KB
Combination1	2018/09/20 08:49	ホワイト#	きれい	バリアブル	OK	297.0x210.0	218.8 KB

## 注 記

レイヤー設定が完了しているファイルに対しても名称変更がおこなわれます。

### 5.9.2. プレビュー

「プレビュー」画面を表示します。各印刷データのプレビュー、コメントを表示します。

表示する場合はチェックボックスを✓にします。リスト中の印刷データを選択するか、または各レイヤーに設定されているファイル名をクリックすると該当するファイルのプレビューを表示します。

印刷データリストをクリック



ドキュメント名	作成日時	カ
Color	2019/05/15 10:56	カ
White	2019/05/15 10:56	ホ
Varnish	2019/05/15 10:56	バ

またはレイヤー設定ファイル名をクリック

レイヤー-3	ファイルを設定	
レイヤー-2	ファイルを設定	
レイヤー-1	ファイルを設定	Color



該当するファイルをプレビュー表示します



ホワイト、バーニッシュ、メタリック等の単色データをプレビューでは以下のような色で表示します。通常の単色データは黒で表示しますがホワイト、バーニッシュの「高密度」印刷データに限り表示色が異なります。

通常の単色データ



ホワイト「高密度」



バーニッシュ「高密度」





各印刷データは「コメント欄」より情報を書き込むことができます。

コメント欄横の[更新]クリックで上書き保存されます。

「カラーモード」では対象のプレビューが該当するカラーモードを表示します。

①「カラーモード編集」、及び②「ファイル情報」画面表示は下記の各表示ボタンをクリックします。

#### 「プレビュー」画面



#### 注 記

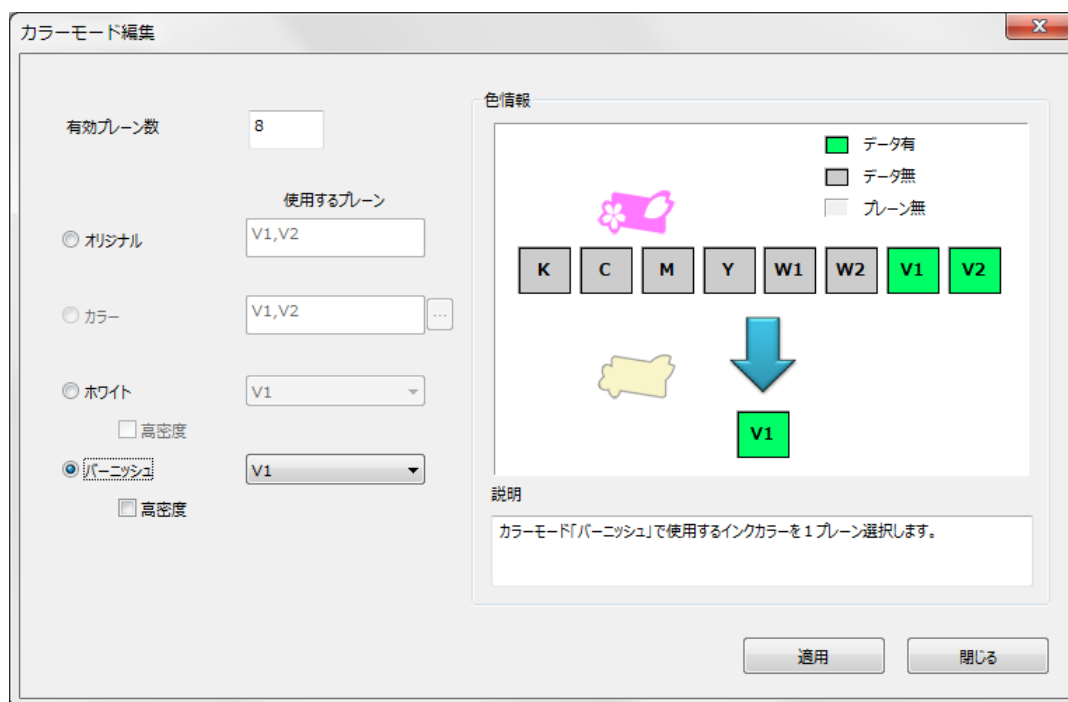
プレビュー画像に使用されるデータが 2G バイトを超えると一部を省略して表示します。  
大容量の印刷データを参照時は注意してください。

## ① 「カラーモード編集」

「カラーモード編集」を表示します。

カラーモードの変更、インクプレーンの指定をおこないます。

## 「カラーモード編集」画面



編集により設定したいカラーモードのレイヤーに自由に印刷データの配置がおこなえます。編集後はリスト表示を変更して表示します。

編集前「カラー」

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質
sample.jpeg	2017/02/02 12:18	カラー	banner1



編集後「ホワイト」

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質
sample.jpeg	2017/02/02 12:18	ホワイト	banner1

編集方法の詳細は同梱の「ValueJet Layer Editor カラーモード編集 ガイド」を参照してください。

CDROM の場合は Manual¥Layer Editor¥VLEJ-B-02.pdf です。

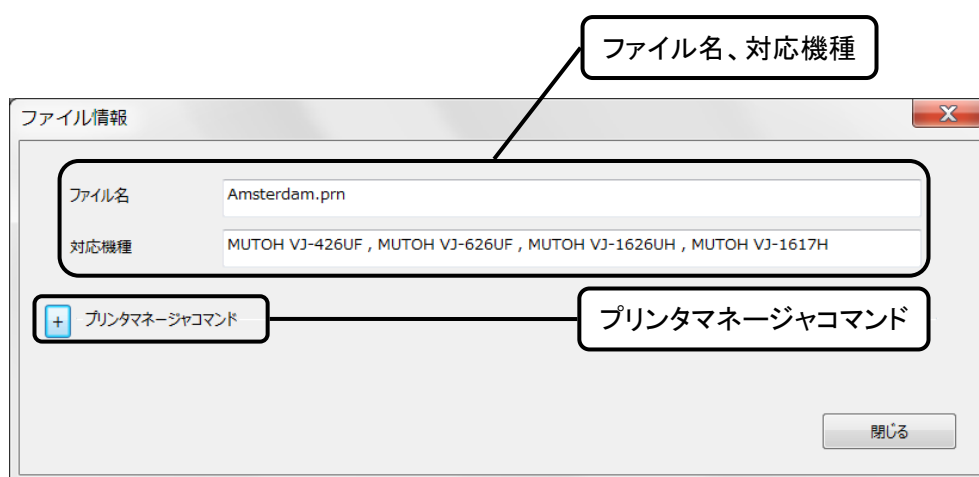
インストーラの場合は同じフォルダの VLEJ-B-02.pdf です。

## ② 「ファイル情報」

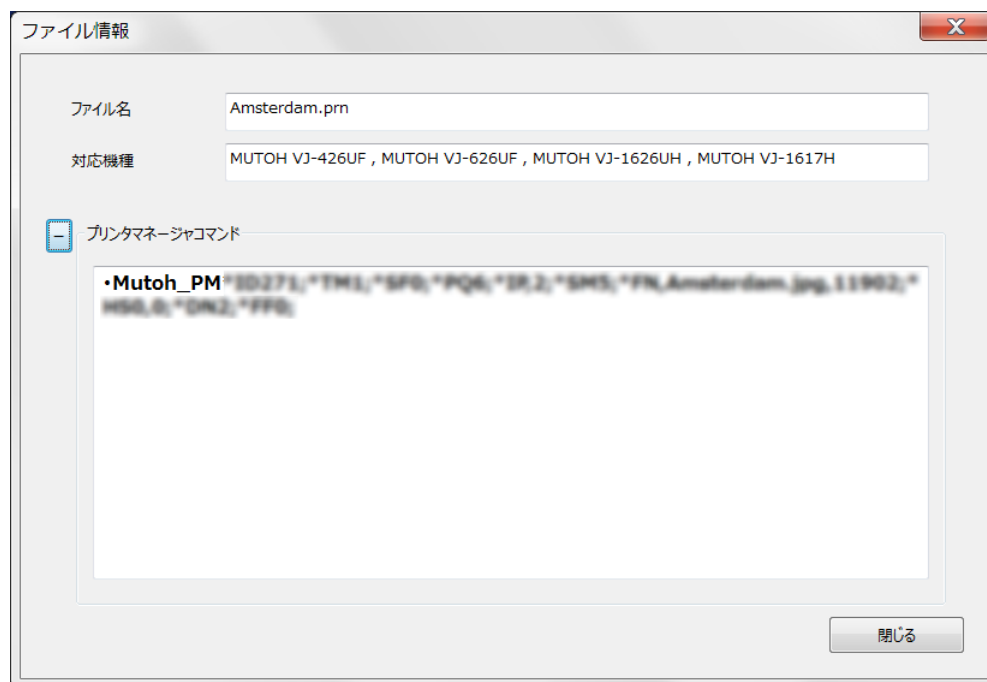
「ファイル情報」を表示します。

「プレビュー」表示中の印刷データの「ファイル名」、「対応機種」、  
「プリンタマネージャコマンド」を表示します。

## 「ファイル情報」画面



「プリンタマネージャコマンド」は「+」「-」クリックで表示を開閉します。



### 5.9.3. 詳細

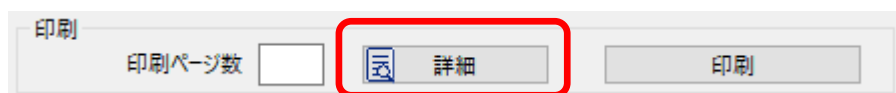
「詳細情報と追加設定」画面を表示します。

「各レイヤーのプレビュー」では各レイヤーに設定された印刷データをプレビュー表示します。

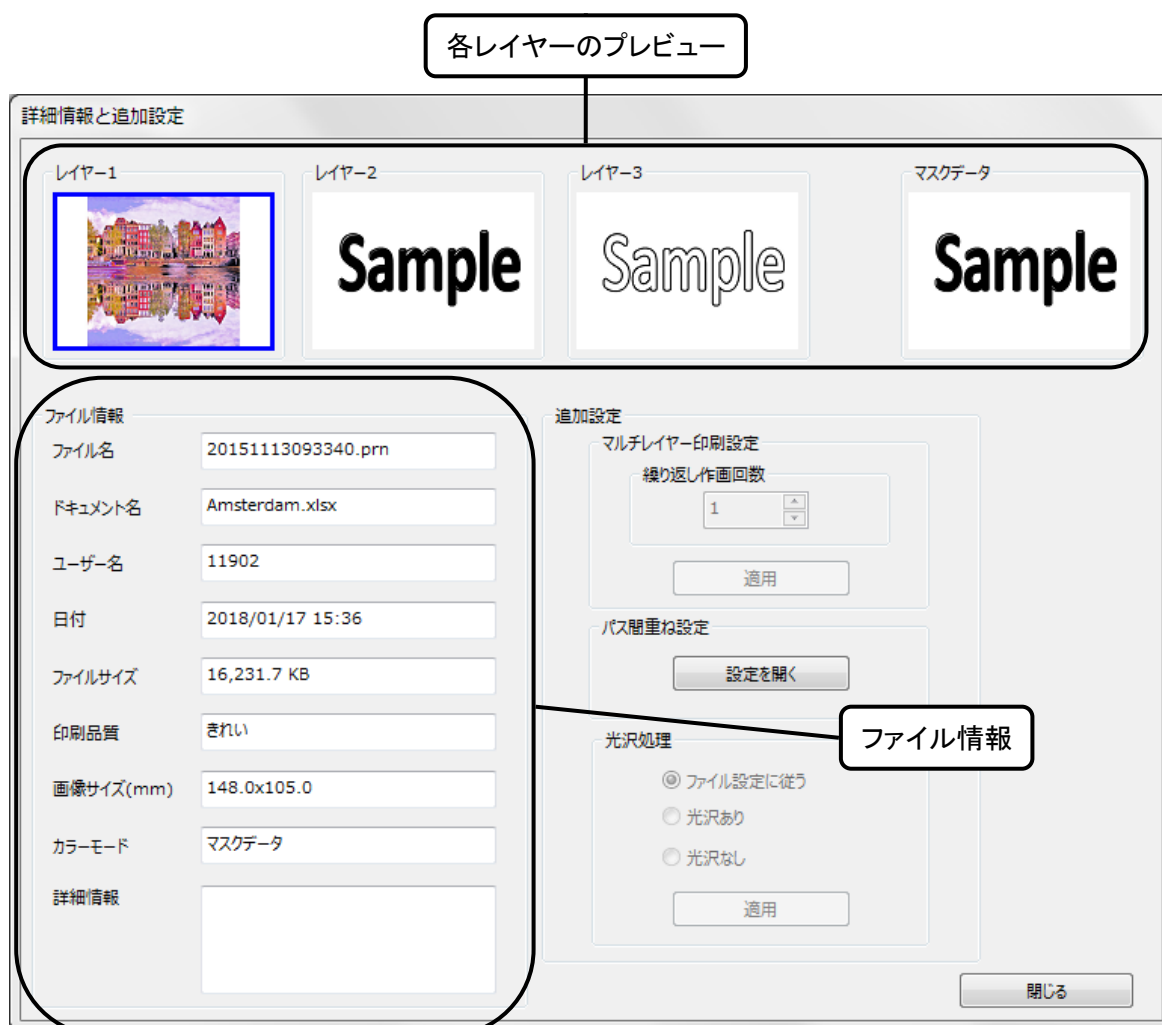
また個別にプレビューをクリックすれば対象レイヤーに設定された印刷データの情報が

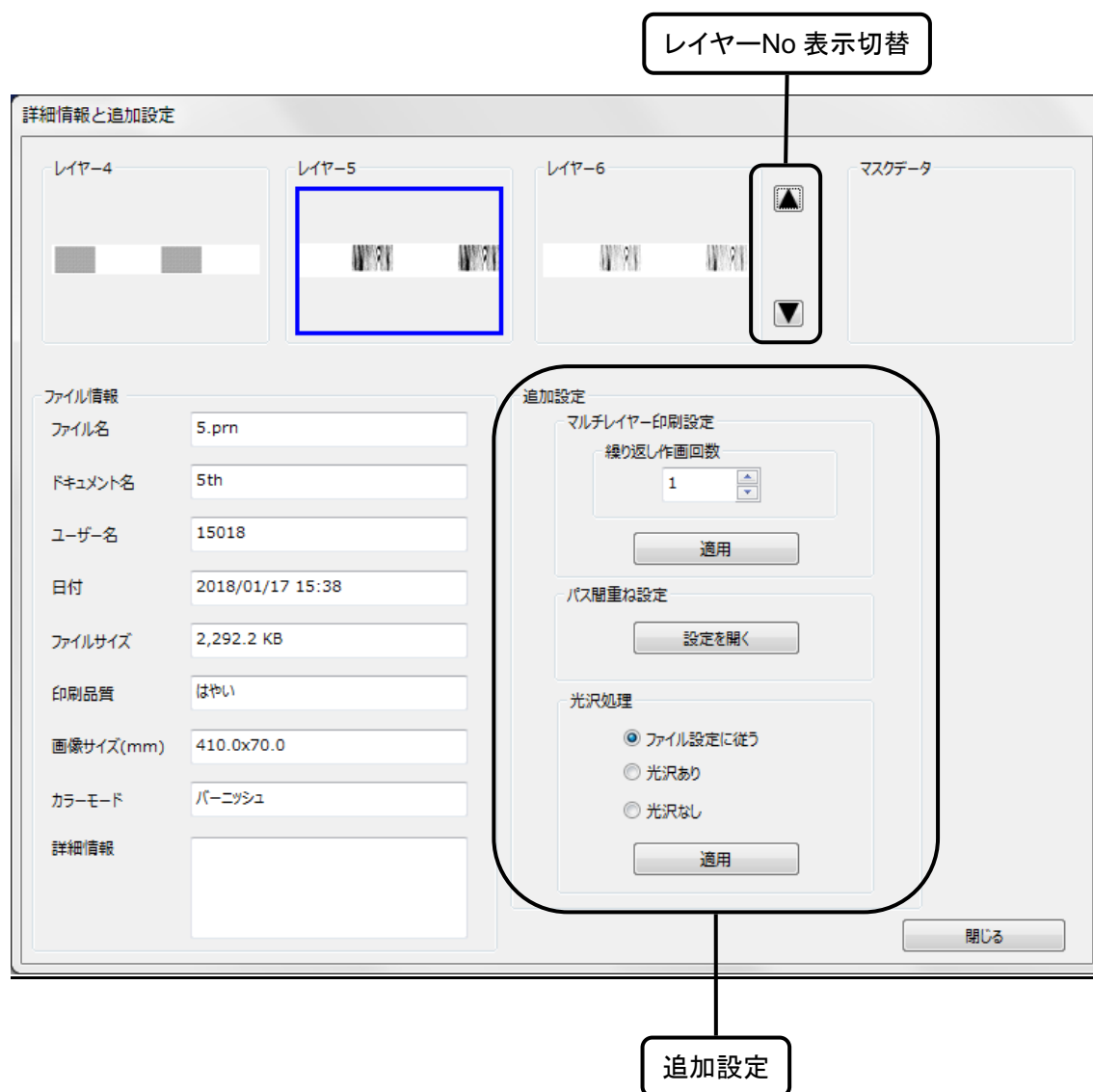
「ファイル情報」に表示されます。

「追加設定」ではマルチレイヤーモード時の各種設定が行えます。後述の「6 レイヤー印刷の仕上がり調整方法」または「7.13 パス間重ね設定」を参照してください。



「詳細情報と追加設定」画面





#### 5.9.4. スプールフォルダ

「スプールフォルダ」画面を表示します。

##### スプールフォルダ

画面上部に「スプールフォルダ」を表示します。メイン画面にリスト表示する印刷データのフォルダを設定します。インストール直後は「初期フォルダ位置」を参照します。

初期フォルダ位置

C:\Users\\*\*\*\*\AppData\Roaming\Mutoh\VLE\Spool

##### スプールフォルダ画面「スプールフォルダ」

スプールフォルダ

スプールフォルダ

この画面で印刷データのスパール先のフォルダが変更できます。

参照 C:\Users\Mutoh\AppData\Roaming\Mutoh\VLE\Spool

履歴 ☒ 初期フォルダ位置を使用

インストール時「✓」有効です。

ホットフォルダ

全機種 ☒ ホットフォルダを使用する

参照 C:\Users\Mutoh\AppData\Roaming\Mutoh\VLE\_Spool

履歴 ☒ 初期フォルダ位置を使用

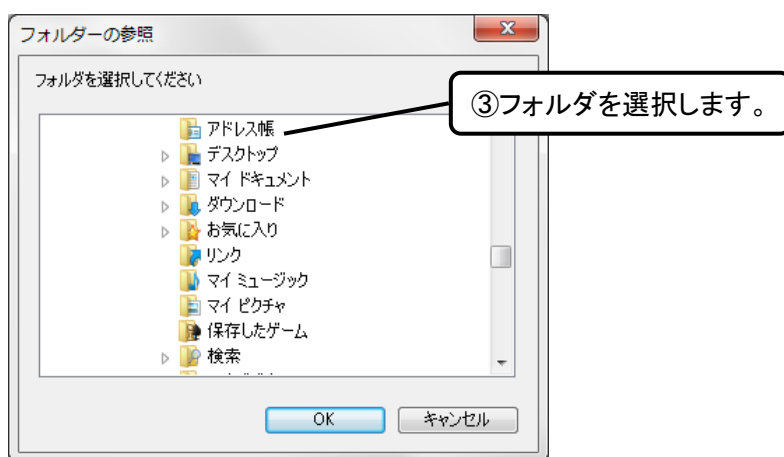
適用 閉じる

参照するフォルダを変更する場合は

- ① 「初期設定位置を使用」チェックボックスの「✓」を外します。
- ② 「参照」をクリックします。
- ③ 「フォルダーの参照」を表示します。該当するフォルダを選択します。



「フォルダーの参照」



### 注 記

インストール時のファイルの保存場所は、Windows のエクスプローラーが表示できない場所（環境変数 AppData 以下）になっています。

初期フォルダに必要なファイルが残っている場合は、「初期フォルダ位置を使用」のチェックを有効にして、一時的に元の場所を参照してご利用ください。

### インポート用ホットフォルダ

画面下部に「インポート用ホットフォルダ」を表示します。

ここで設定したホットフォルダの印刷データは上記スプールフォルダに自動で移動します。ローカルに保存した印刷データの移動に使用できます。

初期フォルダ位置	C:\Users\****\AppData\Roaming\Mutoh\VLE_Spool
----------	---

### スプールフォルダ画面「ホットフォルダ」

スプールフォルダ

スプールフォルダ

この画面で印刷データのスプール先のフォルダが変更できます。

参照 C:\Users\Mutoh\AppData\Roaming\Mutoh\VLE\_Spool

履歴 ☒ 初期フォルダ位置を使用

ホットフォルダ

全機種 ☒ ホットフォルダを使用する

参照 C:\Users\Mutoh\AppData\Roaming\Mutoh\VLE\_Spool

履歴 ☒ 初期フォルダ位置を使用

適用 閉じる

起動時、ホットフォルダ機能は無効です。有効にするには

- ①「ホットフォルダを使用する」チェックボックスを「✓」します。
- ②初回設定時「初期フォルダ位置を使用」チェックボックスは「✓」です。

ホットフォルダ

全機種 ☒ ホットフォルダを使用する

参照 C:\Users\11902\AppData\Roaming\Mutoh\VLE\_Spool

☒ 初期フォルダ位置を使用

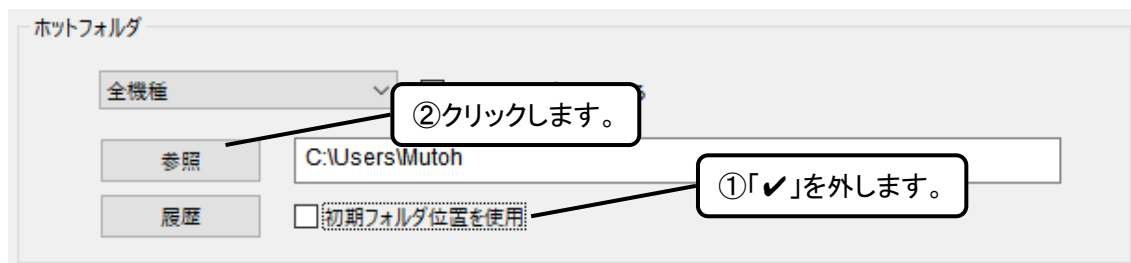
①「✓」をします。

②起動時「✓」。

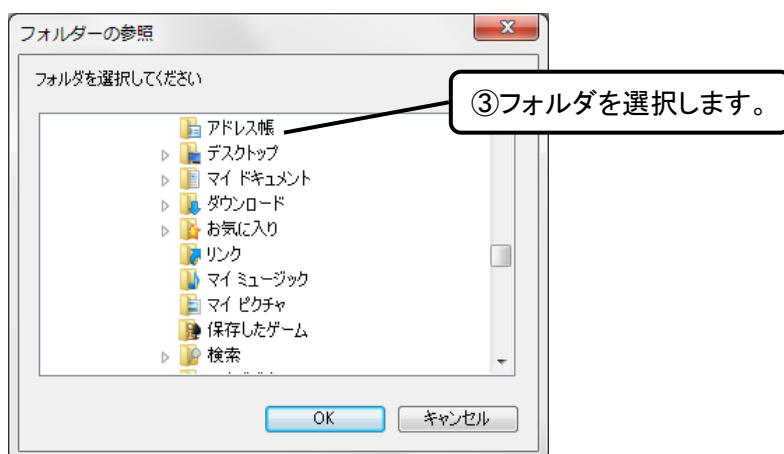


参照するフォルダを変更する場合は

- ① 「初期設定位置を使用」チェックボックスの「✓」を外します。
- ② [参照]をクリックします。
- ③ 「フォルダーの参照」を表示します。該当するフォルダを選択します。



「フォルダーの参照」



## 注 記

印刷ファイルの取り扱いではドライブの空き容量に配慮が必要です。

ホットフォルダ設定の際は以下の点に注意しておこなってください。

- ホットフォルダとスプールフォルダの設定が同一ドライブでない場合、ホットフォルダの全データが別ドライブにあるスプールフォルダに配置されるため著しく容量が増えることによって空き容量が不足する場合があります。
- ドット形式がバリブルドットでないファイルは Layer Editor 起動時にドット変換処理に伴いファイル容量が2倍になります。
- RIP から長尺データを出力した場合、大量のデータによりPCが不安定になる恐れがあります。目安として最大 30m程度の長さのデータを留めて印刷してください。

## スプールフォルダ、ホットフォルダ「参照フォルダ履歴表示」

参照されたフォルダのパスは自動的に保存されます。参照したフォルダを再度使用する場合は

- ①「履歴」をクリックします。
- ②「履歴」画面を表示します。表示されるリストからパスを選択します。
- ③「適用」をクリックします。不要なパスは「削除」をクリックしてください。

### スプールフォルダ

スプールフォルダ

スプールフォルダ

この画面で印刷データのスパール先のフォルダが変更できます。

参照 C:\Users\Mutoh\DATA\Sample1\MLE\_Spool

履歴 ☒ 初期フォルダは MLE\_Spool

①クリックします。

ホットフォルダ

全機種 ☐ ホットフォルダを使用する

参照 C:\Users\Mutoh\DATA\Sample1\MLE\_Spool

履歴 ☒ 初期フォルダは MLE\_Spool

①クリックします。

適用 閉じる

### 履歴

履歴 (スプールフォルダ)

アクセス日時	機種名	フォルダパス
2019/05/08 15:19:43	MUTOH XPJ-461UF	C:\Users\Mutoh\DATA\Sample1
2019/05/08 15:19:52	MUTOH XPJ-461UF	C:\Users\Mutoh\DATA\Sample2
2019/05/09 15:22:05	MUTOH XPJ-461UF	C:\Users\Mutoh\DATA\Sample3

②パスを選択します。

③適用をクリックします。

適用 削除 キャンセル

### 5.9.5. サポート

「サポート」画面を表示します。

#### ダンプ設定

画面上部に「ダンプ設定」を表示します。

通常の印刷ではなく印刷結果をファイルに保存します。「ダンプ」が「✓」であれば有効です。

インストール直後は初期フォルダ位置及びファイル名で保存します。

初期フォルダ位置	C:\Users\****\Documents
初期ファイル名	VLE_FileDump.dat

保存内容は「ヘッダーダンプ」と「ファイルダンプ」のいずれかを選択します。

ヘッダーダンプ	送信される印刷データコマンド部分をファイル保存します。
ファイルダンプ	送信される印刷データ全てをファイル保存します。

#### サポート画面「ダンプ設定」

サポート

**ダンプ 設定**

チェックボックスで“ダンプ”を有効にすると、次回の印刷はファイル出力になります。

☒ ダンプ

☐ ヘッダーダンプ

☒ ファイルダンプ

C:\Users\11902\Documents\VLE\_FileDump.dat

保存ファイル名の変更

適用

**Library Sheet サンプル 印刷**

メタリックライブラリ色見本を準備するためシートを印刷します。

印刷

**言語切替**

あ ↔ A

Japanese

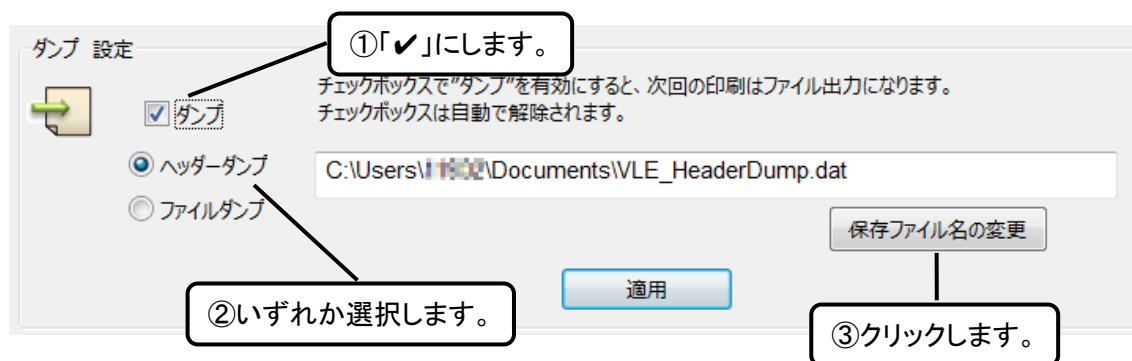
適用

閉じる

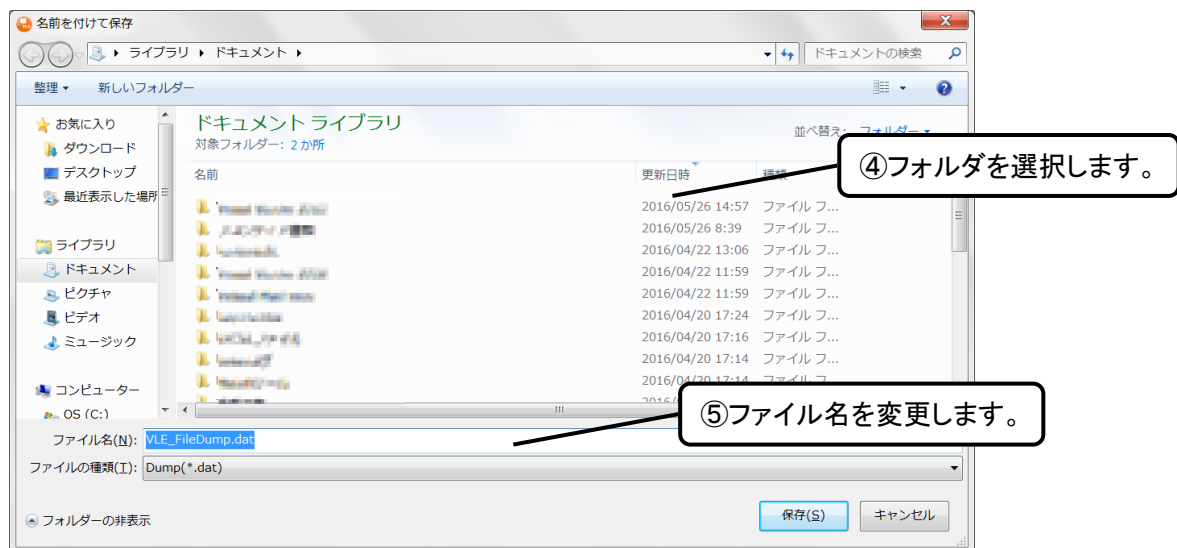
保存ファイル名を変更する場合は

- ① 「ダンプ」を「✓」にします。
  - ② 「ヘッダーダンプ」または「ファイルダンプ」を選択します。
  - ③ 「保存ファイル名の変更」をクリックします。
- 「名前をつけて保存」を表示します。④フォルダ位置、⑤ファイル名を変更します。

#### 「ダンプ設定」



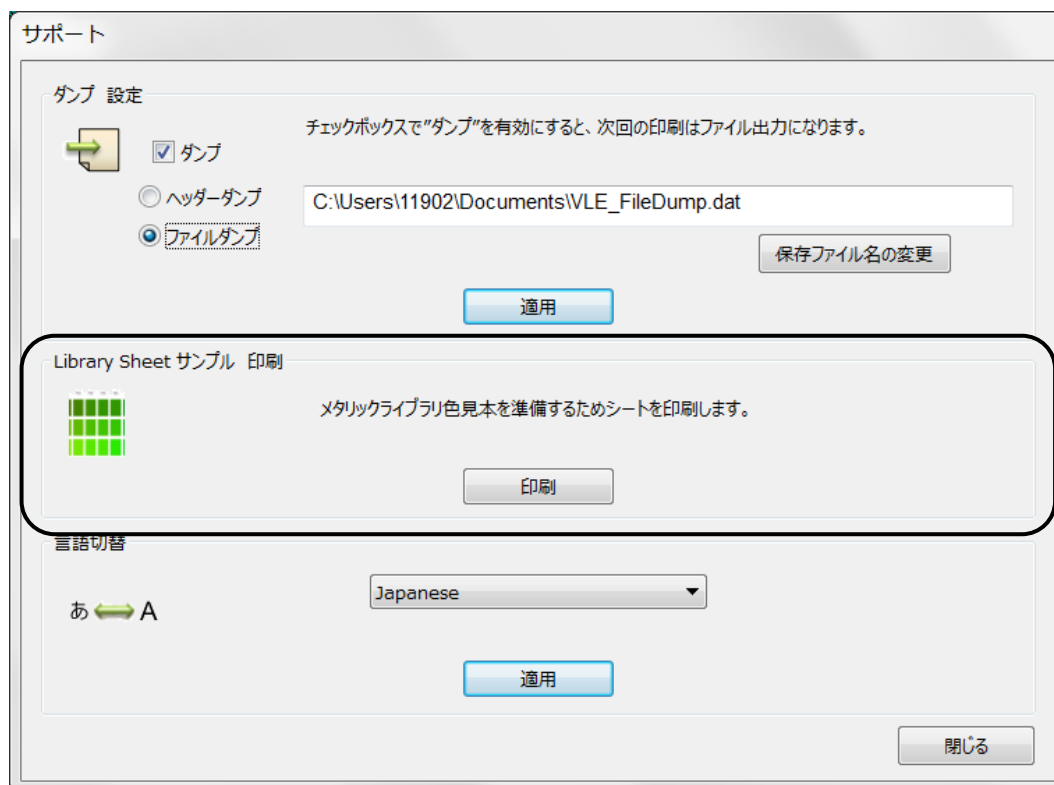
#### 「名前をつけて保存」



### Library Sheet サンプル 印刷

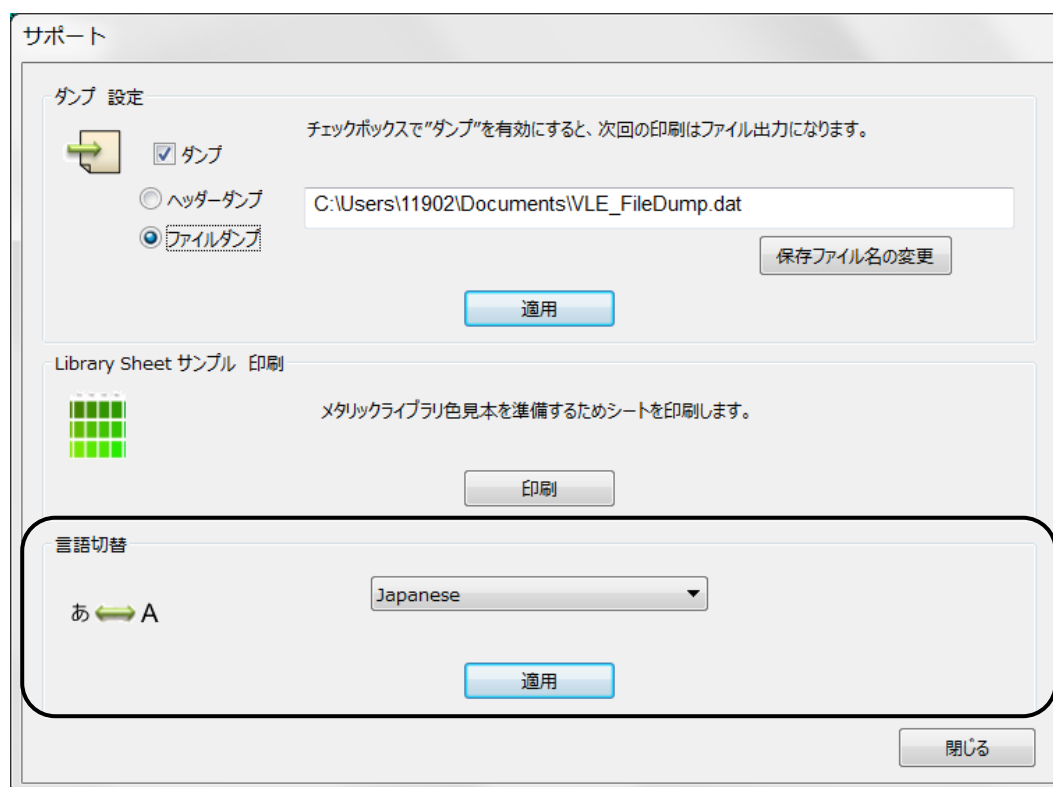
画面中央に「Library Sheet サンプル印刷」を表示します。

「5.13VJ-628X / VJ-1628X Metallic Library 印刷 基本手順」で説明します。



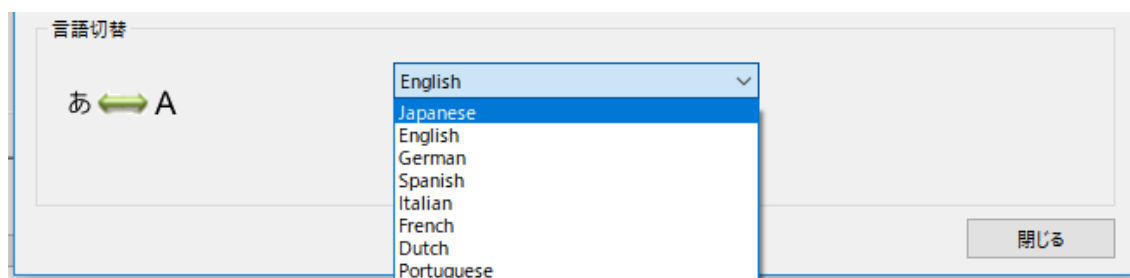
## 言語切替

画面下部に「言語切替」を表示します。



リストからいずれかの言語を選択します。

日本語      英語      ドイツ語      スペイン語      イタリア語      フランス語  
オランダ語      ポルトガル語



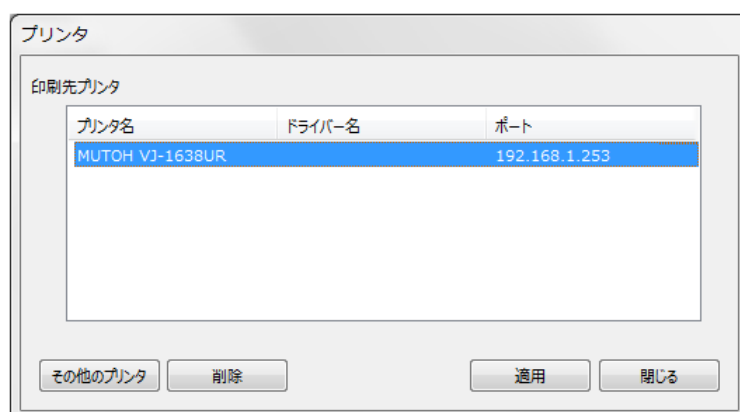
## 5.10. VJ-1638UR シングルレイヤーモード印刷 基本手順

VJ-1638UR シングルレイヤーモード「4 層(KCMY-KCMY-WW-KCMY)」では  
4 層最大 5 ファイルが設定できます。

### 操作方法

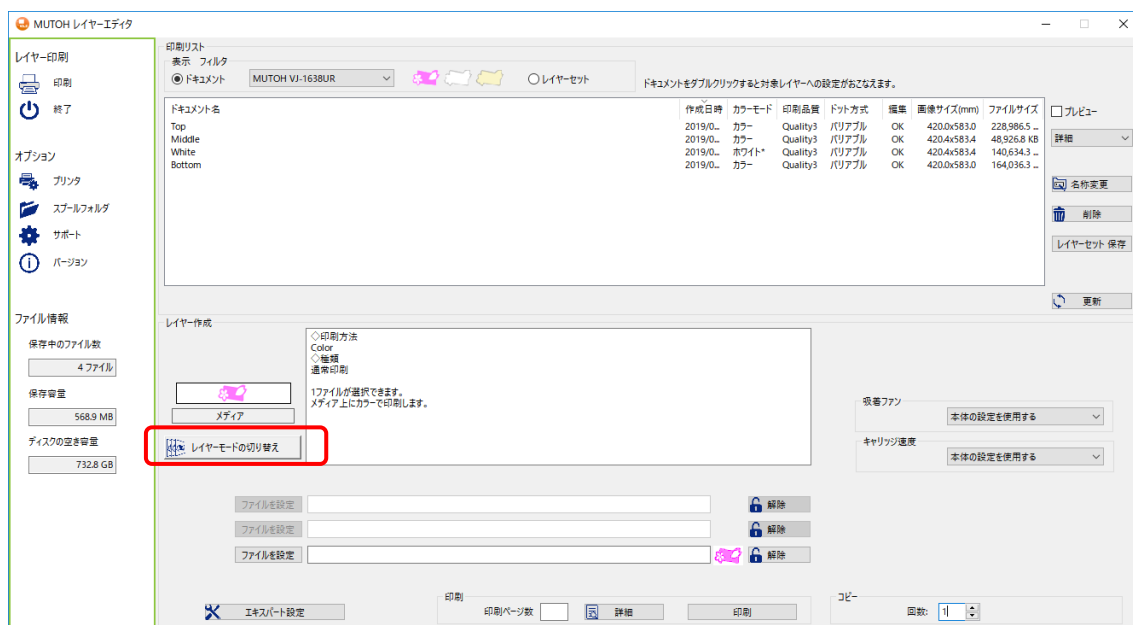
- ① 機種 VJ-1638UR を選択します。

プリンタポート設定については「5.2 初期設定(初回起動時)」を参照してください。

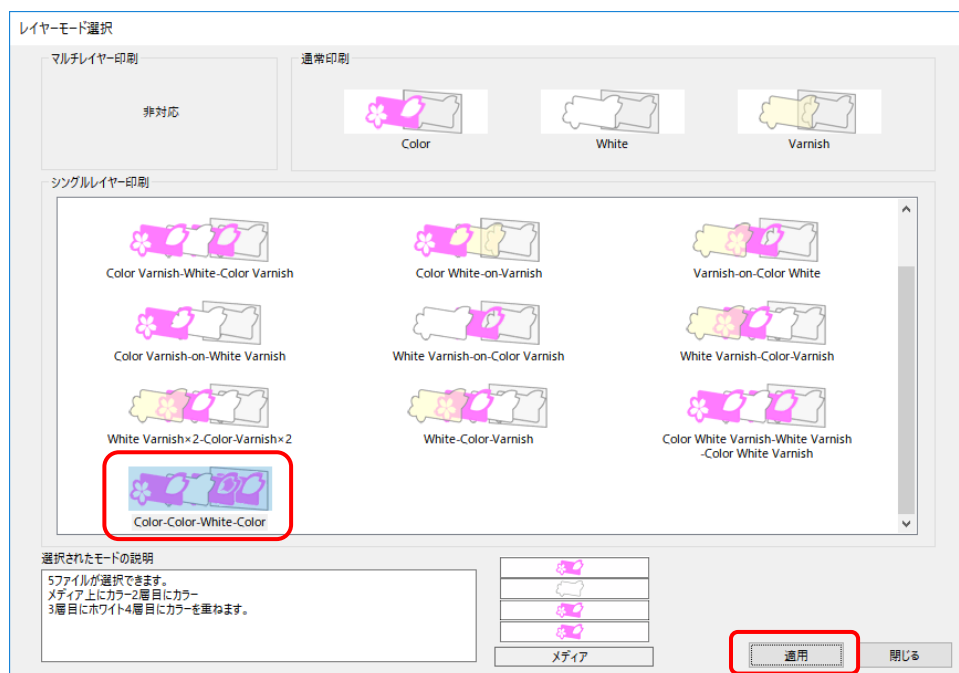


- ② レイヤーモードを切り替えます。

「レイヤーモードの切り替え」をクリックし「レイヤーモード選択」を表示します。

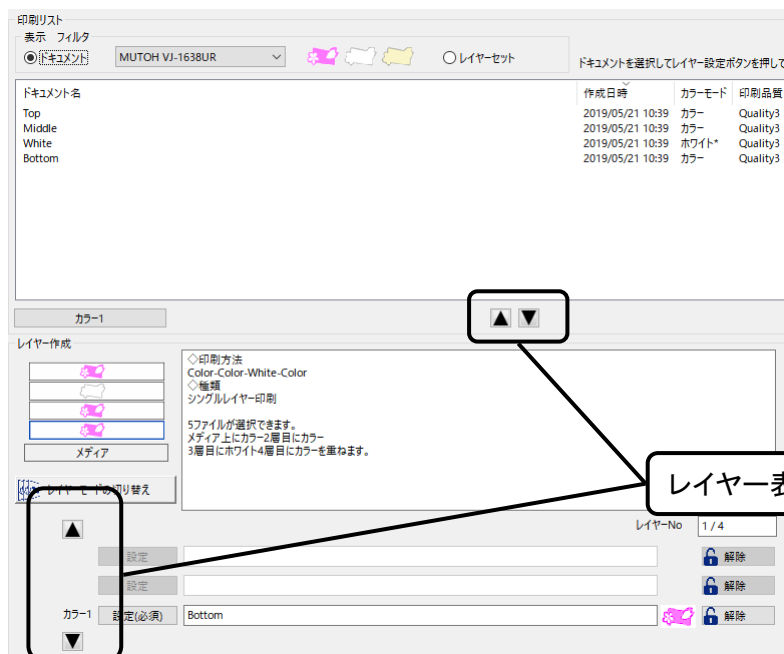


「Color-Color-White-Color」を選択し〔適用〕をクリックします。



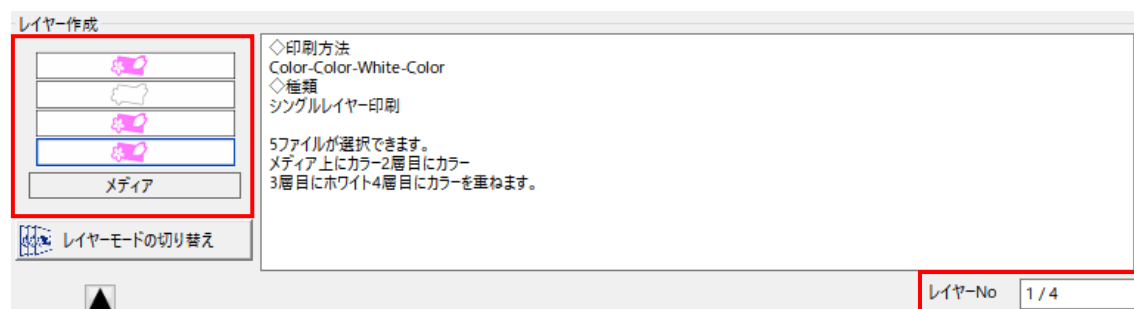
③ 各レイヤーに印刷データを設定します。

表示を各レイヤーに切り替える〔▲〕、〔▼〕をリスト下、カラーモードテキスト上下に表示します。



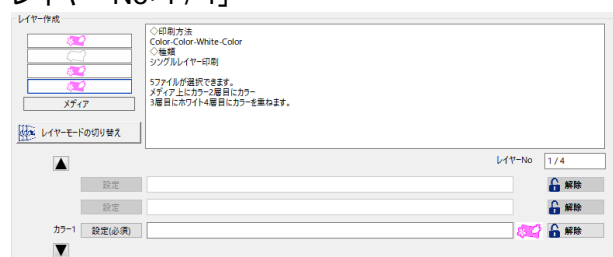


レイヤーモードアイコンでは青枠、右下「レイヤーNo」ではページ番号で  
入力中のレイヤーが確認できます。

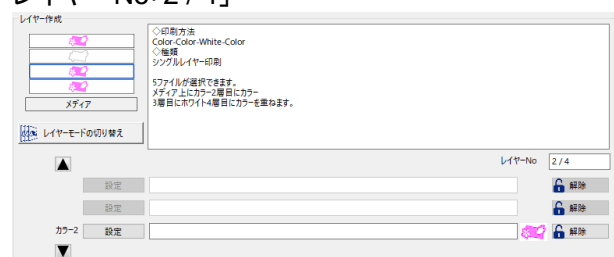


〔▲〕、〔▼〕クリックで各レイヤーに表示を切り替えます。  
ワンクリックにつき上下 1 から 4 の各層に表示を切り替えます。

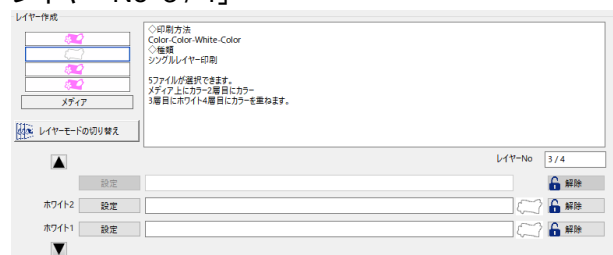
#### レイヤーNo「1 / 4」



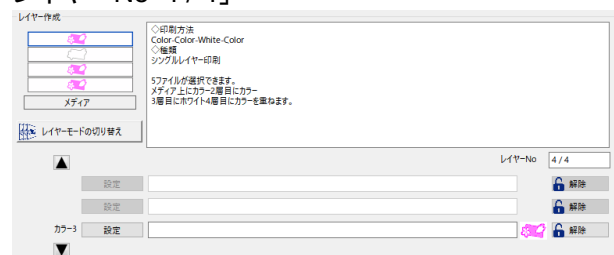
#### レイヤーNo「2 / 4」



#### レイヤーNo「3 / 4」



#### レイヤーNo「4 / 4」



リスト表示「カラーモード」から印刷データがどのレイヤーに該当するか確認します。

「グレースケール」表記のファイルはホワイト、バーニッシュのどちらにも設定できます。

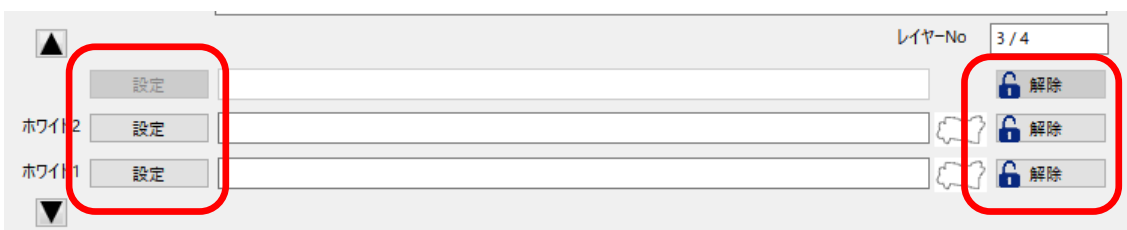
ドキュメント名	作成日時	カラーモード
white_sample	2016/05/17 11:04	ホワイト
varnish_sample	2016/05/17 11:08	バーニッシュ
amsteldom	2016/05/17 11:20	カラー
grayscale_sample	2016/05/17 11:25	グレースケール

ファイル設定欄横のボタン表記は「設定」、または「設定(必須)」の2種類あります。

「設定(必須)」表記は、設定欄に必ずファイルの設定が必要です。

「設定」表記は、設定欄に用途に合わせてランダムにファイルが設定できます

ファイルの設定を解除するには[解除]をクリックします。



リスト下のカラーモード表記ボタンでもファイルが設定できます。

レイヤーに設定されたファイルを全て無効にする場合は[全てのレイヤー設定を解除]をクリックしてください

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集	画像サイズ(mm)	ファイルサイズ
Top	2019/05/21 10:39	カラー	Quality3	バリエーション	OK	420.0x583.0	228,986.5 KB
Middle	2019/05/21 10:39	カラー	Quality3	バリエーション	OK	420.4x583.4	48,926.8 KB
White	2019/05/21 10:39	ホワイト*	Quality3	バリエーション	OK	420.4x583.4	140,634.3 KB
Bottom	2019/05/21 10:39	カラー	Quality3	バリエーション	OK	420.0x583.0	164,036.3 KB

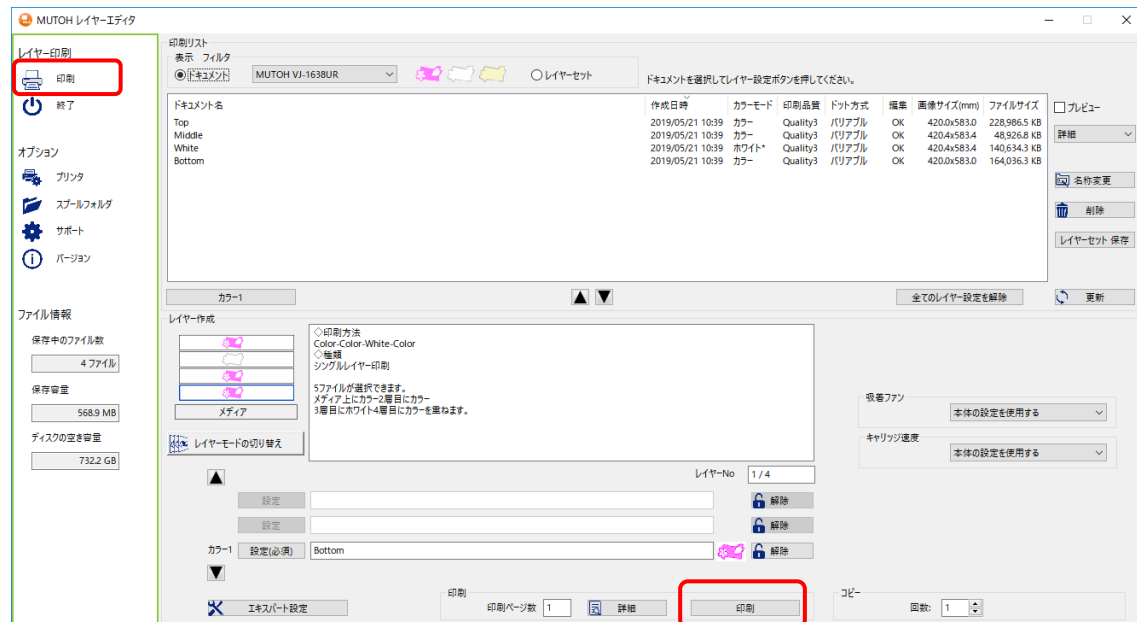
## 注 記

VJ-1638UR シングルレイヤーモード印刷ではドキュメント選択は設定ボタンでおこないます。

ダブルクリックの設定はできません。

## ④ 印刷を行います。

印刷データを指定し終えたら、[印刷]をクリックし印刷を開始します。



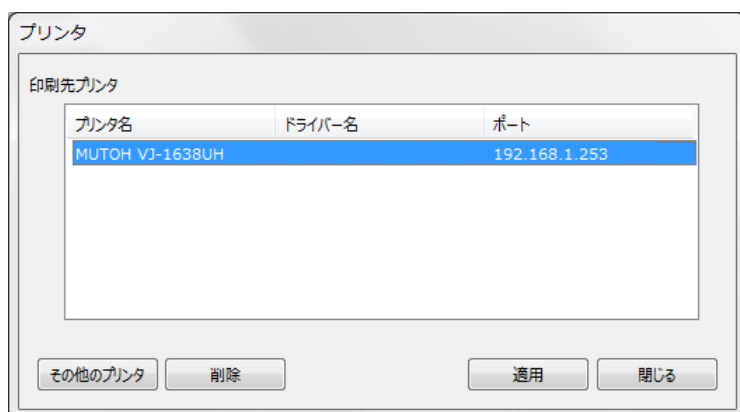
## 5.11. VJ-1638UH シングルレイヤーモード印刷 基本手順

VJ-1638UH シングルレイヤーモード「3 層(KCMYWV-WWV-KCMYWV)」では 1 つのレイヤーに最大 3 ファイル、3 層最大 9 ファイルが設定できます。

### 操作方法

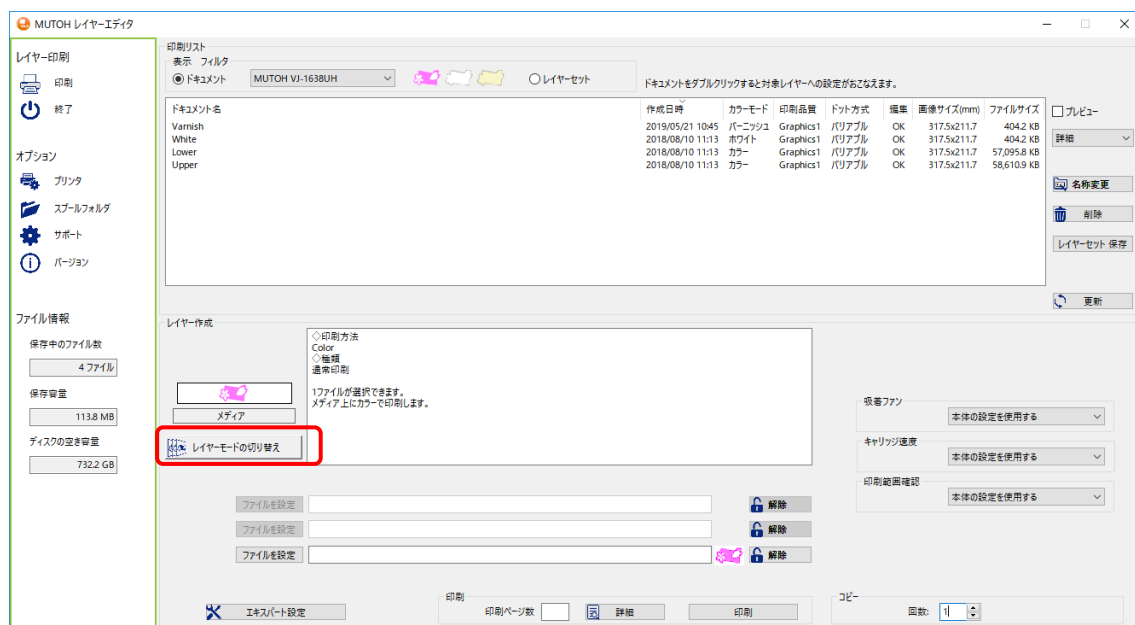
⑤ 機種 VJ-1638UH を選択します。

プリンタポート設定については「5.2 初期設定(初回起動時)」を参照してください。

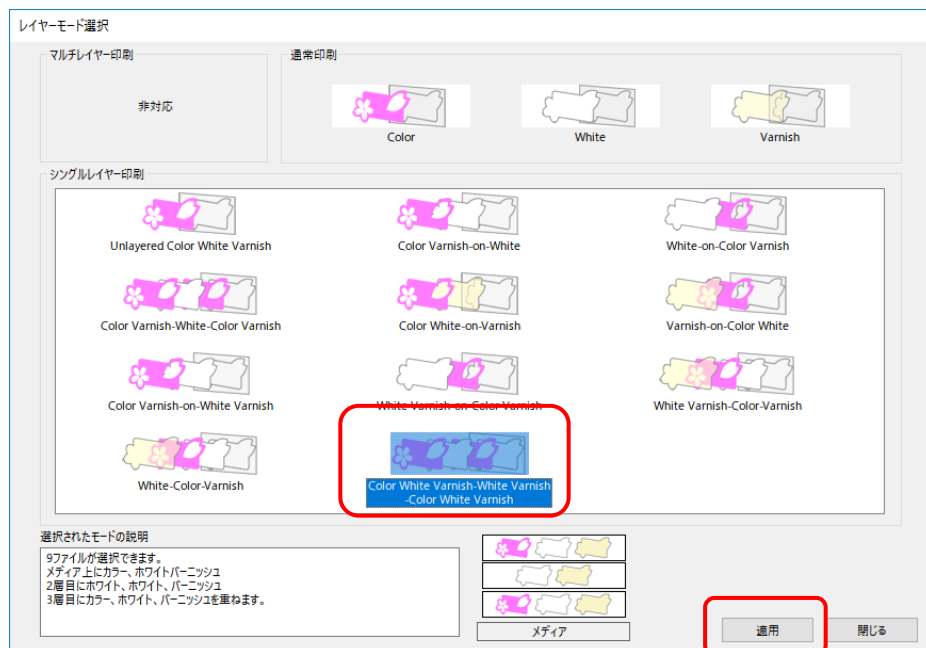


⑥ レイヤーモードを切り替えます。

「レイヤーモードの切り替え」をクリックし「レイヤーモード選択」を表示します。

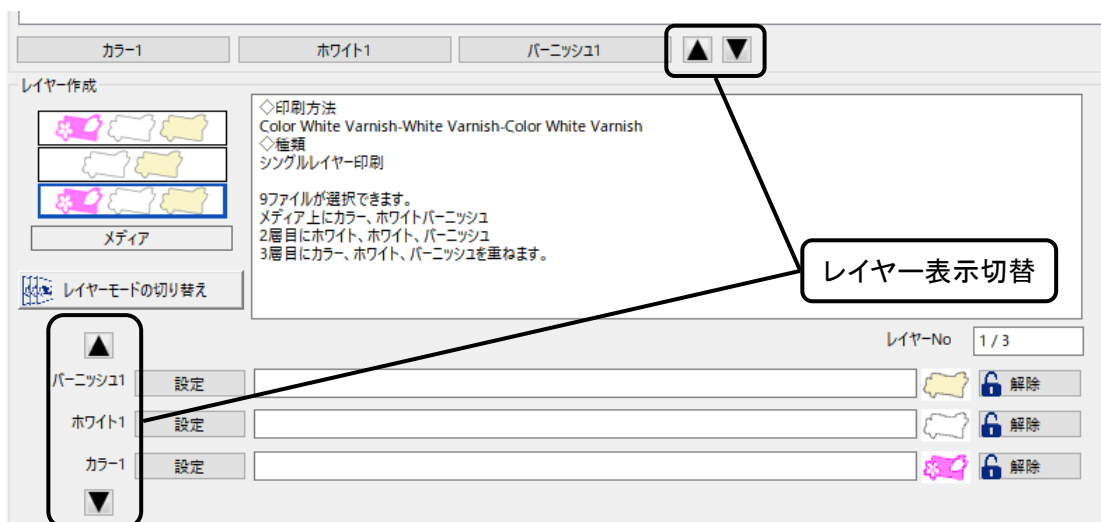


「Color White Varnish-White Varnish-Color White Varnish」を選択し[適用]をクリックします。



⑦ 各レイヤーに印刷データを設定します。

表示を各レイヤーに切り替える[▲]、[▼]をリスト下、カラーモードテキスト上下に表示します。



レイヤーモードアイコンでは青枠、右下「レイヤーNo」ではページ番号で  
入力中のレイヤーが確認できます。



[▲]、[▼]クリックで各レイヤーに表示を切り替えます。  
ワンクリックにつき上下 1 から 3 の各層に表示を切り替えます。

レイヤーNo「1 / 3」



レイヤーNo「2 / 3」



レイヤーNo「3 / 3」



リスト表示「カラーモード」から印刷データがどのレイヤーに該当するか確認します。  
「グレースケール」表記のファイルはホワイト、バーニッシュのどちらにも設定できます。

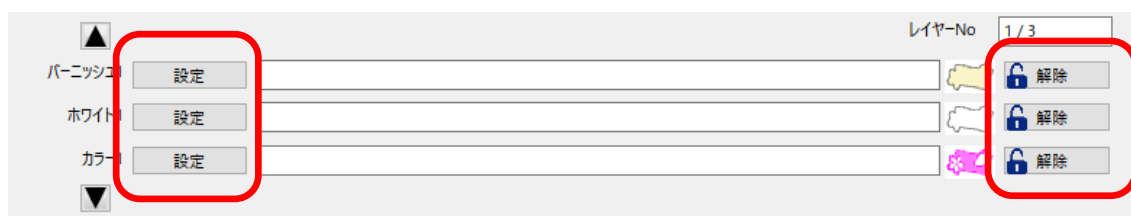
ドキュメント名	作成日時	カラーモード
white_sample	2016/05/17 11:04	ホワイト
varnish_sample	2016/05/17 11:08	バーニッシュ
amsteldom	2016/05/17 11:20	カラー
grayscale_sample	2016/05/17 11:25	グレースケール

ファイル設定欄横のボタン表記は「設定」、または「設定(必須)」の2種類あります。

「設定(必須)」表記は、設定欄に必ずファイルの設定が必要です。

「設定」表記は、設定欄に用途に合わせてランダムにファイルが設定できます

ファイルの設定を解除するには[解除]をクリックします。



リスト下のカラーモード表記ボタンでもファイルが設定できます。

レイヤーに設定されたファイルを全て無効にする場合は[全てのレイヤー設定を解除]をクリックしてください

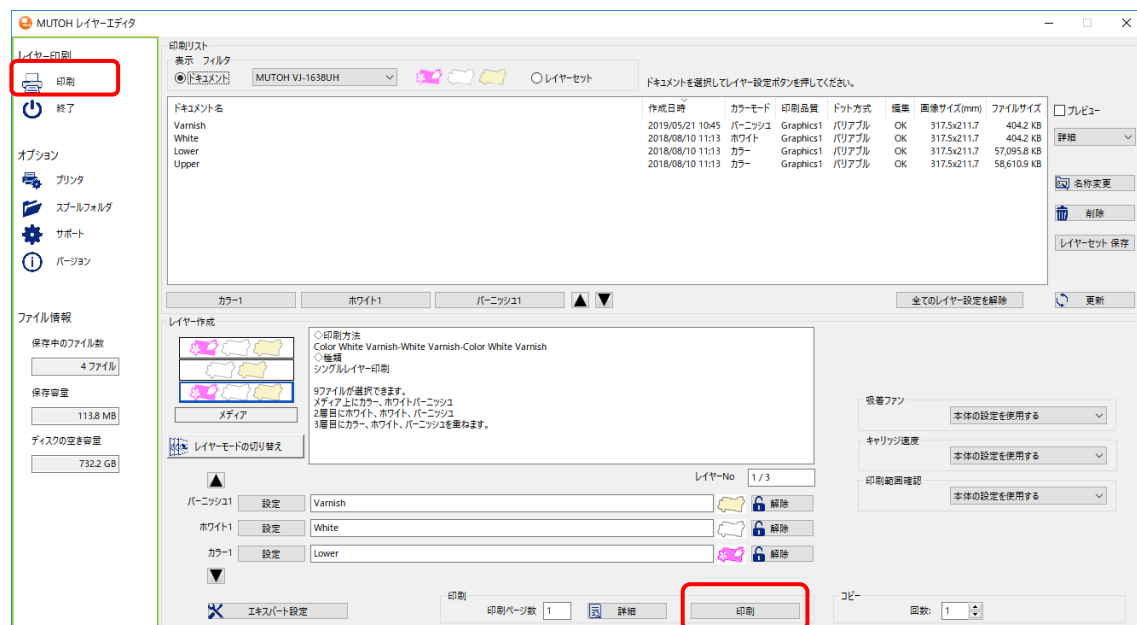
ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集	画像サイズ(mm)	ファイルサイズ
Varnish	2019/05/21 10:45	バーニッシュ	Graphics1	バリアブル	OK	317.5x211.7	404.2 KB
White	2018/08/10 11:13	ホワイト	Graphics1	バリアブル	OK	317.5x211.7	404.2 KB
Lower	2018/08/10 11:13	カラー	Graphics1	バリアブル	OK	317.5x211.7	57,095.8 KB
Upper	2018/08/10 11:13	カラー	Graphics1	バリアブル	OK	317.5x211.7	58,610.9 KB

## 注 記

VJ-1638UH シングルレイヤーモード印刷ではドキュメント選択は設定ボタンでおこないます。  
ダブルクリックの設定はできません。

## ⑧ 印刷を行います。

印刷データを指定し終えたら、[印刷]をクリックし印刷を開始します。





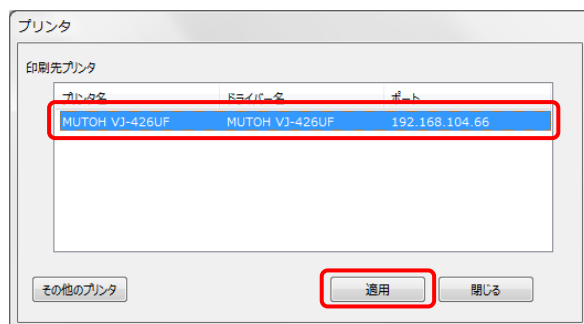
## 5.12. XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF マルチレイヤーモード印刷 基本手順

XPJ-461UF / VJ-426UF / VJ-626UF マルチレイヤーでは最大 15 層、15 ファイルの設定ができます。マルチレイヤー印刷の基本手順を説明します。

### 操作方法

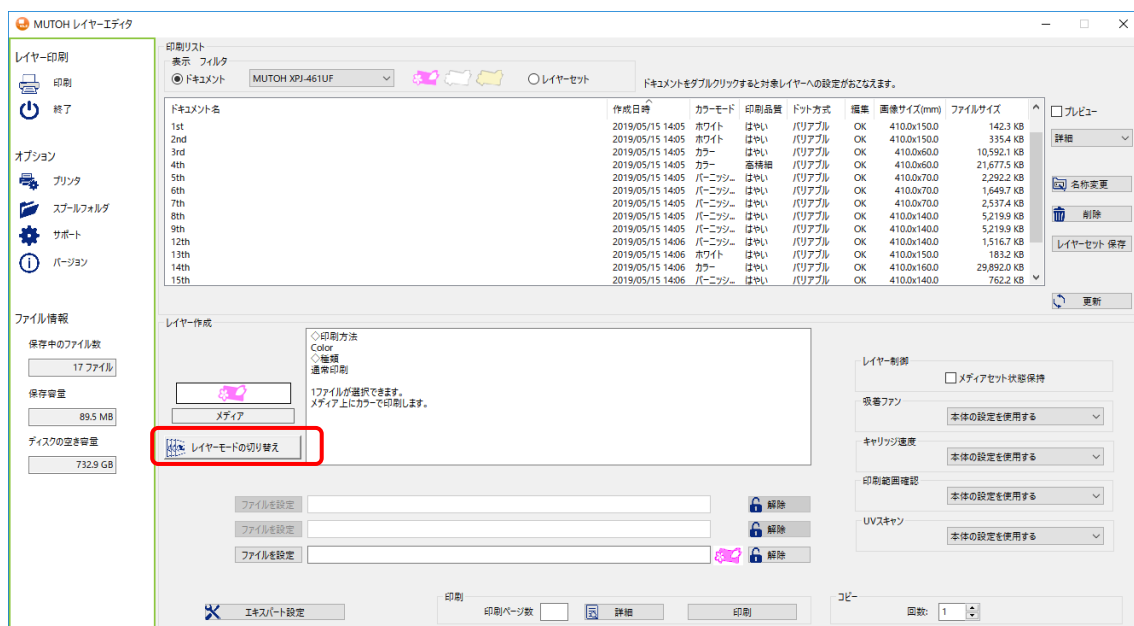
- ① 機種 XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF を選択します。

初期起動時、あるいはメイン画面[プリンタ]より「プリンタ」画面を表示し、機種「XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF」を選択します。

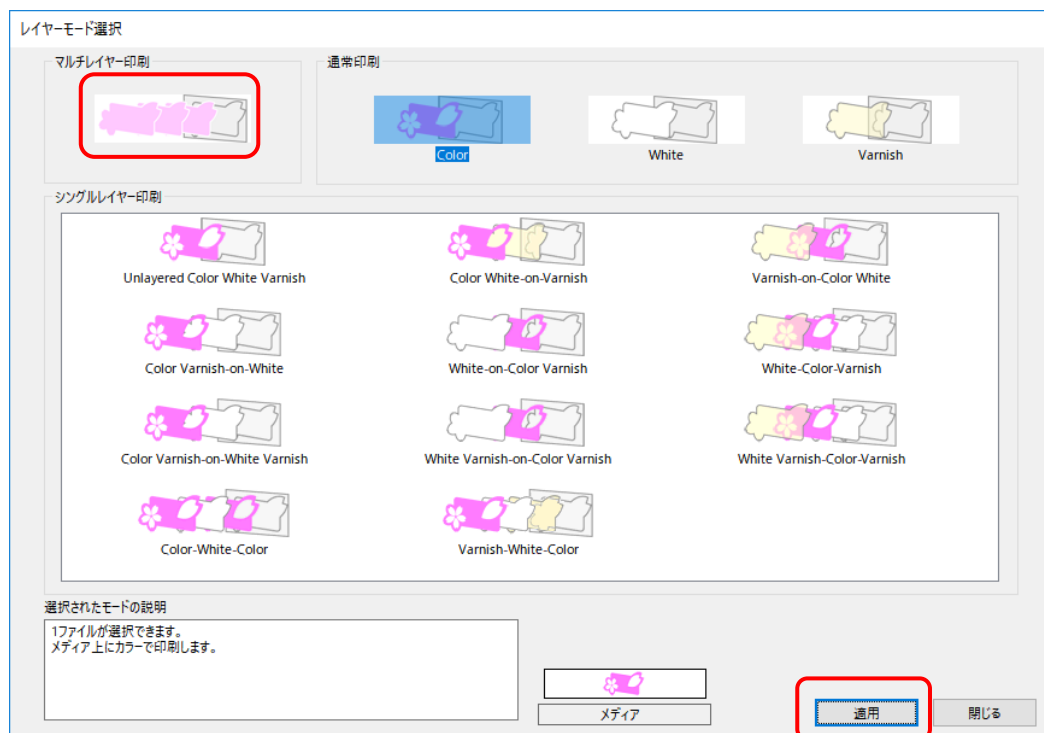


- ② レイヤーモードを切り替えます。

XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF の初期状態は「マルチレイヤー印刷」です。以下の例では通常印刷が選択されている為、マルチレイヤー印刷に切り替えます。[レイヤーモードの切り替え]をクリックし「レイヤーモード選択」画面を表示します。

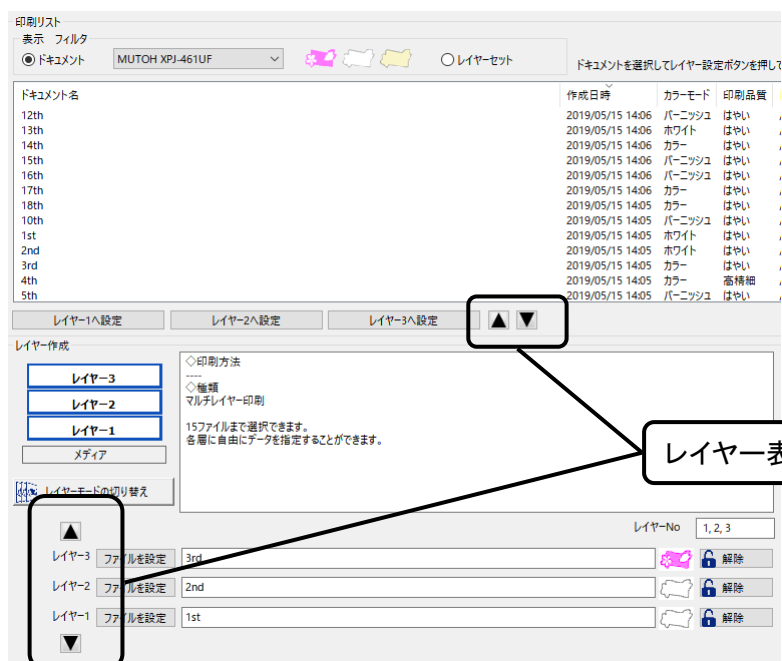


「マルチレイヤー印刷」を選択し[適用]をクリックします。

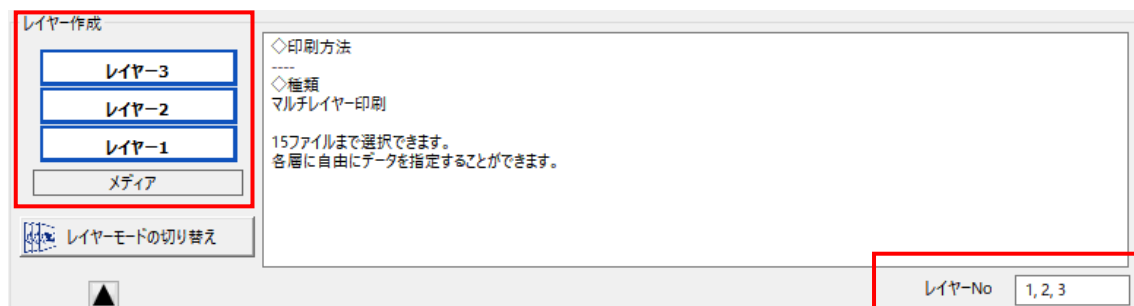


③ 各レイヤーに印刷データを設定します。

表示を各レイヤーに切り替える[▲]、[▼]をリスト下、カラーモードテキスト上下に表示します。



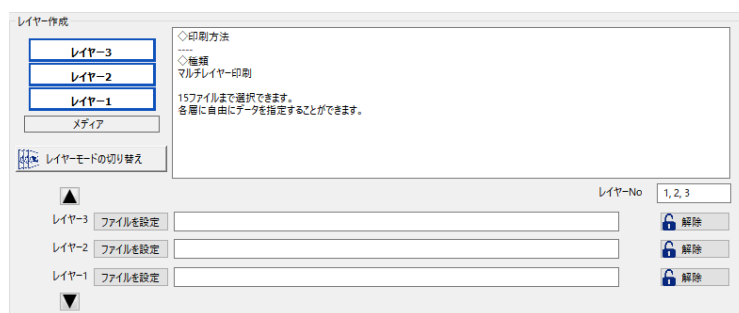
レイヤーモードアイコンでは青枠、「レイヤーNo」で入力中のレイヤーが確認できます。



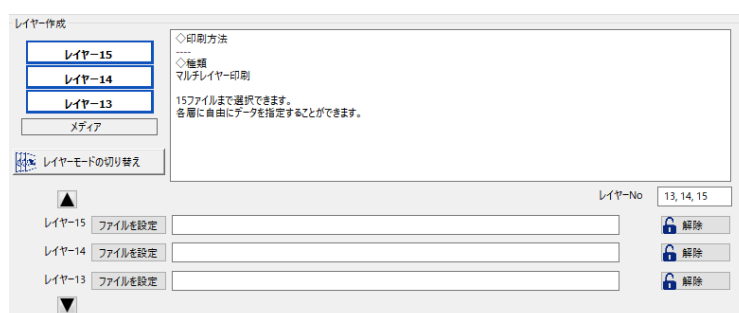
1～15 層の各レイヤーは[▲]、[▼]をクリックし「レイヤーNo」を表示します。

ワンクリックにつき上下 1 から 3 層ずつ表示を切り替えます。

レイヤーNo1、2、3



レイヤーNo13、14、15

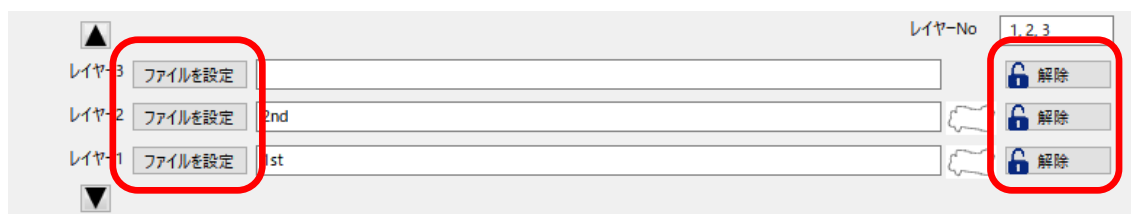


マルチレイヤーではリスト表示「カラーモード」に関係なく各レイヤーに各ファイルを  
設定できます。

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集	画像サイズ(mm)	ファイルサイズ
1st	2018/01/17 11:52	カラー	はい	バリエーション	OK	252.0x189.0	52,941.1 KB
4th	2018/01/17 11:52	カラー	はい	バリエーション	OK	252.0x189.0	52,941.1 KB
7th	2018/01/17 11:52	カラー	はい	バリエーション	OK	252.0x189.0	52,941.1 KB
10th	2018/01/17 11:52	カラー	はい	バリエーション	OK	252.0x189.0	52,941.1 KB
13th	2018/01/17 11:52	カラー	はい	バリエーション	OK	252.0x189.0	52,941.1 KB
3rd	2018/01/17 11:52	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	252.0x189.0	12,426.5 KB
6th	2018/01/17 11:52	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	252.0x189.0	12,426.5 KB
9th	2018/01/17 11:52	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	252.0x189.0	12,426.5 KB
12th	2018/01/17 11:52	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	252.0x189.0	12,426.5 KB
15th	2018/01/17 11:52	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	252.0x189.0	12,426.5 KB

「[ファイルを設定]」をクリックしファイルを設定します。

ファイルの設定を解除するには「[解除]」をクリックします。



リスト下のレイヤーNo 表記ボタンからも設定ができます。

各レイヤーに設定されたファイルを全て無効にする場合は「[全てのレイヤー設定を解除]」をクリックしてください。

ドキュメント名	作成日時	カラーモード	印刷品質	ドット方式	編集	画像サイズ(mm)	ファイルサイズ
1st	2019/05/15 14:05	ホワイト	はい	バリエーション	OK	410.0x150.0	142.3 KB
2nd	2019/05/15 14:05	ホワイト	はい	バリエーション	OK	410.0x150.0	335.4 KB
3rd	2019/05/15 14:05	カラー	はい	バリエーション	OK	410.0x60.0	10,592.1 KB
4th	2019/05/15 14:05	カラー	高精度	バリエーション	OK	410.0x60.0	21,677.5 KB
5th	2019/05/15 14:05	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	410.0x70.0	2,292.2 KB
6th	2019/05/15 14:05	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	410.0x70.0	1,649.7 KB
7th	2019/05/15 14:05	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	410.0x70.0	2,537.4 KB
8th	2019/05/15 14:05	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	410.0x140.0	5,219.9 KB
9th	2019/05/15 14:05	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	410.0x140.0	5,219.9 KB
12th	2019/05/15 14:06	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	410.0x140.0	1,516.7 KB
13th	2019/05/15 14:06	ホワイト	はい	バリエーション	OK	410.0x150.0	183.2 KB
14th	2019/05/15 14:06	カラー	はい	バリエーション	OK	410.0x160.0	29,892.0 KB
15th	2019/05/15 14:06	バーニッシュ	はい	バリエーション	OK	410.0x140.0	762.2 KB

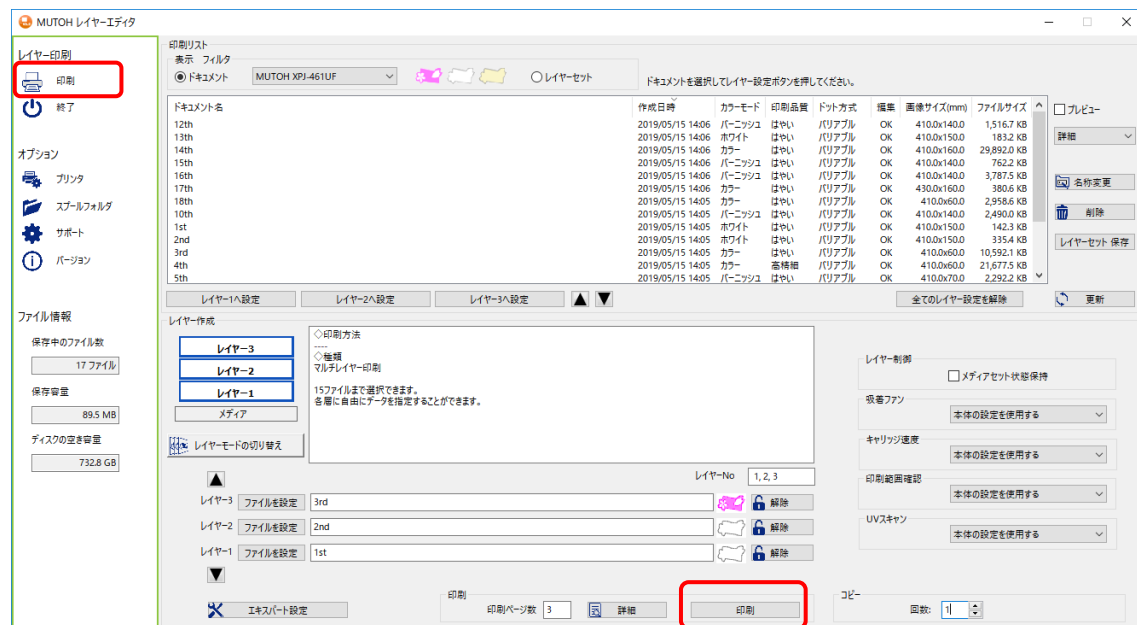
## 注 記

XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF マルチレイヤーモード印刷ではドキュメント選択は設定ボタンでおこないます。ダブルクリックの設定はできません。

## ④ 印刷を行います。

印刷データを指定し終えたら、[印刷]をクリックし印刷を開始します。

レイヤーデータは1層目から順に印刷されます。

**注 記**

プリンタ側のマルチレイヤー設定が OFF の場合でも、同じメディアに連続して重ね印刷を行います。

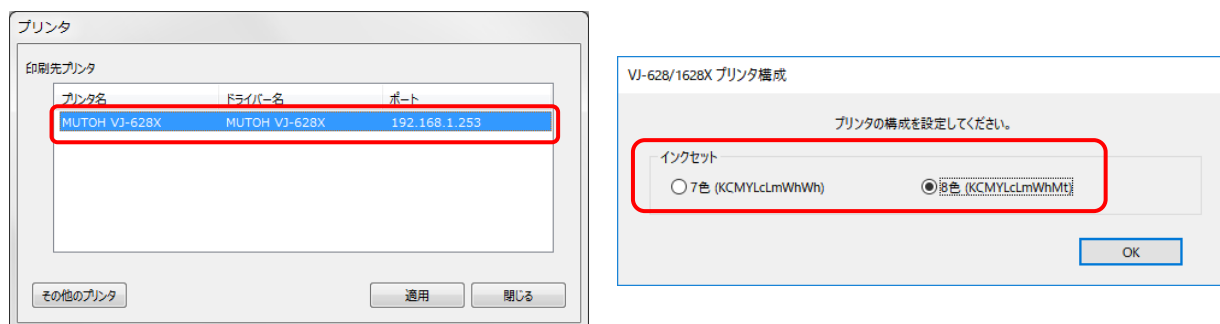
### 5.13. VJ-628X / VJ-1628X Metallic Library 印刷 基本手順

Metallic Library はインストール時に構成される  
ライブラリファイルを使用するレイヤーモードです。  
VJ-628X での Metallic Library の基本手順を説明します。

#### 操作方法

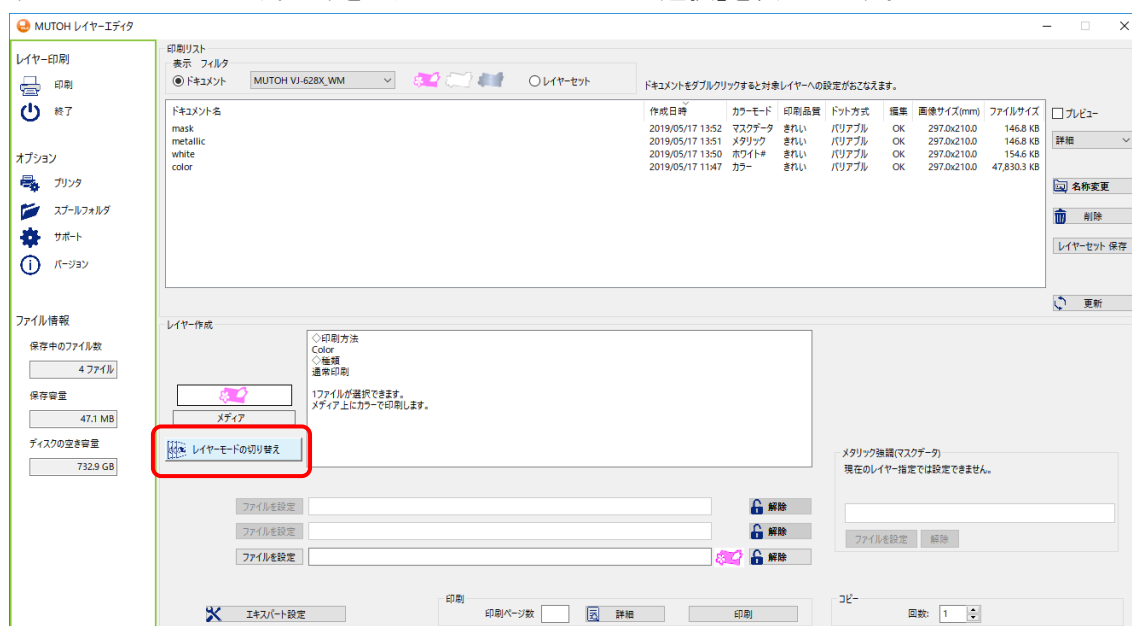
- ① 機種 VJ-628X / VJ-1628X を選択します。

初期起動時、あるいはメイン画面[プリンタ]より「プリンタ」画面を表示し、  
機種「VJ-628X / VJ-1628X」を選択します。  
続けて表示する「VJ-628X / VJ-1628X プリンタ構成」画面から 8 色を選択してください。



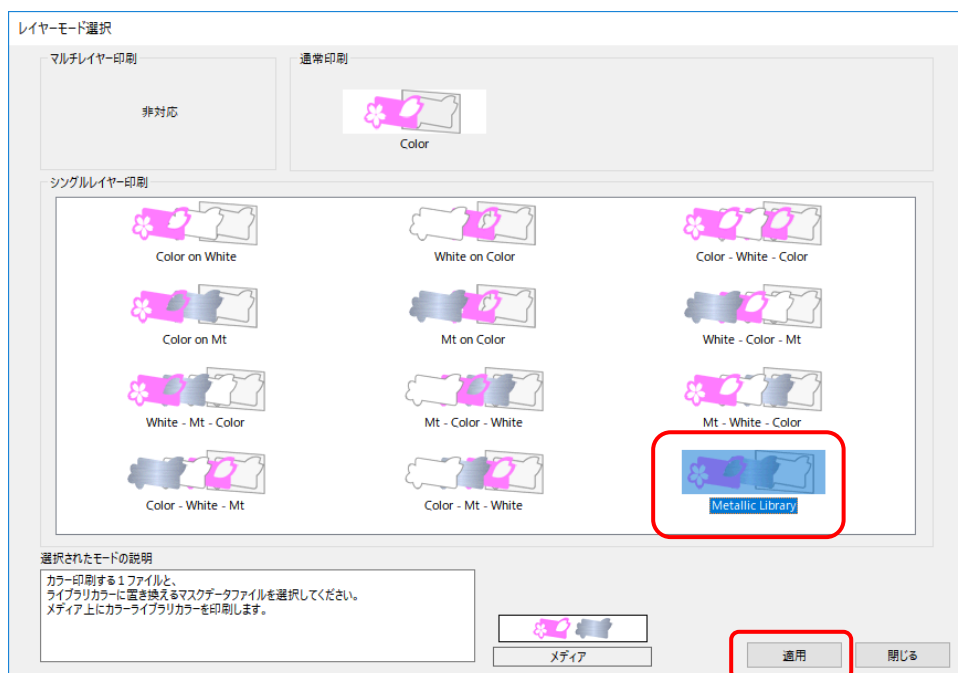
- ② Metallic Library を選択します。

VJ-628X / VJ-1628X の初期状態のレイヤーモードは「通常印刷 カラー」です。  
[レイヤーモードの切り替え]をクリックし「レイヤーモード選択」を表示します。



「シングルレイヤー印刷」より[Metallic Library]をクリックし選択します。

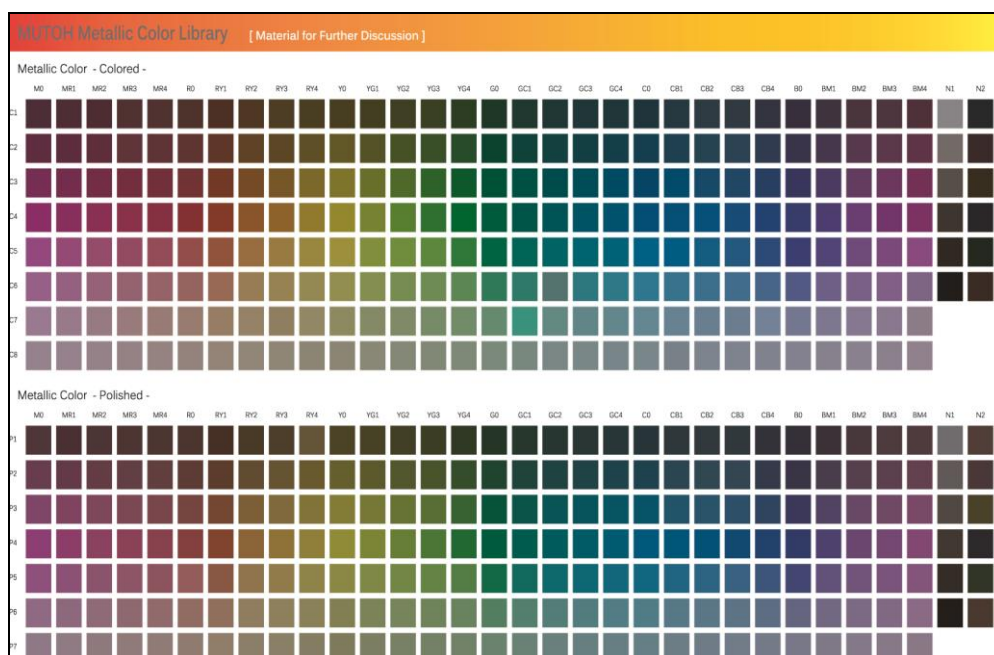
選択完了後[適用]をクリックします。



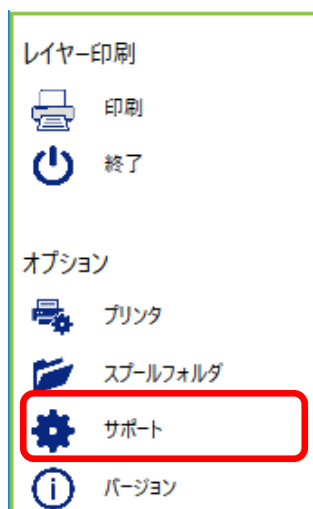
③ Library Sheet サンプルを印刷します。

ライブラリカラーファイルを選択する際の見本となるサンプルシートです。

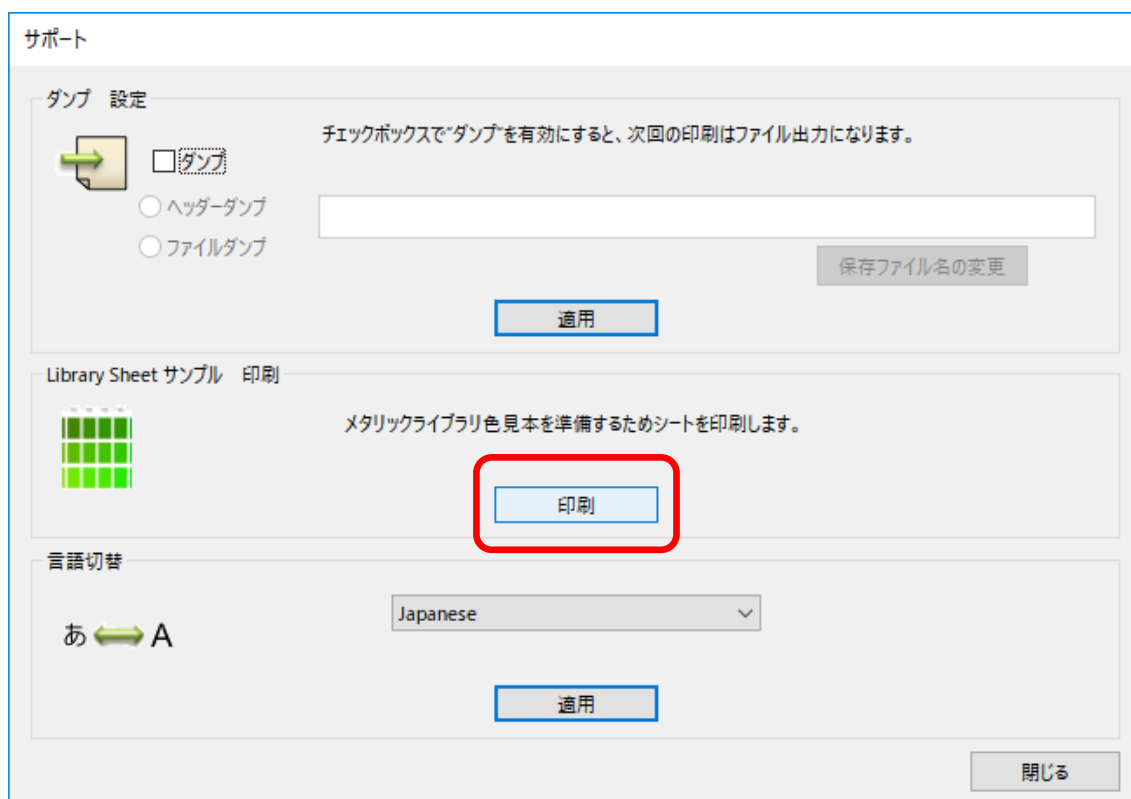
### Library Sheet サンプル



メイン画面より[サポート]をクリックし「サポート」画面を表示します。



Library Sheet サンプルを印刷します。メニューより[印刷]をクリックしてください。



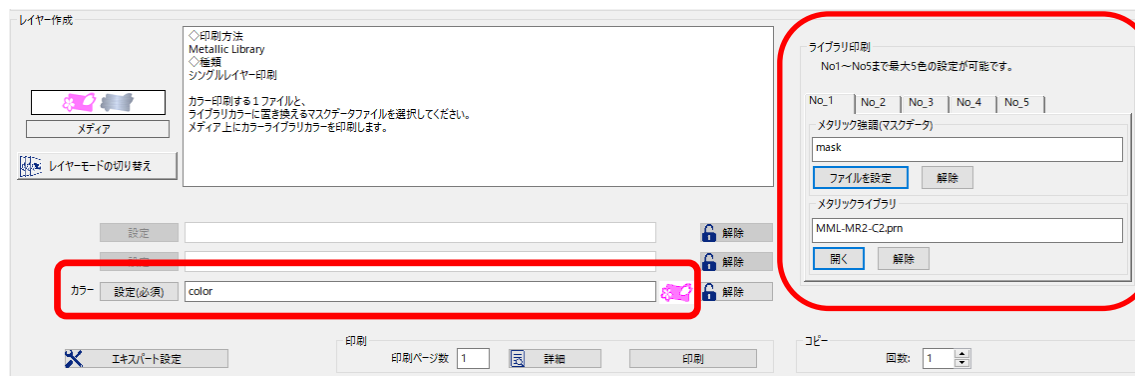


## ④ メイン画面の設定を行います。

カラーファイルをレイヤー1 に、及びマスクデータ、ライブラリファイルをタブ No1~No5 に設定します。タブはランダムに最大 5 色の組み合わせが設定できます。

- レイヤー1 にカラーモード「カラー#」をリストより設定してください。
- カラーモード「マスクデータ」をリストより設定してください。
- ライブラリファイルを設定します。[開く]をクリックしカラーファイルを選択してください。  
カラーファイルの設定は③で出力した Library Sheet サンプルを参考に希望するカラーを選択してください。

## メイン画面 Metallic Library モードレイヤー設定

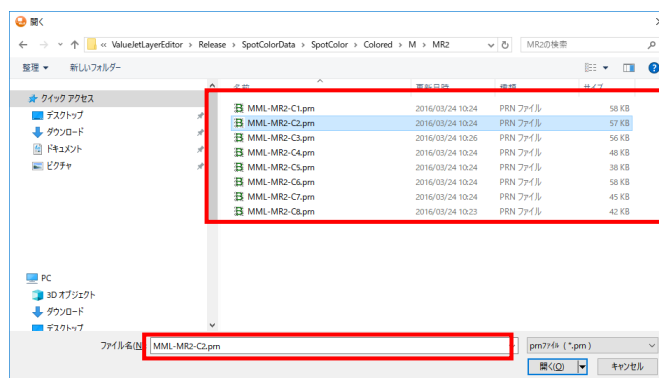
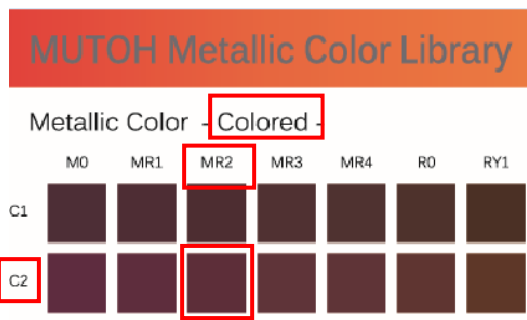


## ライブラリファイル設定

例として MML-MR2-C2.prn を選択します。

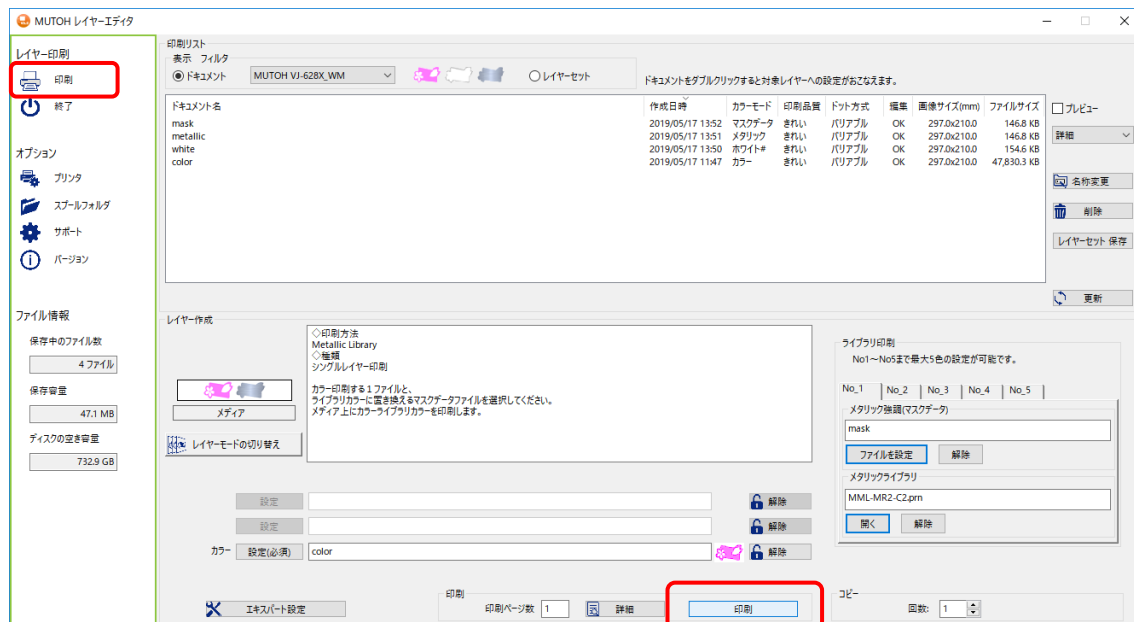
この例ではファイルは

"C:\ProgramFiles(x86)\Mutoh\ValueJetLayerEditor\SpotColorData\SpotColor\Colored\M\MR2" にあります。



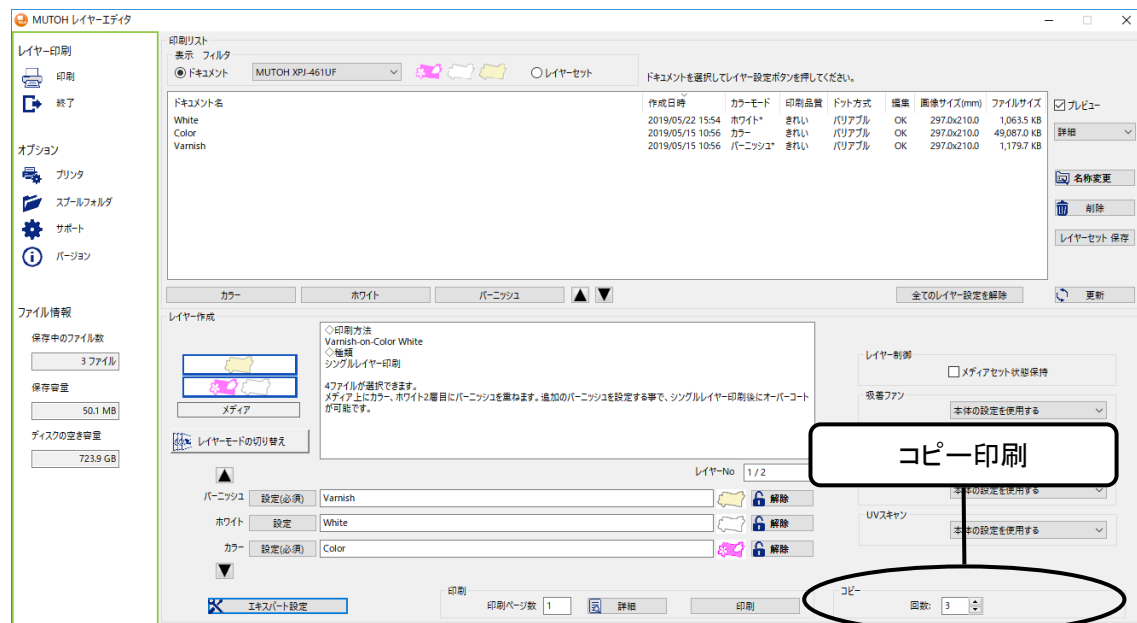
### ⑤ 印刷を行います。

印刷データを指定し終わったら、[印刷]クリックで印刷を開始します。

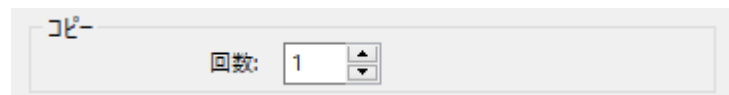


## 5.14. コピー印刷

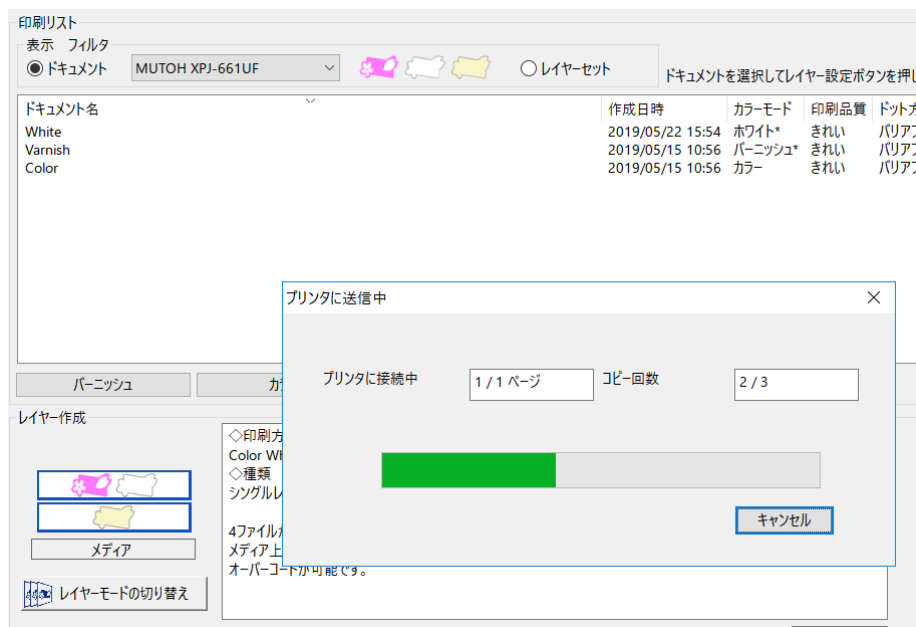
設定中の印刷内容で印刷回数が設定できます。メイン画面右下のコントロールより印刷回数を設定します。



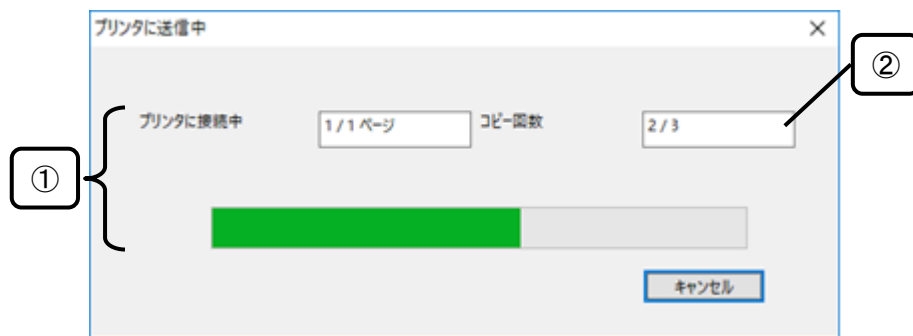
「回数」で連続して印刷する回数を設定します。最大 99 回まで設定できます。



印刷中は現在の進捗状況を表示します。



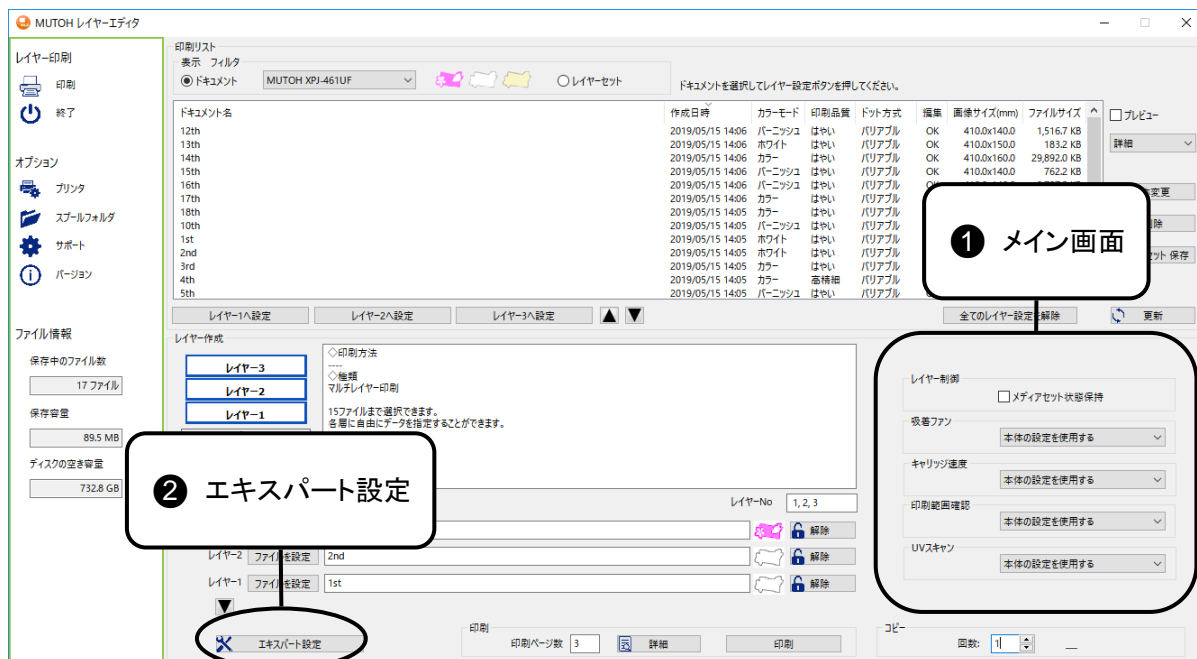
①で1回あたりの印刷状況、②でコピー回数状況を表示します。



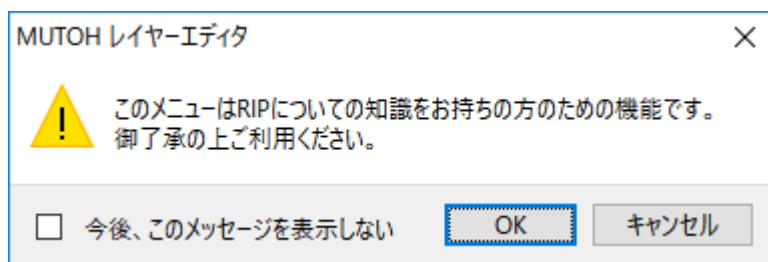
## 5.15. プリント操作

レイヤーエディタを使用しプリンタの各種操作が行えます。

①「メイン画面」あるいは②「エキスパート設定」から使用できます。設定できるメニューは機種によって異なります。

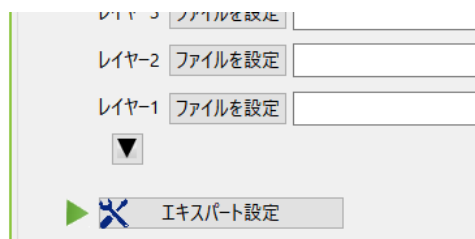


②[エキスパート設定]クリック時、以下の警告を表示します。設定メニューは一部専門の知識を要する項目があります。設定の際は十分注意してください。



[OK]クリックで「エキスパート設定」画面を表示します。

エキスパート設定有効時はメイン画面②[エキスパート設定]横にアイコンを表示します。



### 5.15.1. メイン画面

#### 5.15.1.1. XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF / VJ-1626UH

種類	XPJ-461UF XPJ-661UF VJ-426UF VJ-626UF	VJ-1626UH
メディアセット状態保持	✓	
吸着ファン	✓	✓
キャリッジ速度	✓	✓
印刷範囲確認	✓	✓
UV スキャン	✓	

XPJ-461UF / XPJ-661UF

VJ-426UF / VJ-626UF

レイヤー制御

☐ メディアセット状態保持

吸着ファン 本体の設定を使用する ▼

キャリッジ速度 本体の設定を使用する ▼

UVスキャン 本体の設定を使用する ▼

印刷範囲確認 本体の設定を使用する ▼

VJ-1626UH

吸着ファン 本体の設定を使用する ▼

キャリッジ速度 本体の設定を使用する ▼

印刷範囲確認 本体の設定を使用する ▼

#### 5.15.1.2. VJ-1638UH / VJ-1638UR

種類	VJ-1638UH	VJ-1638UR
吸着ファン	✓	✓
キャリッジ速度	✓	✓
印刷範囲確認	✓	

VJ-1638UH

吸着ファン 本体の設定を使用する ▼

キャリッジ速度 本体の設定を使用する ▼

印刷範囲確認 本体の設定を使用する ▼

VJ-1638UR

吸着ファン 本体の設定を使用する ▼

キャリッジ速度 本体の設定を使用する ▼

5.15.2. エキスパート設定

5.15.2.1. XPJ-461UF / XPJ-661UF

種類	インク量	インタレスパス方式	UV 照射方法
	インク吐出方向	エフェクト	UV ランプ照度

XPJ-461UF

エキスパート設定

☒ エキスパート設定を使用する

インク量：

本体の設定を使用する

インク吐出方向：

本体の設定を使用する

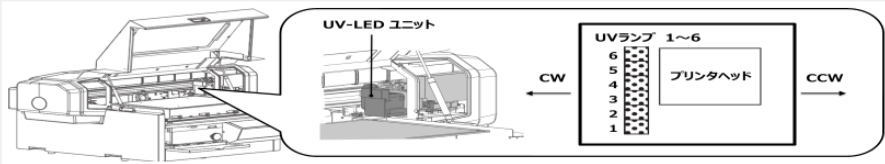
インタレスパス方式：

本体の設定を使用する

エフェクト：

本体の設定を使用する

☒ UV 制御指定



UV-LED ユニット

UVランプ 1~6

プリンタヘッド

CW

CCW

照射方法：

印刷中UV-ランプ照射

ランプ照度

ランプ 1 CW：

100

 (%)

ランプ 1 CCW：

100

 (%)

ランプ 2 CW：

100

 (%)

ランプ 2 CCW：

100

 (%)

ランプ 3 CW：

100

 (%)

ランプ 3 CCW：

100

 (%)

ランプ 4 CW：

100

 (%)

ランプ 4 CCW：

100

 (%)

ランプ 5 CW：

100

 (%)

ランプ 5 CCW：

100

 (%)

ランプ 6 CW：

100

 (%)

ランプ 6 CCW：

100

 (%)

初期設定に戻す

適用

閉じる

XPJ-661UF

エキスパート設定

☒ エキスパート設定を使用する

インク量：

本体の設定を使用する

インク吐出方向：

本体の設定を使用する

インタレスパス方式：

本体の設定を使用する

エフェクト：

本体の設定を使用する

☒ UV 制御指定

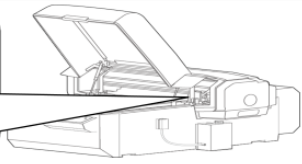
UVランプ 1~6

プリンタヘッド

CW

CCW

UV-LED ユニット



照射方法：

印刷中UV-ランプ照射

ランプ照度

ランプ 1 CW：

100

 (%)

ランプ 1 CCW：

100

 (%)

ランプ 2 CW：

100

 (%)

ランプ 2 CCW：

100

 (%)

ランプ 3 CW：

100

 (%)

ランプ 3 CCW：

100

 (%)

ランプ 4 CW：

100

 (%)

ランプ 4 CCW：

100

 (%)

ランプ 5 CW：

100

 (%)

ランプ 5 CCW：

100

 (%)

ランプ 6 CW：

100

 (%)

ランプ 6 CCW：

100

 (%)

初期設定に戻す

適用

閉じる

91

## 5.15.2.2. VJ-628X / VJ-1628X / VJ-1617H / VJ-628MP / VJ-1627MH

種類	インク量 インク吐出方向	インタレスパス方式 キャリッジ速度	吸着ファン エフェクト	インク乾燥時間
----	-----------------	----------------------	----------------	---------

エキスパート設定

☒ エキスパート設定を使用する

インク量: 本体の設定を使用する

インク吐出方向: 本体の設定を使用する

インタレスパス方式: 本体の設定を使用する

キャリッジ速度: 本体の設定を使用する

吸着ファン: 本体の設定を使用する

エフェクト: 本体の設定を使用する

☒ インク乾燥時間: 0 (秒)

初期設定に戻す 適用 閉じる

## 5.15.2.3. VJ-1638UH / VJ-1638UR

種類	インク量 インク吐出方向	インタレスパス方式 エフェクト	UV 照射方法 UV ランプ照度
----	-----------------	--------------------	---------------------

エキスパート設定

☒ エキスパート設定を使用する

インク量: 本体の設定を使用する

インク吐出方向: 本体の設定を使用する

インタレスパス方式: 本体の設定を使用する

エフェクト: 本体の設定を使用する

☒ UV制御指定

照射方法: 印刷中UV-ランプ照射

ランプ照度

ランプL

ランプL1 CW: 100 (%)    ランプL1 CCW: 100 (%)

ランプL2 CW: 100 (%)    ランプL2 CCW: 100 (%)

ランプL3 CW: 100 (%)    ランプL3 CCW: 100 (%)

ランプL4 CW: 100 (%)    ランプL4 CCW: 100 (%)

ランプR

ランプR1 CW: 100 (%)    ランプR1 CCW: 100 (%)

ランプR2 CW: 100 (%)    ランプR2 CCW: 100 (%)

ランプR3 CW: 100 (%)    ランプR3 CCW: 100 (%)

ランプR4 CW: 100 (%)    ランプR4 CCW: 100 (%)

初期設定に戻す 適用 閉じる



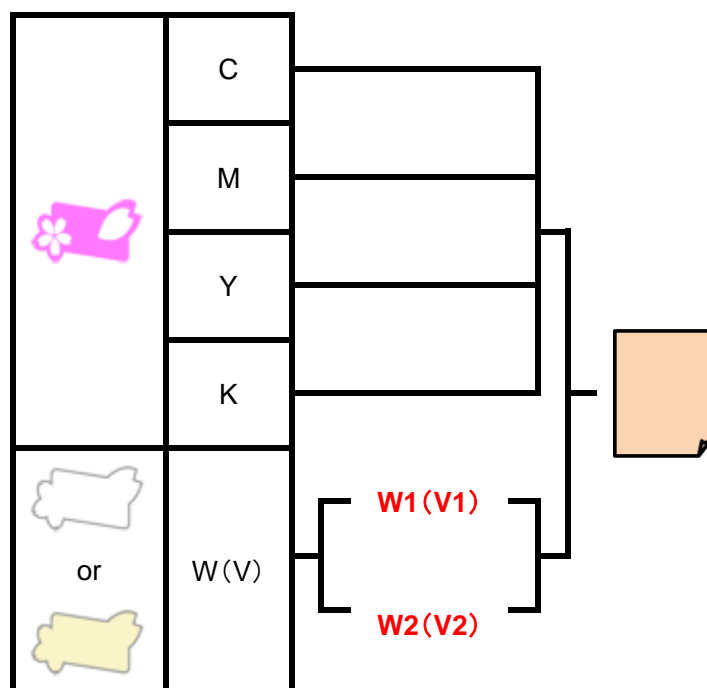
## 5.15.2.4. VJ-426UF / VJ-626UF VJ-1626UH

種類	VJ-426UF	VJ-626UF	VJ-1626UH
インク量	✓	✓	✓
インク吐出方向	✓	✓	✓
インタレスパス方式	✓	✓	✓
エフェクト	✓	✓	✓
UV 照射方法	✓	✓	
UV ランプ照度	✓	✓	✓
チャンネル出力	✓	✓	

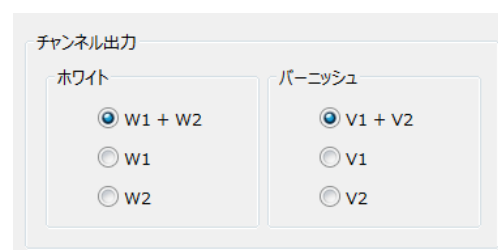
## チャンネル出力

VJ-426UF / VJ-626UF 専用の機能です。「エキスパート設定」より設定できます。

ホワイト(W)、バーニッシュ(V)の各画像データが対象になります。印刷する際の出力チャンネルを片側、あるいは両方より選択できます。



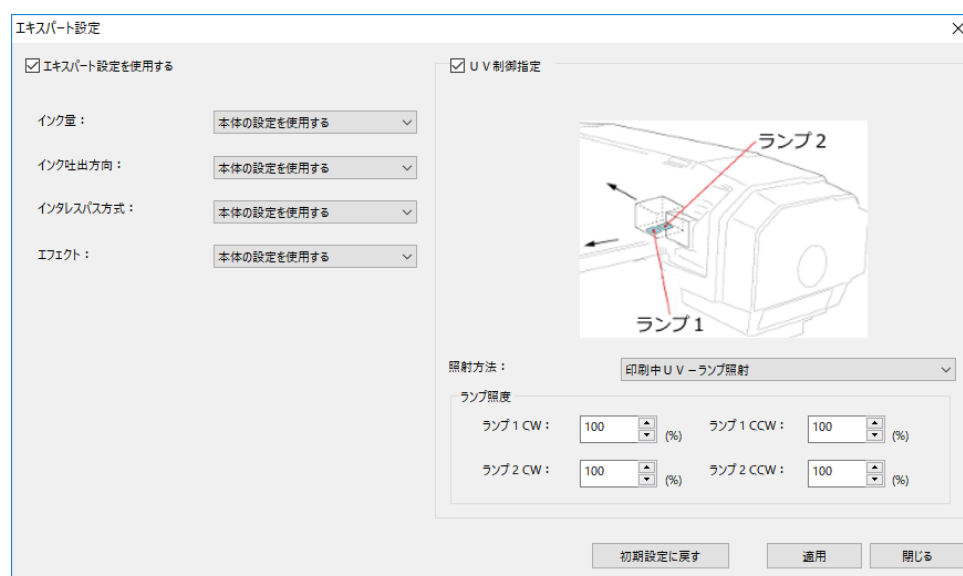
VJ-426UF / VJ-626UF  
「チャンネル出力」



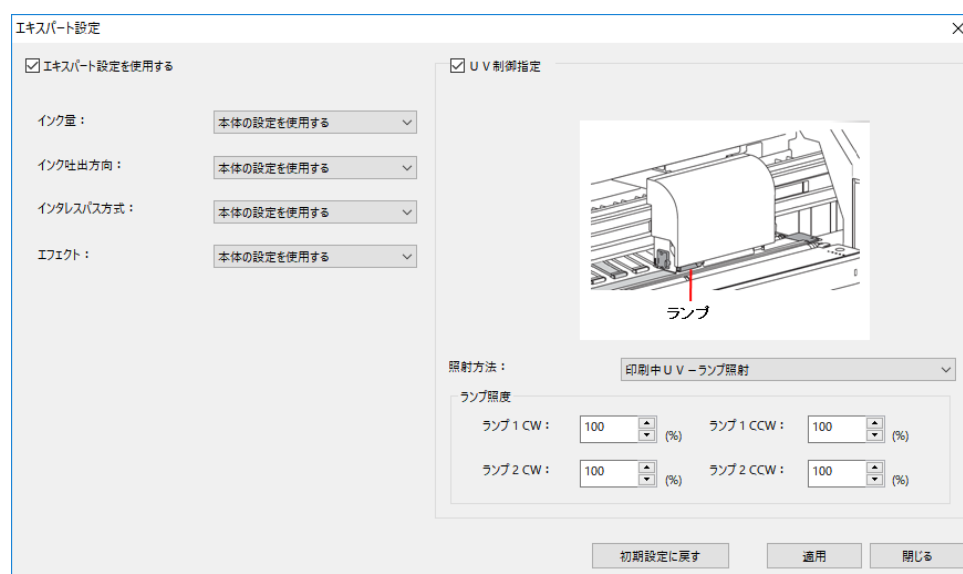
下記表のシングルレイヤーモードが対象になります。

機種	レイヤーモード	
VJ-426UF / VJ-626UF VJ-626UF ロータリーユニット	1 層(Unlayerd Color White Varnish)	
	ホワイト・アンダーレイ (KCMYVV-on-WW)	ホワイト・オーバーレイ (WW-on-KCMYVV)
	バーニッシュ・アンダーレイ (KCMYWW-on-VV)	バーニッシュ・オーバーレイ (VV-on-KCMYWW)
VJ-426UF / VJ-626UF	3 レイヤー(WW-KCMY-VV)	3 レイヤー(KCMY-WW-KCMY)

### VJ-426UF / VJ-626UF



### VJ-1626UH



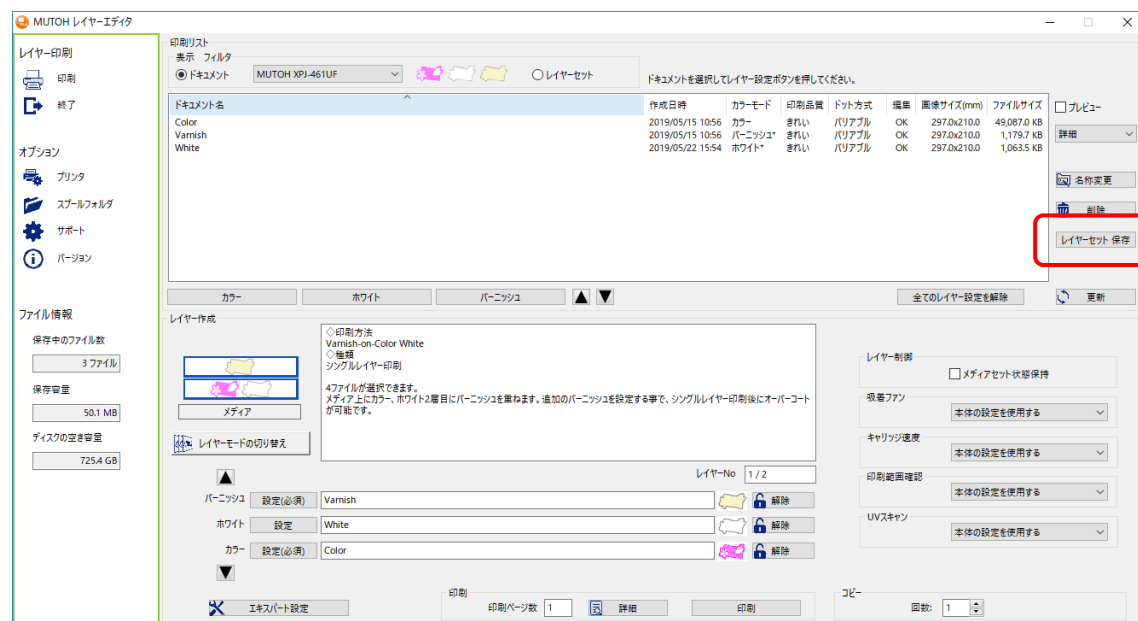
## 5.16. レイヤーセット

1 度印刷した内容を保存して次回印刷時に同じ内容で印刷が行えます。保存した内容はレイヤーセットとしてリストに表示します。表示中リストより選択し印刷を行います。設定方法を説明します。

### 5.16.1. 印刷内容の保存

印刷した内容を保存するにはリスト右[レイヤーセット保存]をクリックして「レイヤーセット」画面を表示します。各レイヤーで設定した印刷ファイル、印刷方法、エクスポート設定の各情報の保存を行います。

#### メイン画面



### 5.16.2. レイヤーセット保存

「レイヤーセット保存」画面を表示します。メイン画面[レイヤーセット保存]がクリックされた時点での機種名、印刷方法、印刷種類、各レイヤーに設定された印刷ファイル名を表示します。

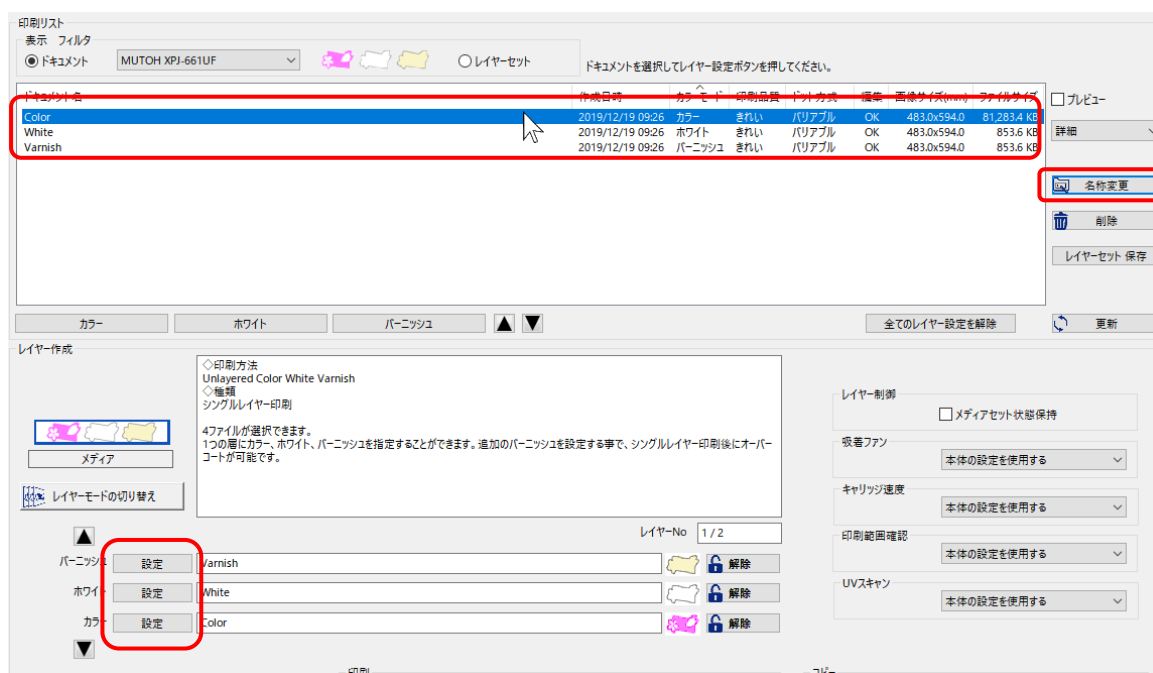
「レイヤーセット名」の欄に設定名称を入力して[保存]をクリックして保存します。

#### 「レイヤーセット保存」画面

種類「マルチレイヤー印刷」では各レイヤーでの「繰り返し作画回数」を設定して保存することができます。

## 注 記

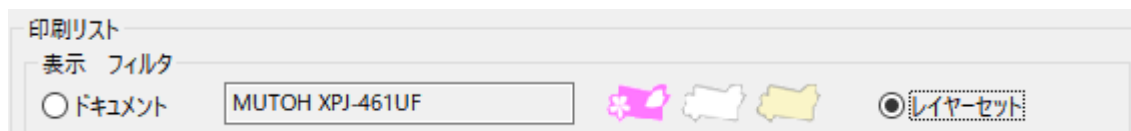
レイヤーセット保存時に各レイヤーに割り当てられた印刷ファイル名はドキュメント表示リスト中の印刷ファイルを選択してメイン画面「ファイルを設定」「設定」をクリック、またはダブルクリックでのファイル設定より名称が保存されます。その後に印刷ファイルに「名称変更」をおこなった場合は該当する印刷ファイルの各レイヤーでのファイル設定を再度おこなってください。



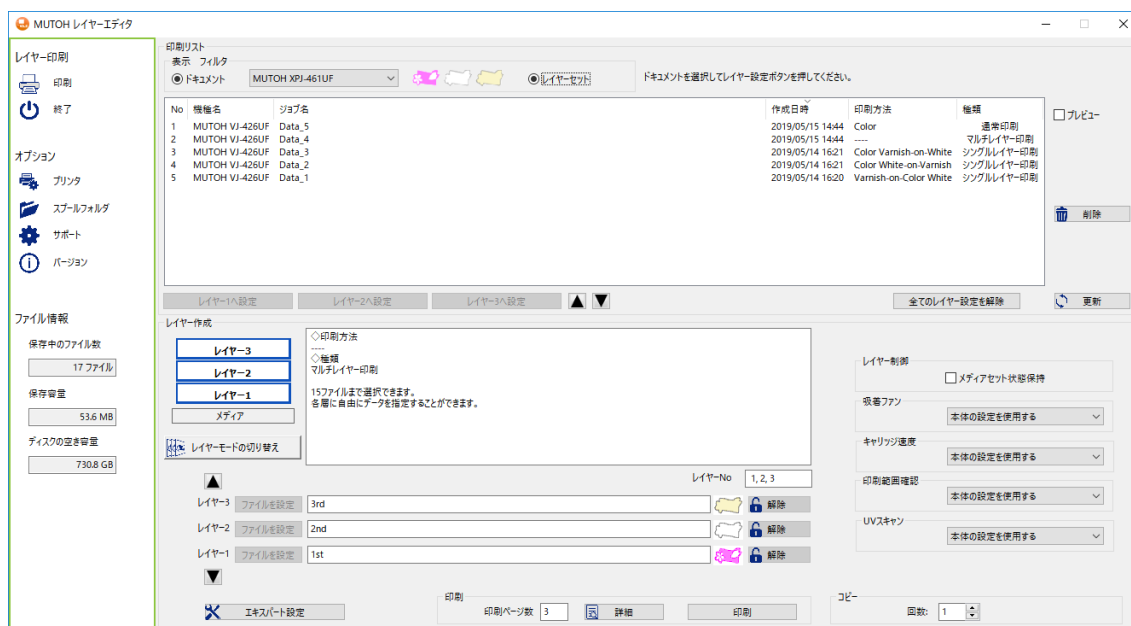
### 5.16.3. メイン画面「レイヤーセット」表示

保存したレイヤーセットはメイン画面リストに表示します。

表示の際は画面上のラジオボタン[レイヤーセット]をクリックします。



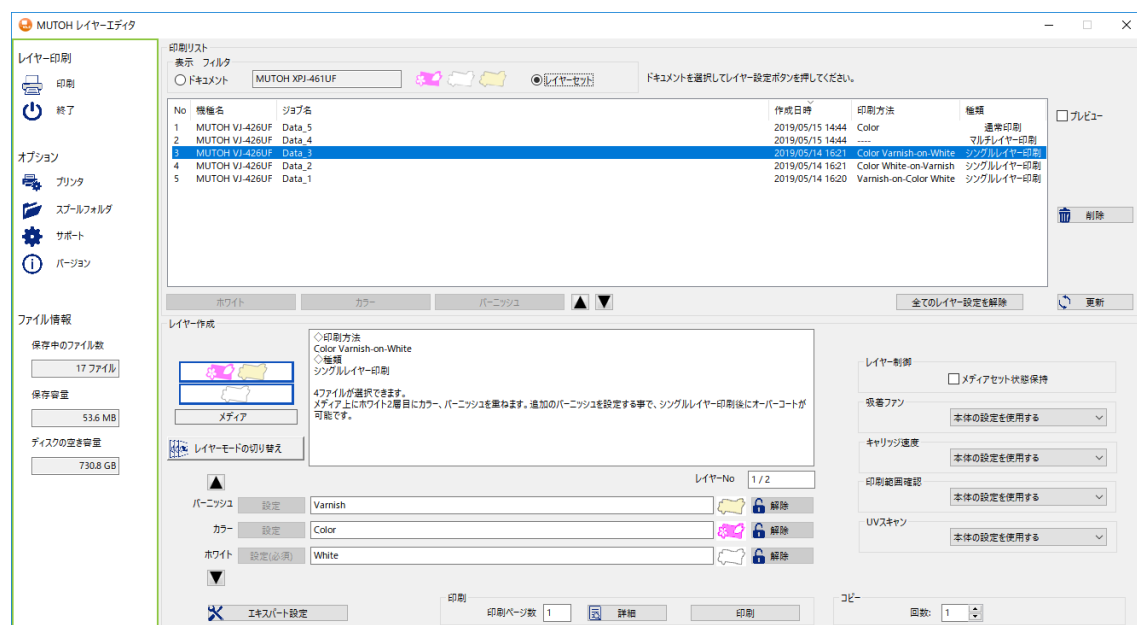
#### メイン画面「レイヤーセット」



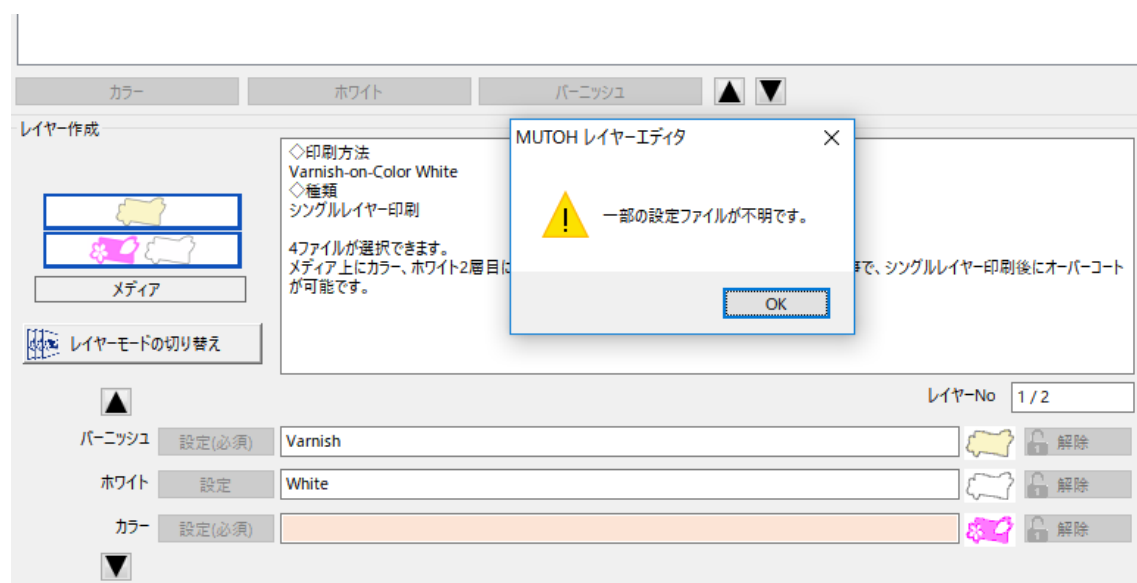
左から順に「No」、「機種名」、「レイヤーセット名」、「作成日時」、「印刷方法」、「種類」を表示します。レイヤーセットの読み込みはリスト中よりいずれかを選択しダブルクリックします。

No	機種名	レイヤーセット名	作成日時	印刷方法	種類
1	MUTOH VJ-426UF	Data_5	2019/05/15 14:44	Color	通常印刷
2	MUTOH VJ-426UF	Data_4	2019/05/15 14:44	---	マルチレイヤー印刷
3	MUTOH VJ-426UF	Data_3	2019/05/14 16:21	Color Varnish-on-White	シングルレイヤー印刷
4	MUTOH VJ-426UF	Data_2	2019/05/14 16:21	Color White-on-Varnish	シングルレイヤー印刷
5	MUTOH VJ-426UF	Data_1	2019/05/14 16:20	Varnish-on-Color White	シングルレイヤー印刷

読み込んだ内容を設定します。各レイヤーに印刷ファイル、印刷方法、エキスパート設定を設定します。



レイヤーセット読み込み時、該当する印刷データが見当たらない場合はエラーメッセージを表示して該当する設定欄の背景色を変更して表示します。



## 6. レイヤー印刷の仕上がりの調整方法

Layer Editor では以下のような仕上がり具合の調整が行えます。

### 6.1. 特定のレイヤーを厚くする

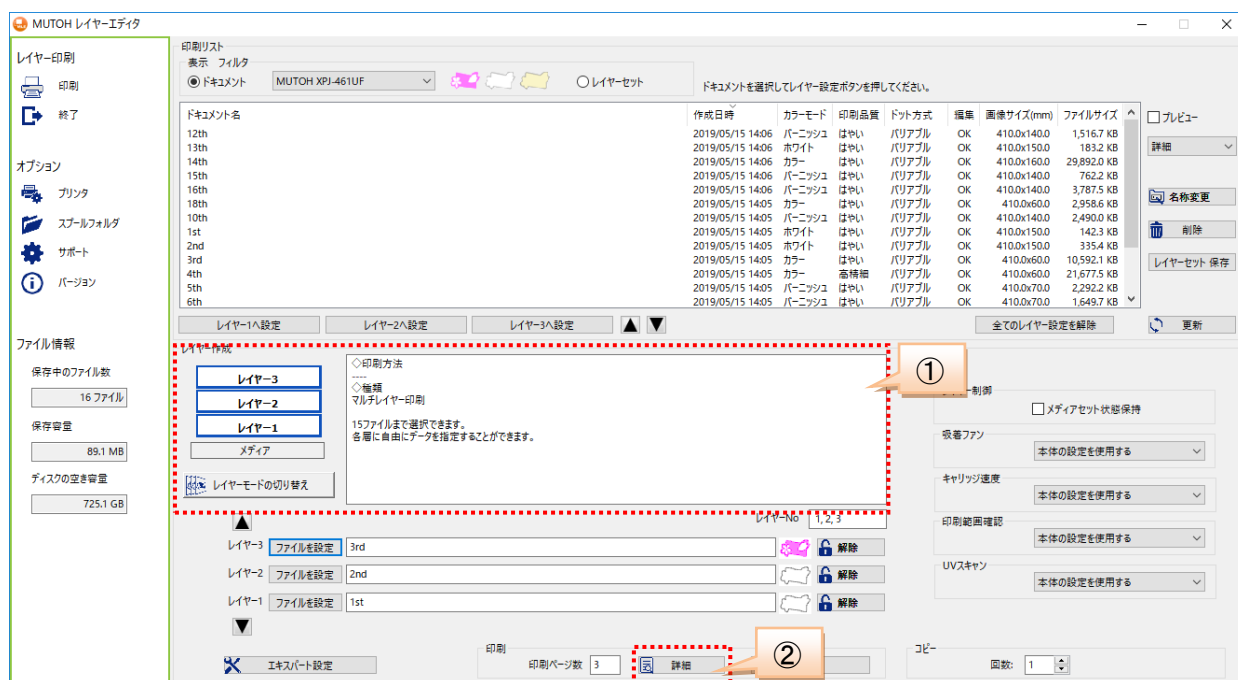
凹凸を強調するなどの目的で、指定のレイヤーを繰り返し印刷する事ができます。

例)

- ・下地が透けるような時に白を重ねる
- ・Varnish で表面に透明の凹凸を付ける。

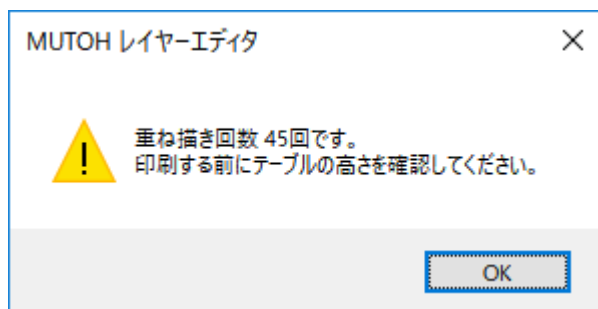
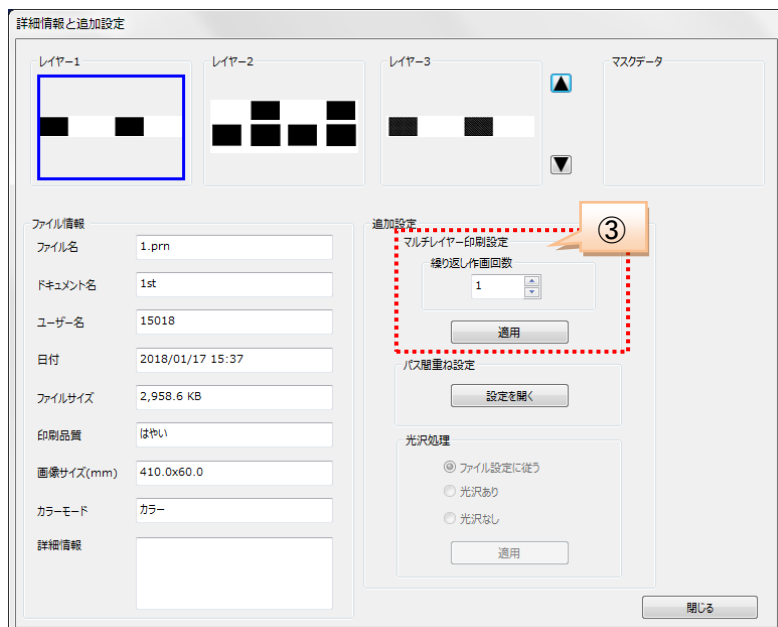
#### 設定手順

- ① 印刷方法をマルチレイヤーに設定します。
- ② ファイルを選択し、目的のレイヤーの「詳細」をクリックします。





③ マルチレイヤー印刷設定の繰り返し回数を設定し適用を押します。レイヤー毎に設定してください。各レイヤー15 回まで設定可能です。

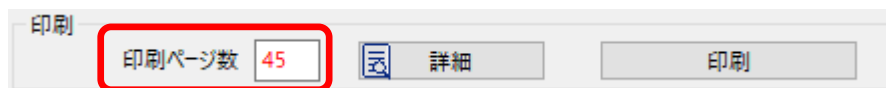


重ね書き回数の設定の際はテーブルの高さに注意してください。

重ね書き回数 45 回以上で以下を表示します。

警告メッセージの表示

メイン画面「印刷ページ数」の表記が赤色になります。



### 注 記

重ね書き回数の警告は印字中のインクの蓄積により印刷物とプリントヘッドとの接触を防止するため表示します。

## 6.2. 光沢処理

カラーモード「バーニッシュ」で光沢処理が行えます。

バーニッシュインクを使用し光沢感のある仕上がりにします。

データ作成の際は以下を参考にしてください。

全体に処理を施す場合は  
全体がカラーのデータを使用します。

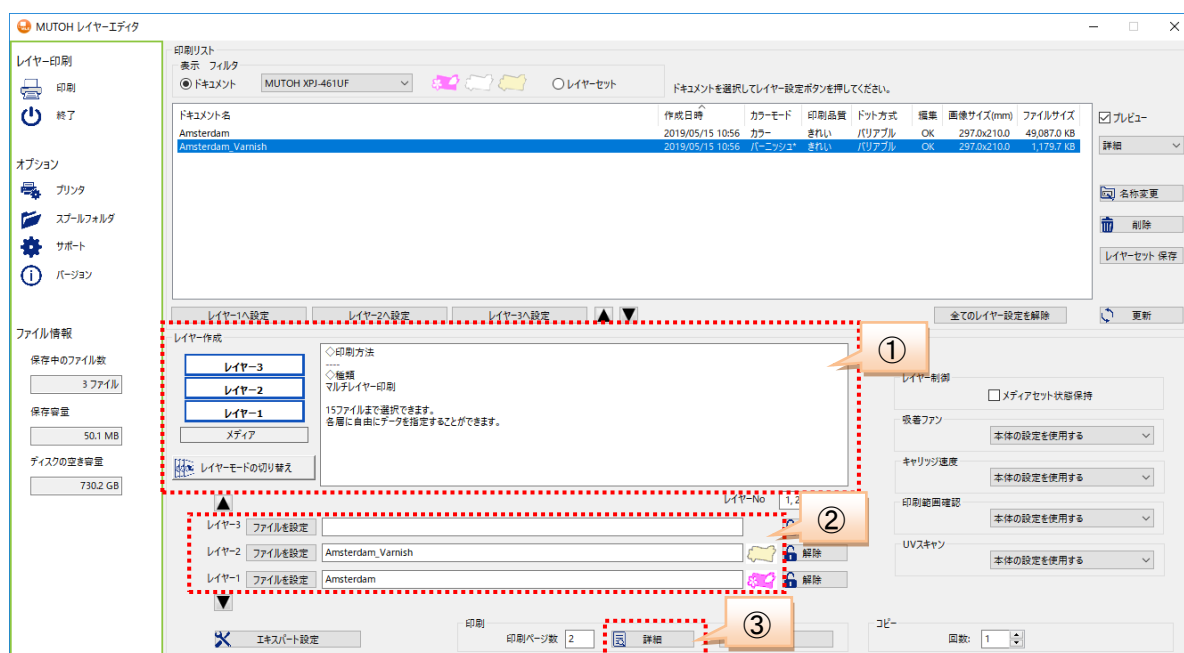


特定箇所に処理を施す場合は  
特定箇所がカラーのデータを使用します。

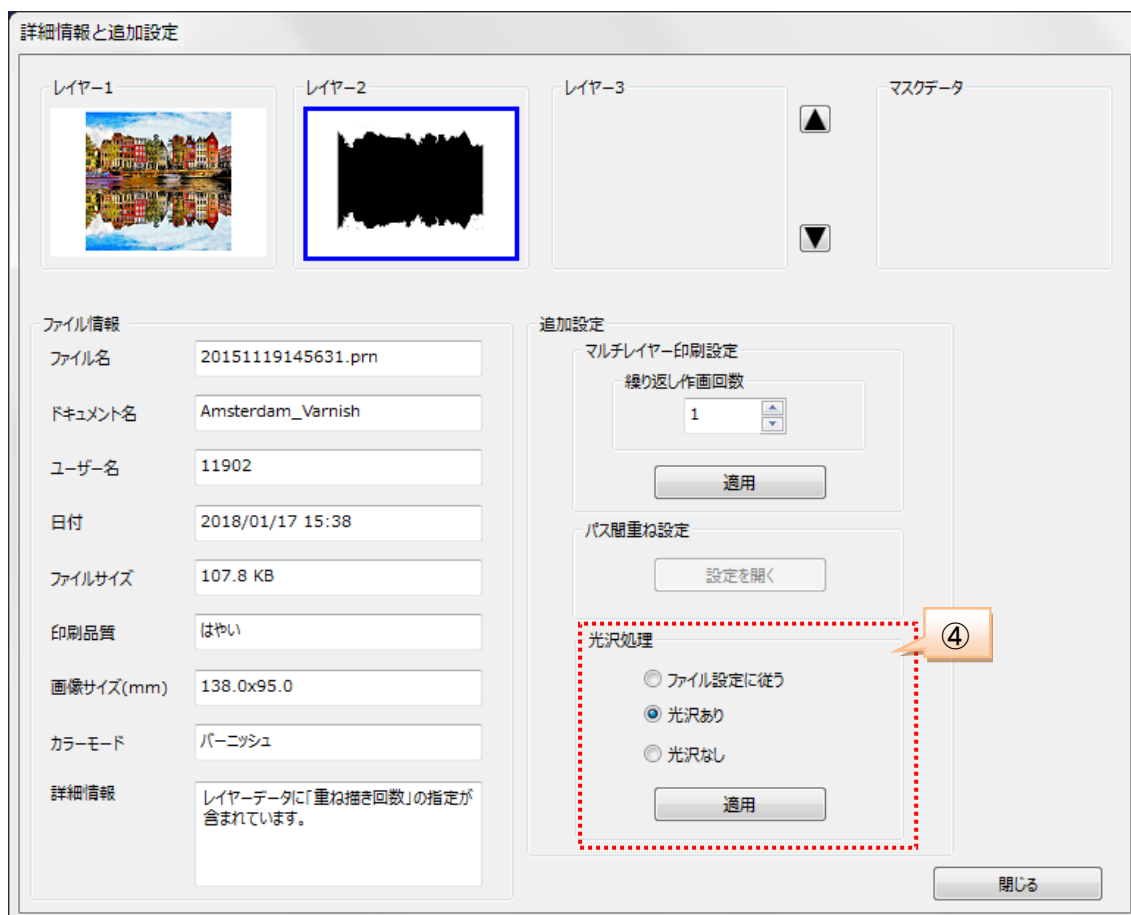


### 設定手順

- ① 印刷方法をマルチレイヤーに設定します。
- ② 任意のレイヤーにカラーモード「バーニッシュ」を設定します。
- ③ 「詳細」をクリックし「詳細設定」画面を表示します。



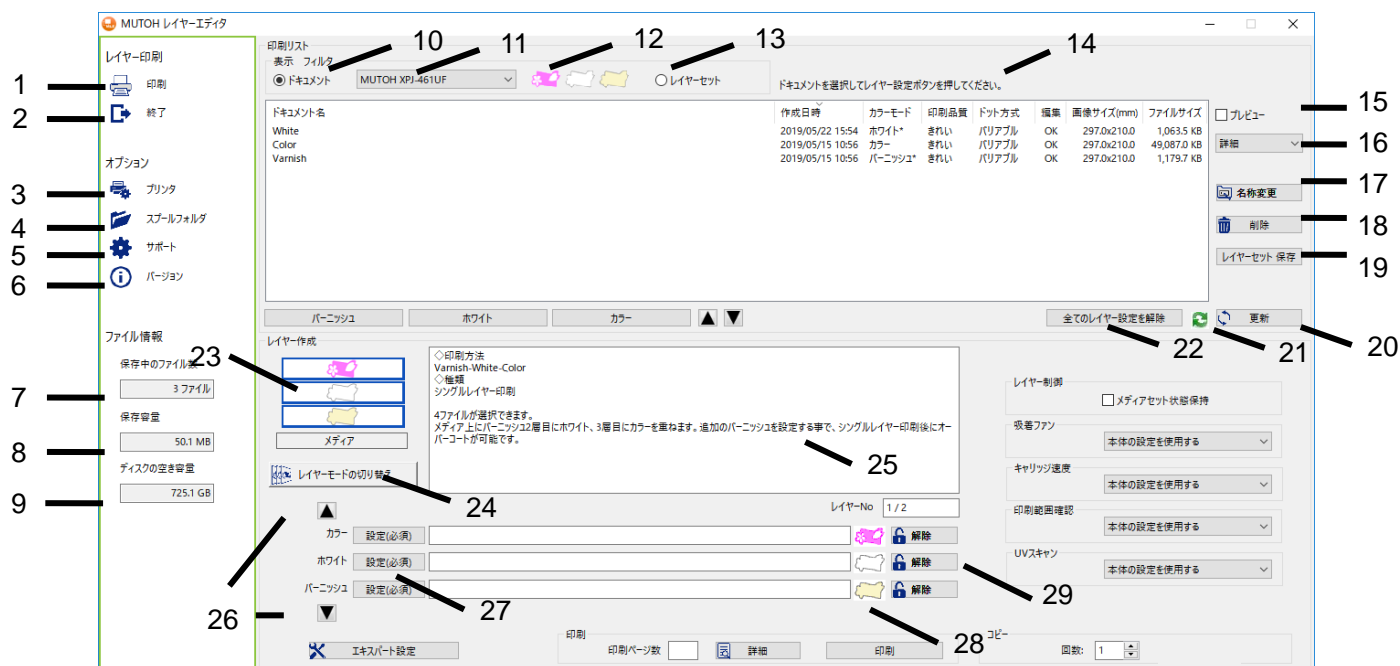
- ④ 「詳細設定」画面よりプレビューからバーニッシュ画像を選択し  
光沢処理「光沢あり」を選択し〔適用〕をクリックします。




## 7. 画面毎の説明

### 7.1. メイン画面(1)

起動したときに開く操作用の画面です。



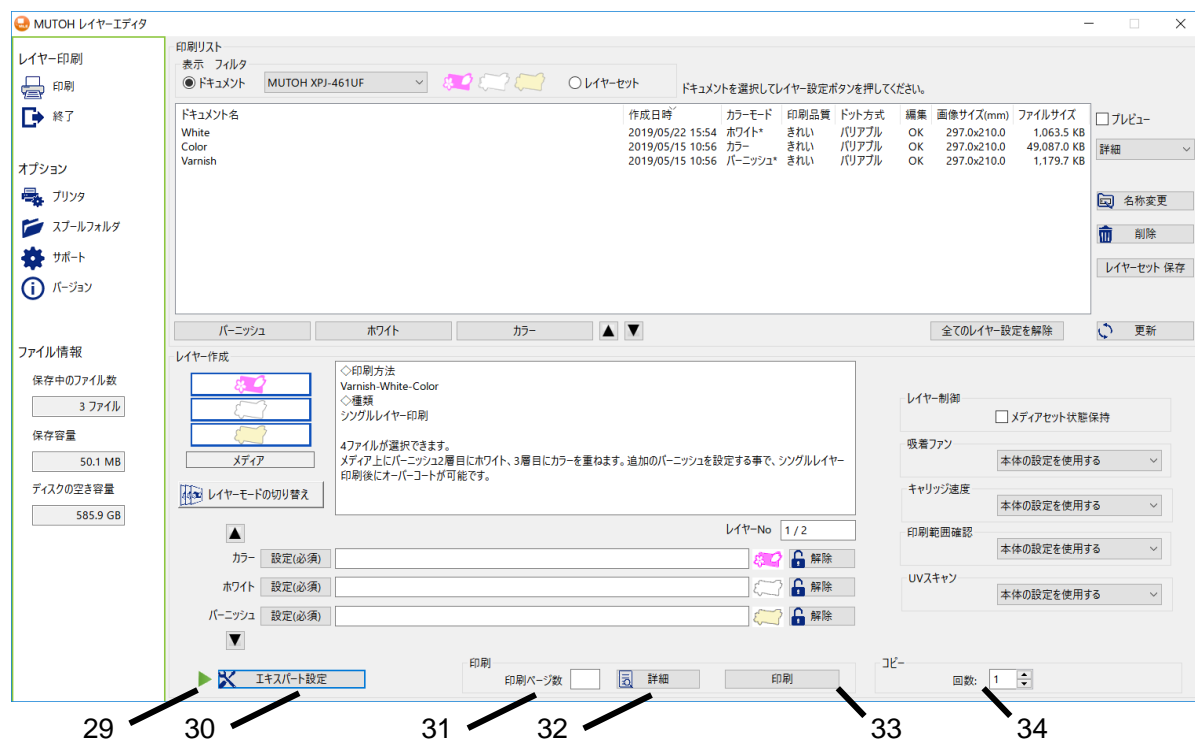
番号	名称	内容
1	印刷	印刷を開始します。
2	終了	アプリケーションを終了します。
3	プリンタ	プリンタ選択ダイアログを表示します。
4	スプールフォルダ	スプールフォルダ切り替えダイアログを表示します。
5	サポート	サポート設定ダイアログを表示します。
6	バージョン	バージョンダイアログを表示します。
7	保存中ファイル数	リスト中に表示される印刷データファイル数。( * 1)
8	保存容量	リスト中に表示される印刷データ総容量。( * 1)
9	ディスク空き容量	ハードディスク空き容量。
10	ドキュメント	リストに印刷データファイル「ドキュメント」を表示します。
11	ドキュメント表示 切り替え	「選択対象プリンタ名」、「全てのドキュメントを表示」よりいずれかを選択します。 「選択対象プリンタ名」選択時はこれに対応する印刷データを表示します。「全てのドキュメントを表示」選択時は全ての印刷データを表示します。

番号	名称	内容
12	インク構成	選択対象プリンタが使用できるインク構成をアイコン表示します。
13	レイヤーセット	リスト表示をドキュメント表示からレイヤーセット表示に切り替えます。
14	設定方法説明	設定方法の説明を表示します。
15	プレビュー	各印刷データの表示画像をプレビュー表示します。
16	詳細・アイコン	リスト表示を詳細またはアイコンで表示します。
17	名称変更	リスト中より選択された印刷データのドキュメント名を変更します。
18	削除	リスト中より選択された印刷データを削除します。
19	レイヤーセット保存	「レイヤーセット保存」画面を表示します。
20	更新	印刷データの一覧の表示を更新します。このボタンを押した時と、アプリケーションが起動した時だけリストが更新されます。
21	更新アイコン	 対象となるスプールフォルダに、新たに印刷データが追加されたことを通知します。
22	全てのレイヤーを解除	各レイヤーに設定されている全ての印刷データファイルを解除します。
23	レイヤーモードアイコン	レイヤーモードをアイコンで表示します。
24	レイヤーモードの切り替え	「レイヤーモード選択」画面を表示します。
25	レイヤーモード説明	レイヤーモードをテキストで説明表示します。
26	▲▼	レイヤー表示を上下に 1 から 3 層刻みで切り替えます。
27	ファイルを設定	印刷データをレイヤーに割り当てます。
28	カラーモードアイコン	各レイヤーに設定できるカラーをアイコンで表示します。
29	解除	ファイルの選択を解除します。

### 注 記

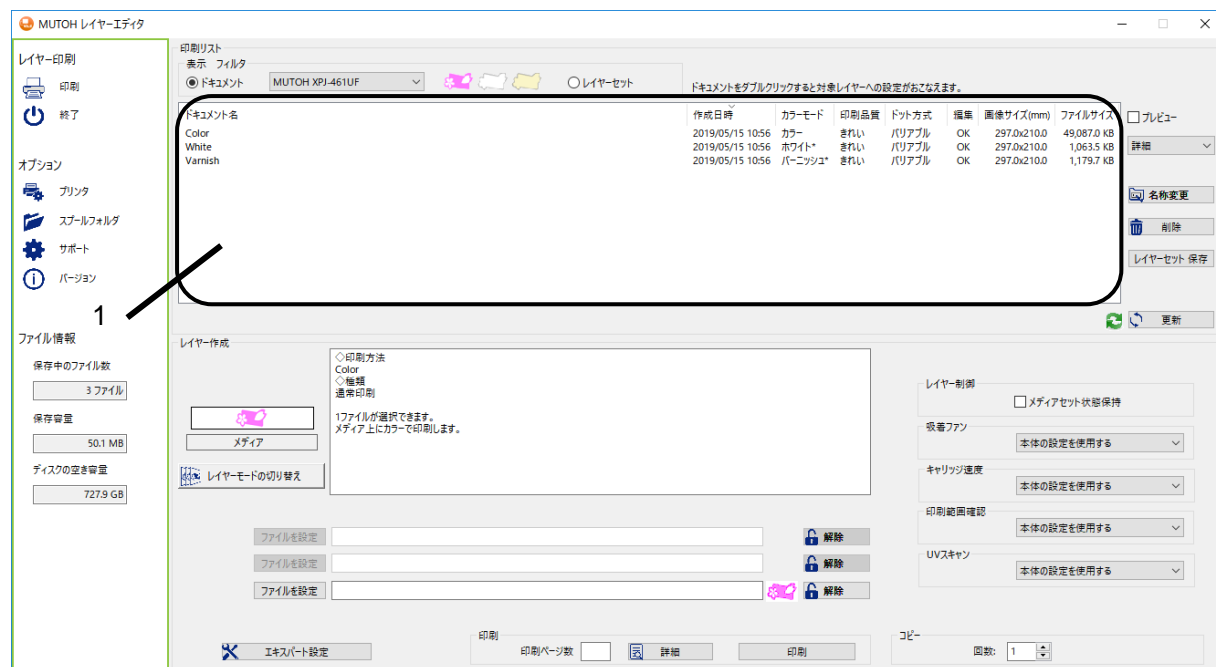
(\*1) 表示フィルタ(番号 11)が有効の場合は選択機種が対応する印刷データのファイル数／保存容量を表示します。全てのデータのファイル数／保存容量を知りたい場合は「全てのドキュメントを表示」を選択してください。

## 7.2. メイン画面(2)



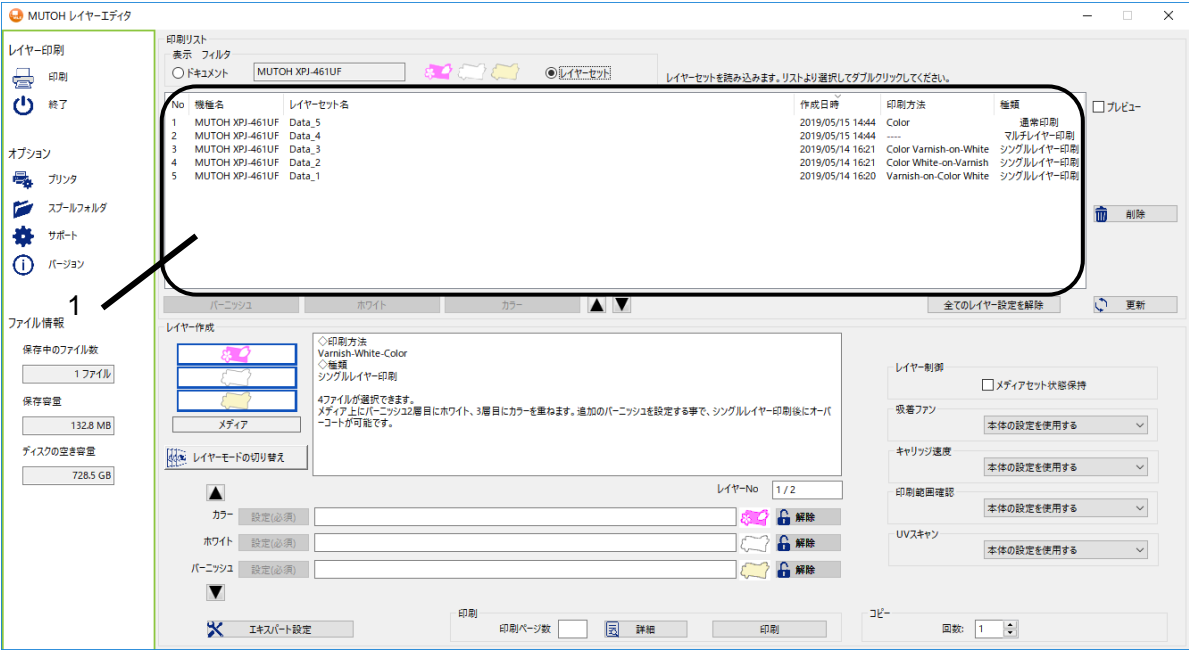
番号	名称	内容
29	エキスパート設定アイコン	エキスパート設定有効時に表示します。
30	エキスパート設定	「エキスパート設定」画面を表示します。
31	印刷ページ数	印刷するページ数を表示します。 重ね書き回数の合計が 45 を超えるとページ数を赤字で表示します。
32	詳細	詳細情報と追加設定ダイアログを起動します。 各レイヤーに設定されている印刷データ情報を確認できます。
33	印刷	印刷を開始します。
34	回数	設定中の印刷データのコピー回数を表示します。

## 7.3. メイン画面(3) リスト表示 ドキュメント



番号	名称	内容
1	ドキュメント名	印刷データのドキュメント名を表示します。名称変更により変更が可能です。
	作成日時	印刷データが作成された日時を表示します。
	カラーモード	印刷データが該当するカラーモードを表示します。
	印刷品質	印刷データの印刷品質です。 ”きれい”、”はやい”、”高精細”、または作画品質を表示します。
	ドット形式	印刷データのドット方式を表示します。バリアブルドットへの変換作業中は変換前のドット形式を表示します。変換終了後は印刷データに異常がなければ「バリアブル」を表示します。
	編集	印刷データがカラーモード編集に使用できるかどうかを解析中、判定結果で表示します。解析中は「 - 」表示し、判定結果を「OK」または「NG」で表示します。
	画像サイズ	印刷データの画像サイズを表示します。
	ファイルサイズ	印刷データのファイルサイズを表示します。

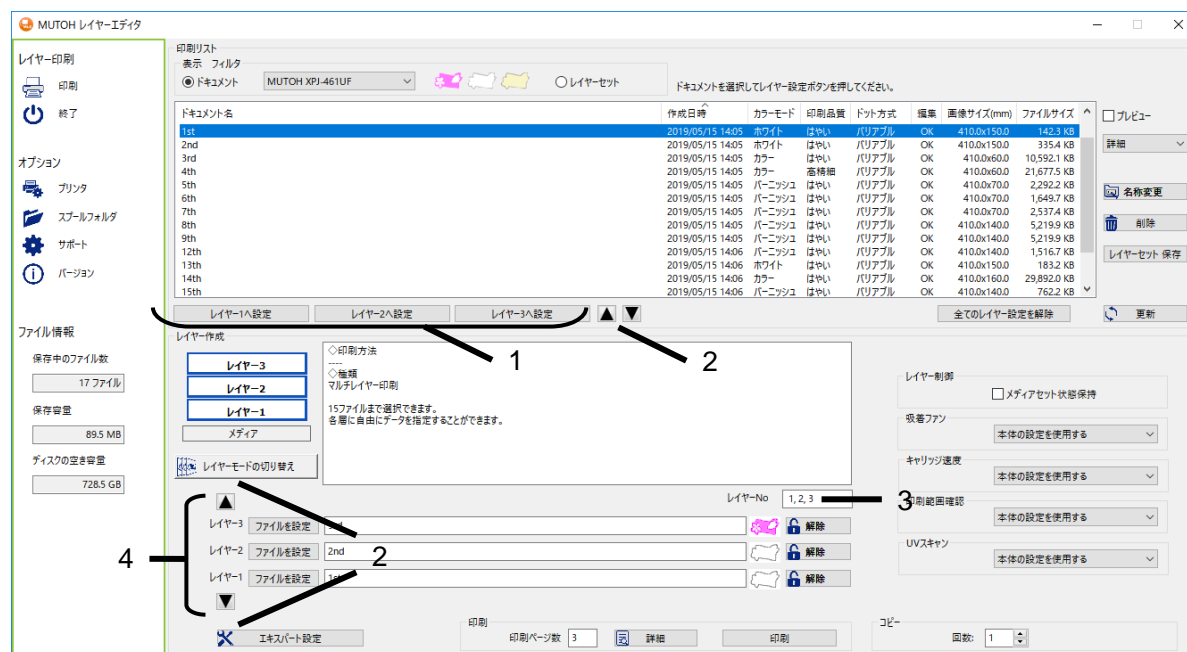
7.4. メイン画面(4) リスト表示 レイヤーセット



番号	名称	内容
1	No	番号を表示します。
	機種名	プリンタ機種名を表示します。
	レイヤーセット名	各レイヤーセット名称を表示します。
	作成日時	印刷データが作成された日時を表示します。
	印刷方法	レイヤーセットで設定する印刷方法を表示します。
	種類	レイヤーセットで設定する印刷種類を設定します。

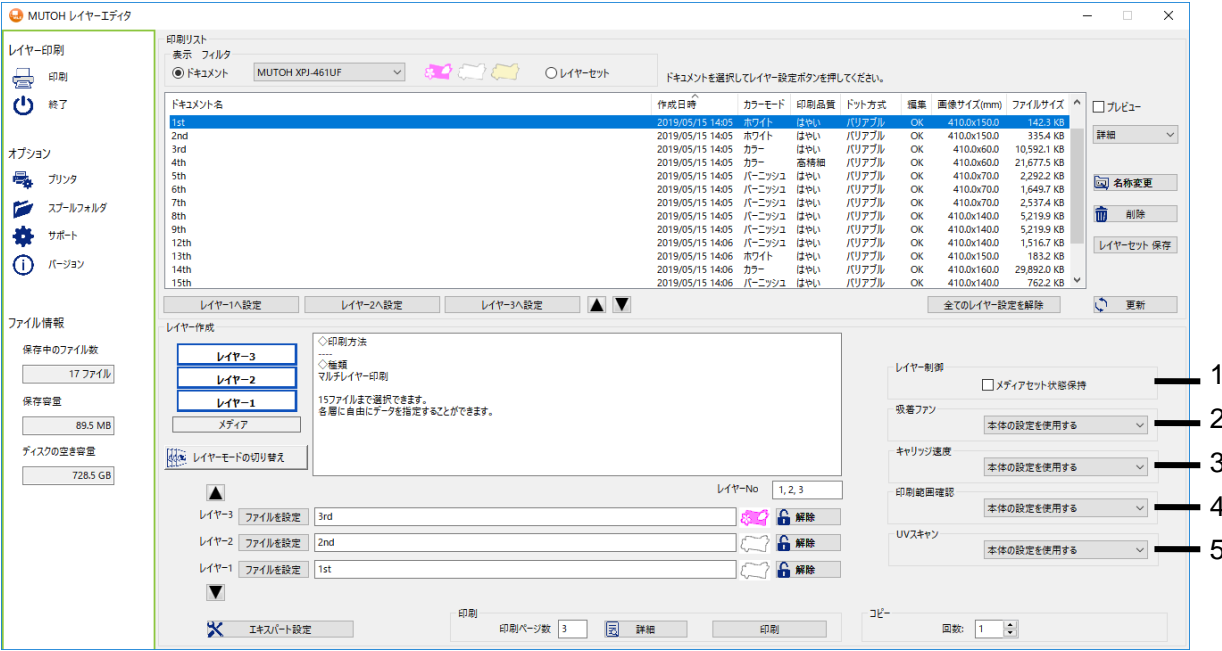


## 7.5. メイン画面(5) ドキュメント リスト表示 マルチレイヤー印刷



番号	名称	内容
1	レイヤー1、4、7、10、13 への設定	▲▼クリックより各レイヤーNoを表示します。 レイヤー1~15に印刷データを割り当てます。
	レイヤー2、5、8、11、14 への設定	
	レイヤー3、6、9、12、15 への設定	
2	▲▼	レイヤーNoを上下に1から3層刻みで切り替えます。
3	レイヤーNo	表示中のレイヤー番号1~15を1から3層刻みで表示します。
4	レイヤー1、4、7、10、13	▲▼クリックより各レイヤーNoを表示します。
	レイヤー2、5、8、11、14	
	レイヤー3、6、9、12、15	

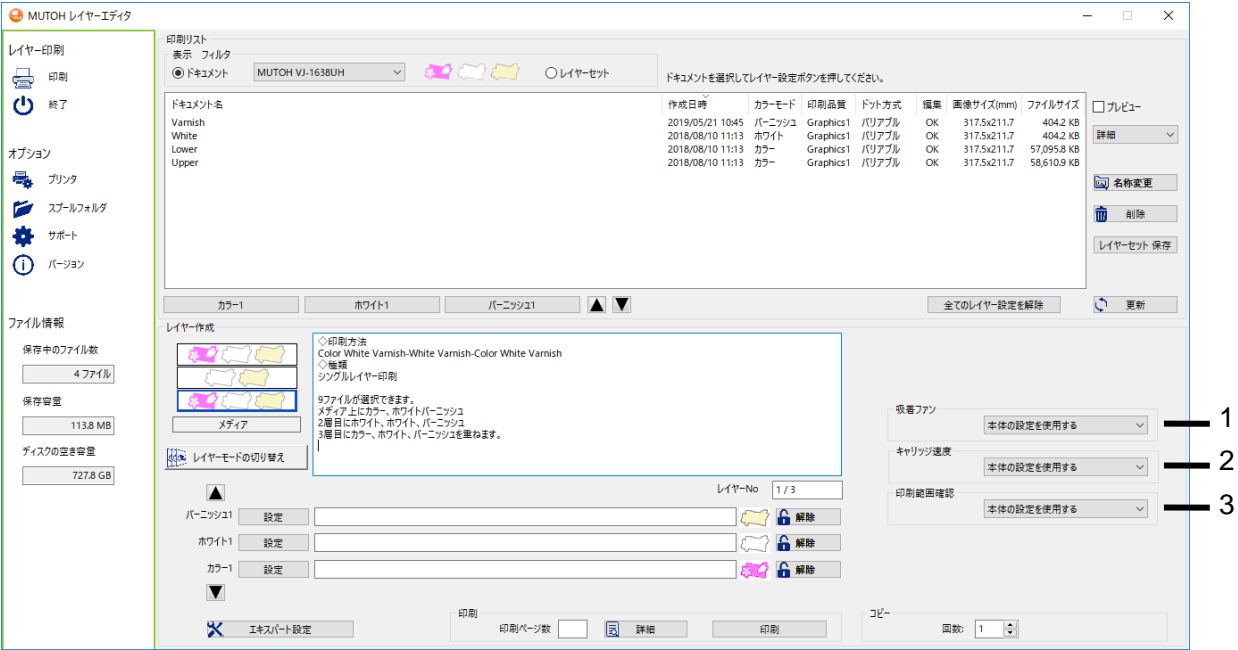
7.6. メイン画面(6) XPJ-461UF / XPJ-661UF / VJ-426UF / VJ-626UF オプション



番号	名称	内容
1	レイヤー制御 メディアセット保持	チェック時はマルチレイヤー印刷を有効にし、それ以外は単票印刷とします。
2	吸着ファン	吸着ファンの動作を設定します。 テーブルのメディアを固定する役割があります。
	設定値	本体の設定を使用する 強 中強 中 弱 Off

番号	名称	内容	
3	キャリッジ速度	印刷速度を設定します。 表面に凹凸や高低差があるメディア（ゴルフボール、ボールペン、スマートフォンケースなど）に印刷するときに設定すると、画質が向上します。	
		設定値	本体の設定を使用する
			100%      印刷速度を落としません。
			50%        印刷速度 50%にします。
			25%        印刷速度を 25%にします。
4	UV スキャン	UV スキャンを行う時の、メディア送り方向 1 インチあたりの往復回数を選択できます。	
		設定値	本体の設定を使用する
			2
			4
			8
5	印刷範囲確認	印刷する範囲の確認方法を設定します。	
		設定値	本体の設定を使用する
			オフ        印刷範囲を示しません。
			オート      ユーザーへの確認無しに印刷範囲を LED ポインタで示します。
			ステップ    四隅のポイントごとにユーザーに確認をしながら、印刷範囲を LED ポインタで示します。

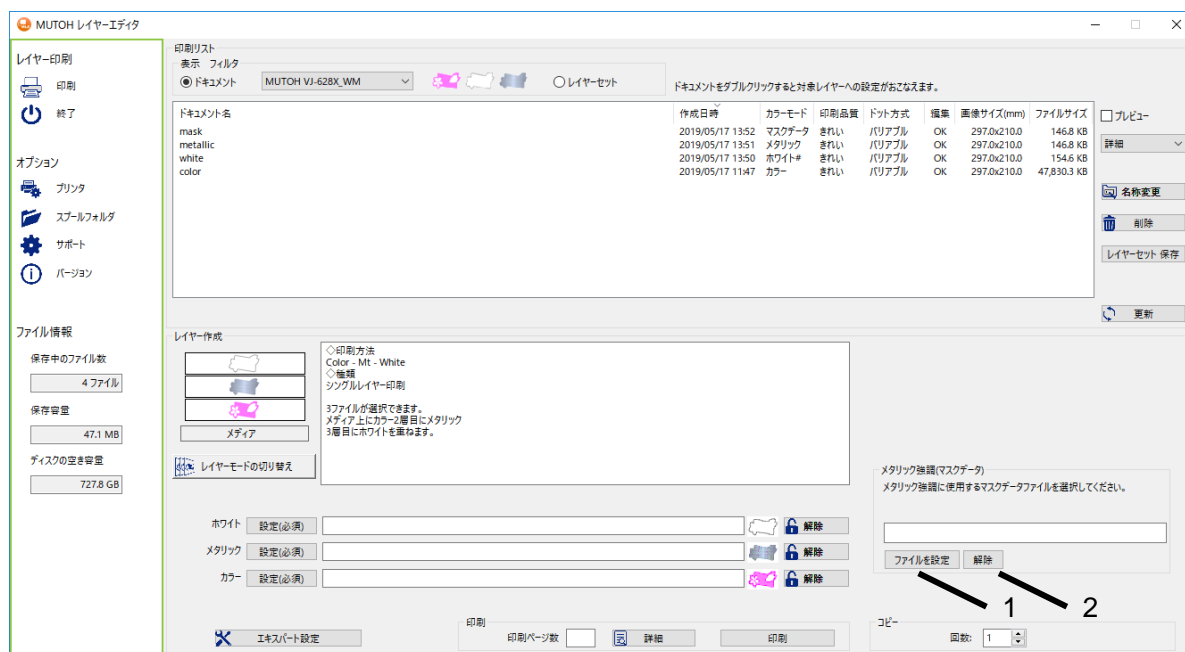
7.7. メイン画面(7) VJ-1638UH / VJ-1638UR / VJ-1626UH オプション



番号	名称	内容
1	吸着ファン	吸着ファンの動作を設定します。 テーブルのメディアを固定する役割があります。
		設定値
		本体の設定を使用する
		強
		中
		弱
		Off

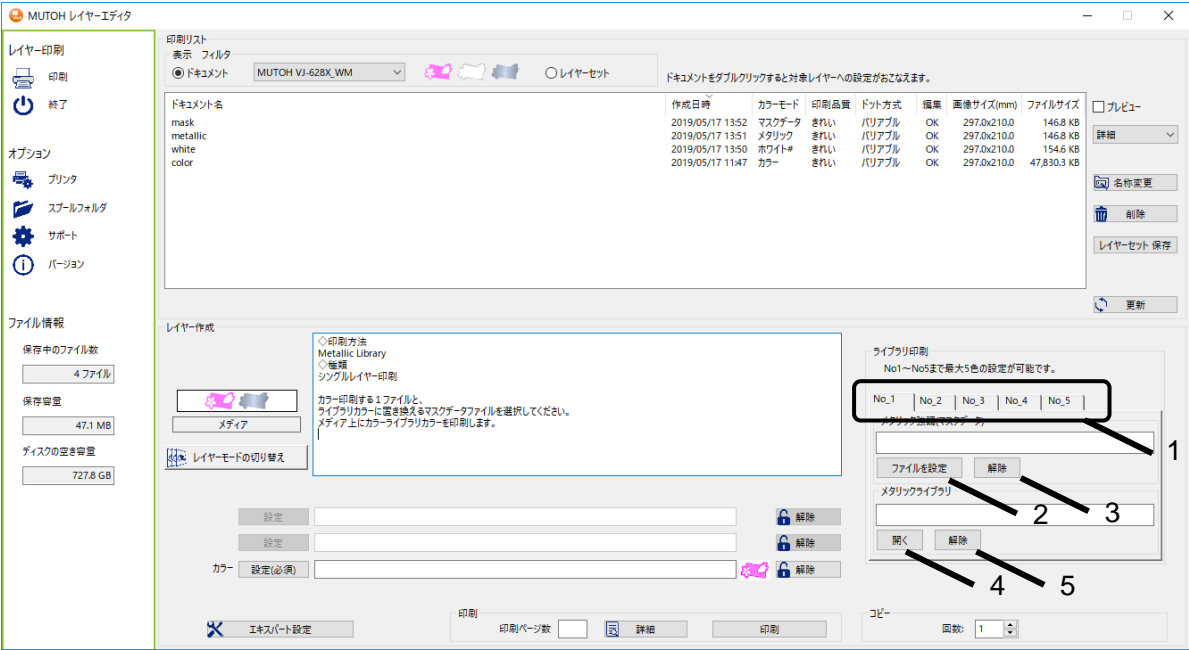
番号	名称	内容		
2	キャリッジ速度	印刷速度を設定します。		
		機種	VJ-1626UH VJ-1638UR	VJ-1638UH
		設定値	本体の設定を使用する	
			高速	420cps
			低速	320cps
				160cps
				80cps
3	印刷範囲確認	印刷する範囲の確認方法を設定します。		
		機種	VJ-1626UH、VJ-1638UH	
		設定値	本体の設定を使用する	
			オフ	印刷範囲を示しません。
			オート	ユーザーへの確認無しに印刷範囲を LED ポインタで示します。
			ステップ	四隅のポイントごとにユーザーに確認をしながら、印刷範囲を LED ポインタで示します。

## 7.8. メイン画面(8) VJ-628X / VJ-1628X 8色 ① オプション



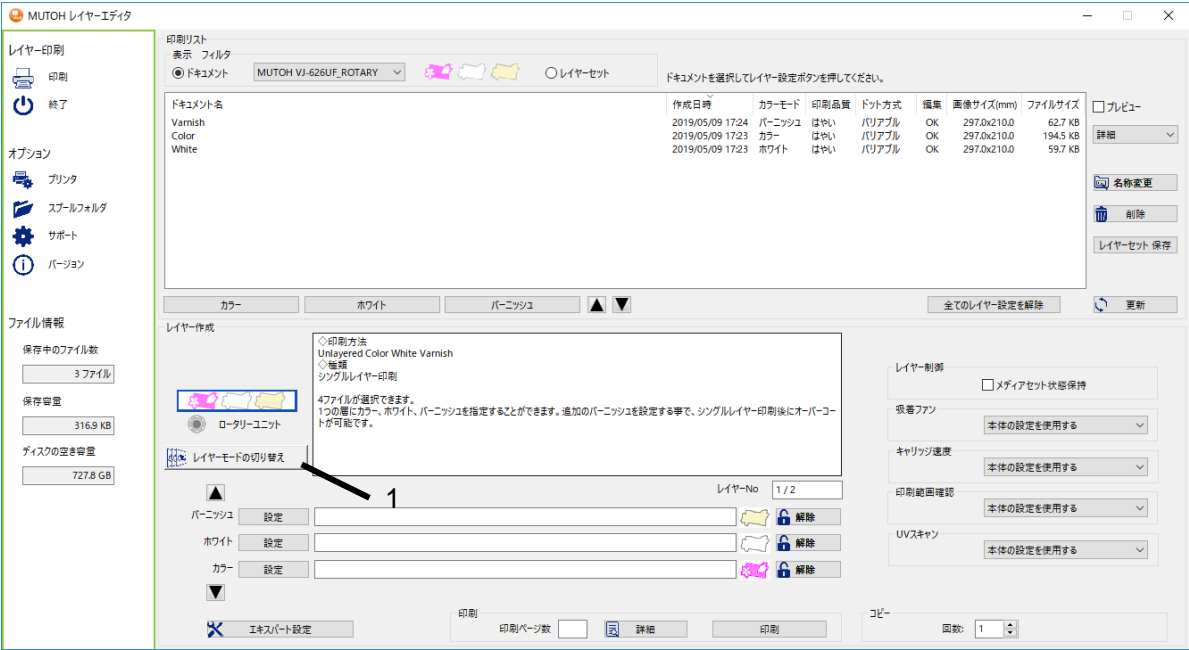
番号	名称	内容
1	マスクデータ ファイル設定	各レイヤーでメタリック印刷データが設定できる場合に有効になります。マスクデータを設定します。
2	マスクデータ 解除	マスクデータファイルの設定を解除します。

# 7.9. メイン画面(9) VJ-628X / VJ-1628X 8 色 ② Metallic Library



番号	名称	内容
1	タブ切り替え	No1~No5 まで 5 色の組み合わせが設定可能です。
2	マスクデータ ファイル設定	マスクデータを設定します。
3	マスクデータ 解除	マスクデータファイルの設定を解除します。
4	メタリックライブラリ 開く	メタリックライブラリファイル選択ダイアログを表示します。
5	メタリックライブラリ 解除	メタリックライブラリファイルの設定を解除します。

7.10. メイン画面(10) XPJ-661UF / VJ-626UF      ロータリーユニット

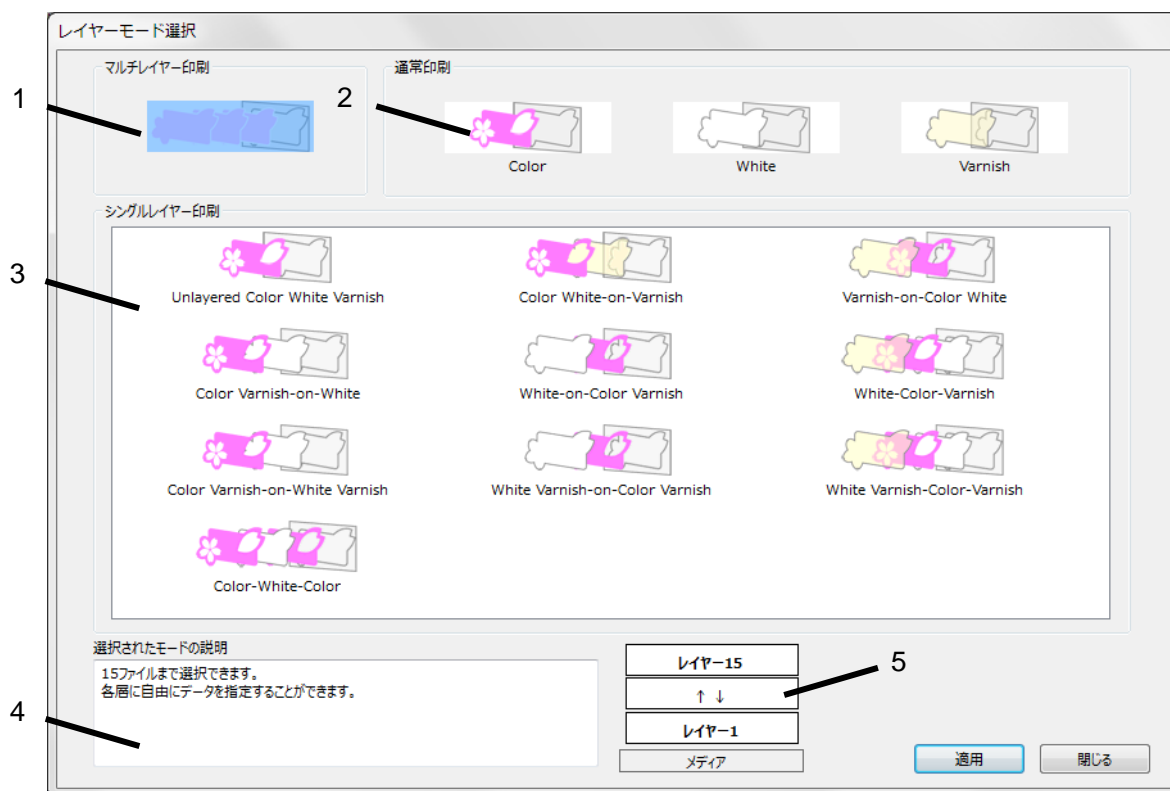


番号	名称	内容
1	レイヤーモードアイコン (ロータリーユニット専用)	「プリンタ」画面で「XPJ-661UF」「VJ-626UF」ロータリーユニット有効時、ロータリーユニットを表すこのアイコンを表示します。



## 7.11. レイヤーモード選択画面

メイン画面で作成する、レイヤーの組み合わせを選択する画面です。

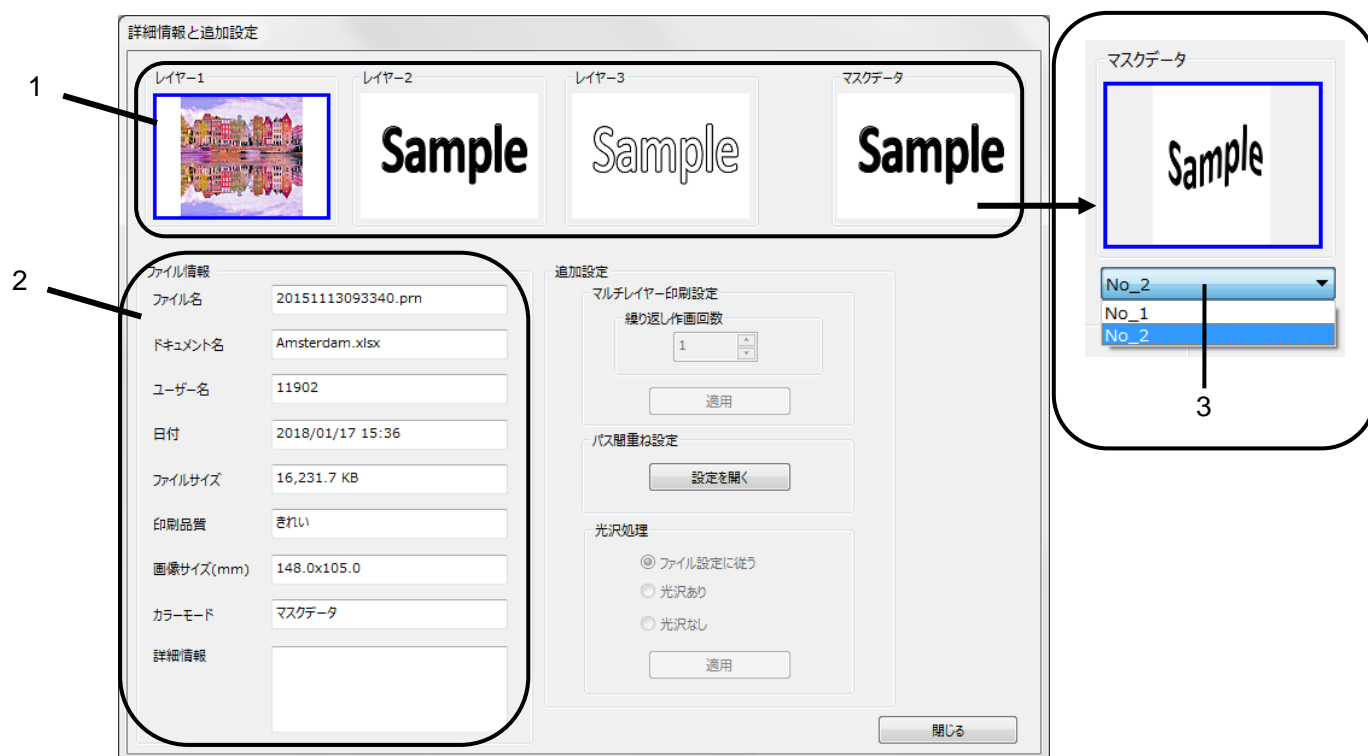


番号	名称	内容
1	マルチレイヤー印刷	各レイヤーモードを表示します。
2	通常印刷	希望するレイヤーモードを選択しクリックします。
3	シングルレイヤー印刷	[適用]クリック、モードが切り替わります。
4	選択されたモードの説明	選択したモードの説明が表示されます。
5	レイヤーモード イラスト	選択中のレイヤーモードをイラストで表示します。

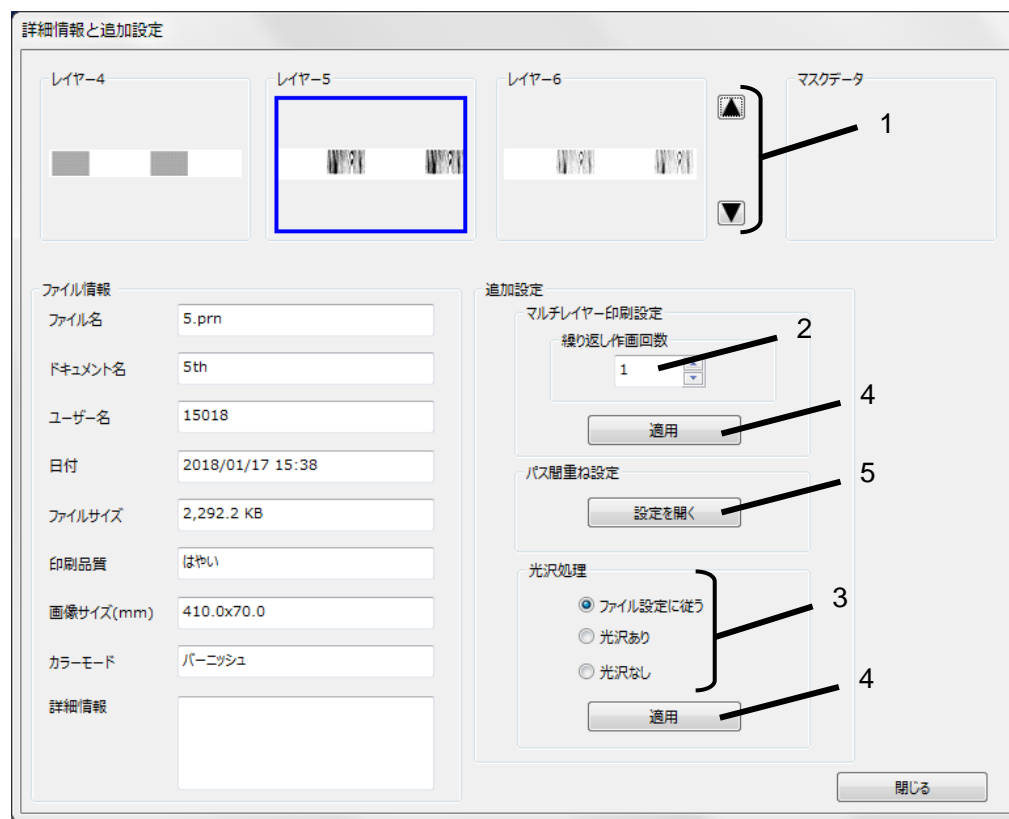
## 7.12. 詳細情報画面

選択中のファイルの詳細な情報を表示する画面です。

重ね印刷に関する追加設定も行えます。



番号	名称	内容
1	レイヤープレビュー	レイヤー1~3、マスクデータに設定された印刷データのプレビューを表示します。プレビュー画像をクリックすると該当するファイル情報を表示します。
2	ファイル情報	ファイルの詳細情報を表示します。
3	マスクデータ選択	Metallic Library モードでのレイヤー設定時、No1~No5 のデータ中より特定のデータを選択表示します。



番号	名称	内容
1	▲▼	レイヤーNo を上下に 1 から 3 層刻みで切り替えます。
2	繰り返し作画回数	マルチレイヤー印刷設定です。 現在のレイヤー全体を重ね印刷する回数を設定します。 15 回まで指定可能です。
3	ファイル設定に従う	マルチレイヤー印刷設定です。
	光沢あり	カラーモード「バーニッシュ」の時のみ選択可能です。
	光沢なし	光沢感を施した印刷を行うか選択します。
4	適用	上記 2 の「繰り返し作画回数」、及び 3 の「光沢処理」の選択を有効にします。
5	設定を開く	「パス間重ね設定」画面を表示します。

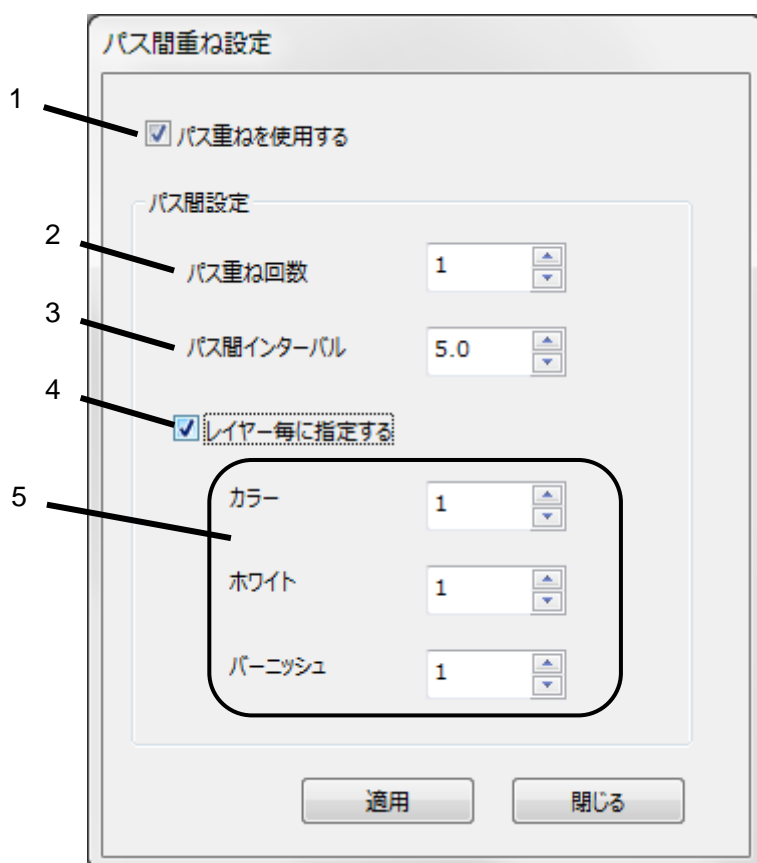
### 注 記

パス間重ね設定は、ドライバの指定が優先されます。

設定がある場合はパス間重ね設定メニューを開く事ができません。

## 7.13. パス間重ね設定

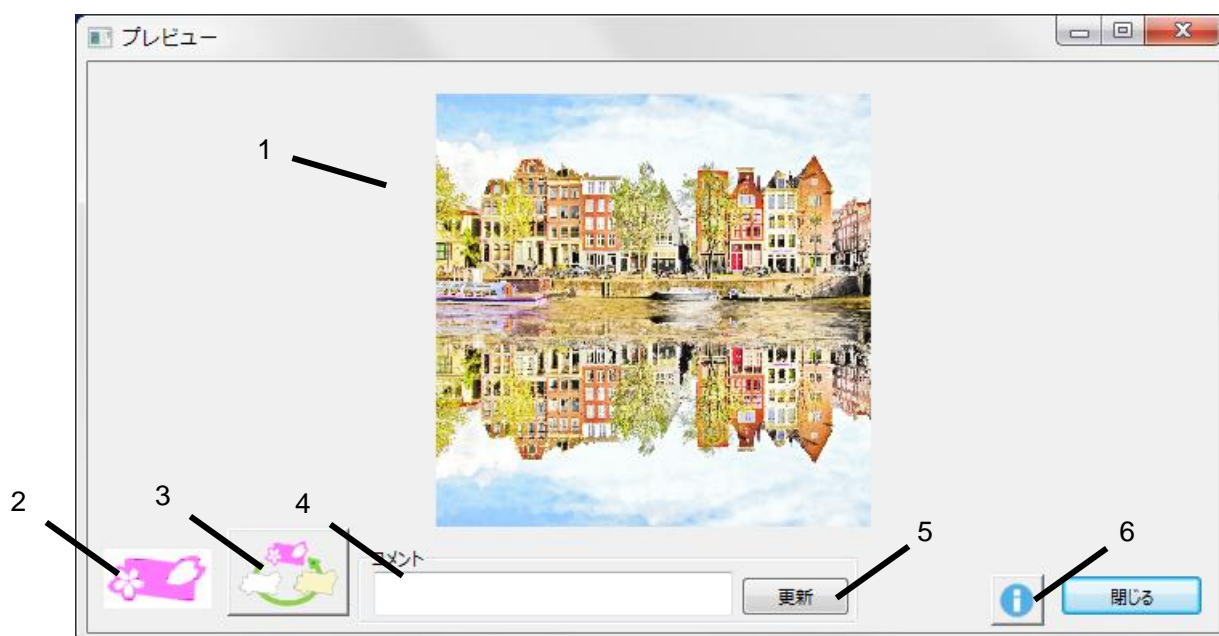
作画結果を濃くする目的で、インク重ねを行いたい場合に使用します。



番号	名称	内容
1	パス重ねを使用する	プリンタヘッドが同じデータを重ね印刷する回数とその間隔を変更する機能を使用する場合にチェックを付けます。
2	パス重ね回数	重ね描きする回数を指定します。
3	パス間インターバル	重ね描きする場合の乾燥用の待ち時間を指定します。
4	レイヤー毎に指定する。	シングルレイヤーの時、重ね描き回数をレイヤー毎に指定する場合にチェックをいれます。
5	カラー	色毎に重ね描き回数を指定します。
	ホワイト	
	バーニッシュ	

## 7.14. プレビュー表示

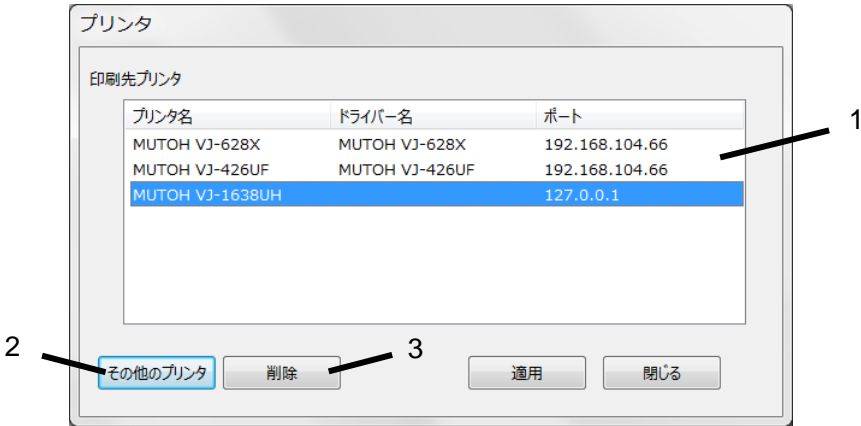
リストで選択された印刷データファイルのプレビューを表示します。



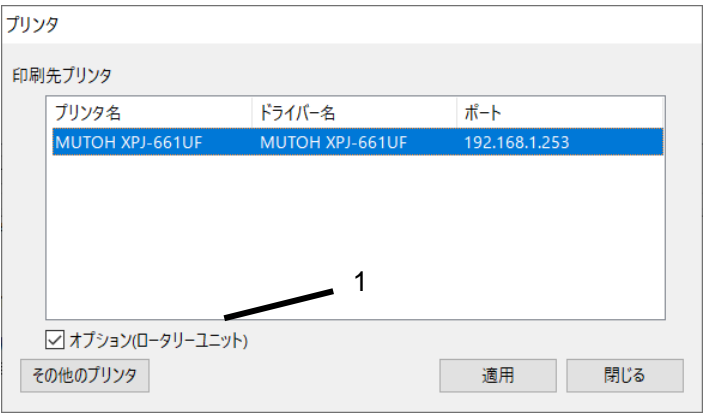
番号	名称	内容
1	プレビュー画像	リストで選択されている印刷データの画像を表示します。
2	カラーモードアイコン	印刷データが該当するカラーモードをアイコン表示します。
3	カラーモード編集	「カラーモード編集」画面を表示します。
4	コメント	印刷データのメモ機能です。
5	更新	「コメント」欄の内容を保存します。
6	ファイル情報	「ファイル情報」画面を表示します。

7.15. プリンタ管理

使用するプリンタを選択します。



番号	名称	内容
1	プリンター一覧	プリンタを一覧から選択します。
2	その他のプリンタ	「その他のプリンタ」画面を表示します。
3	削除	「その他のプリンタ」で設定したポート番号を削除します。



番号	名称	内容
1	オプション(ロータリーユニット)	プリンター一覧より「XPJ-661UF」「VJ-626UF」を選択時表示します。 「VJ-626UF ロータリーユニット」を設定します。

注 記

このページではプリンタドライバの設定を参照しています。

プリンタドライバのポート(IP アドレス)の書き換えはプリンタドライバから行ってください。

詳細については“プリンタドライバユーザーズガイド”を参照してください。

7.16. その他のプリンタ

プリンタ名、IP アドレスを設定します。

その他のプリンタ

プリンタ名

1

MUTOH VJ-1638UH

IP アドレス

2

127 . 0 . 0 . 1

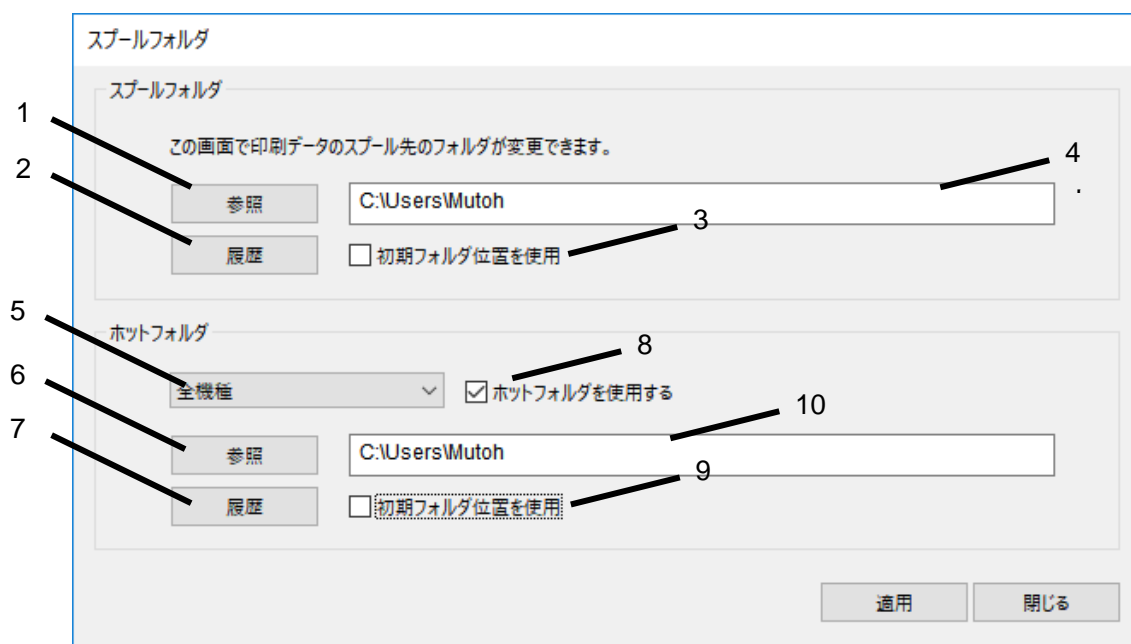
追加

閉じる

番号	名称	内容
1	プリンタ名	Layer Editor で使用する VJ プリンタを一覧から選択します。
2	IP アドレス	IP アドレスを入力します。

## 7.17. フォルダ管理(スプールフォルダ、ホットフォルダ)

Layer Editor が参照するフォルダの設定、及び RIP 出力ファイルの保存位置を参照するホットフォルダを表示します。

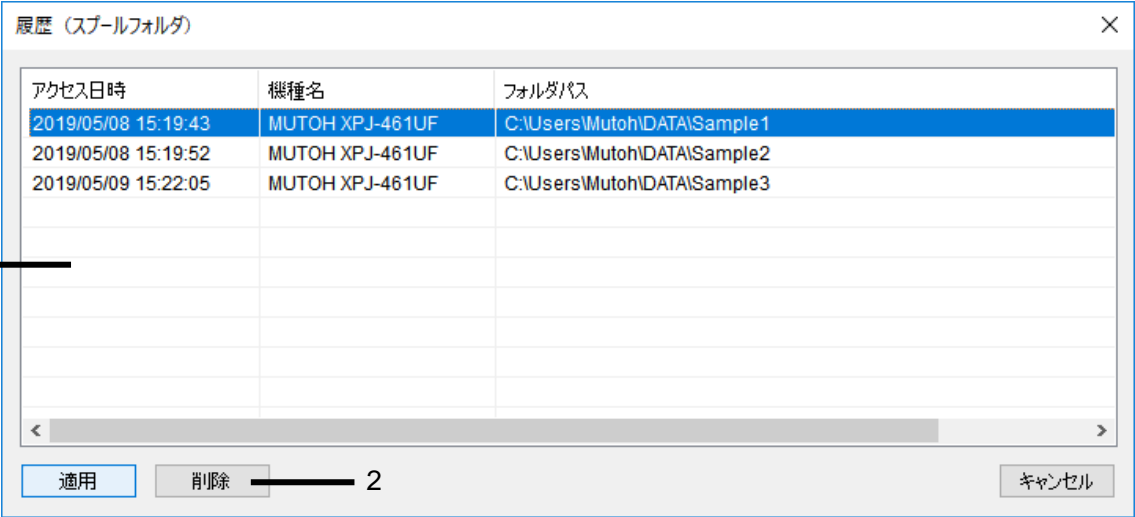


番号	名称	内容
1	参照	「初期位置を使う」のチェックを外すと有効になります。 「フォルダーの参照」を表示します。
2	履歴	「履歴(スプールフォルダ)」画面を表示します。
3	初期フォルダ位置を使用	インストール時の位置に戻す場合に指定します。
4	ファイルパス	スプールフォルダの現在の位置を表示します。
5	プリンタ名	ホットフォルダを使用する機種を選択します。
6	参照	「初期位置を使う」のチェックを外すと有効になります。 「フォルダーの参照」を表示します。
7	初期フォルダ位置を使用	「✓」でデフォルトホットフォルダーを使用します。
8	ホットフォルダを使用する	「✓」でホットフォルダを有効にします。
9	履歴	「履歴(ホットフォルダ)」画面を表示します。
10	ファイルパス	ホットフォルダの現在位置を表示します。



7.18. フォルダ履歴

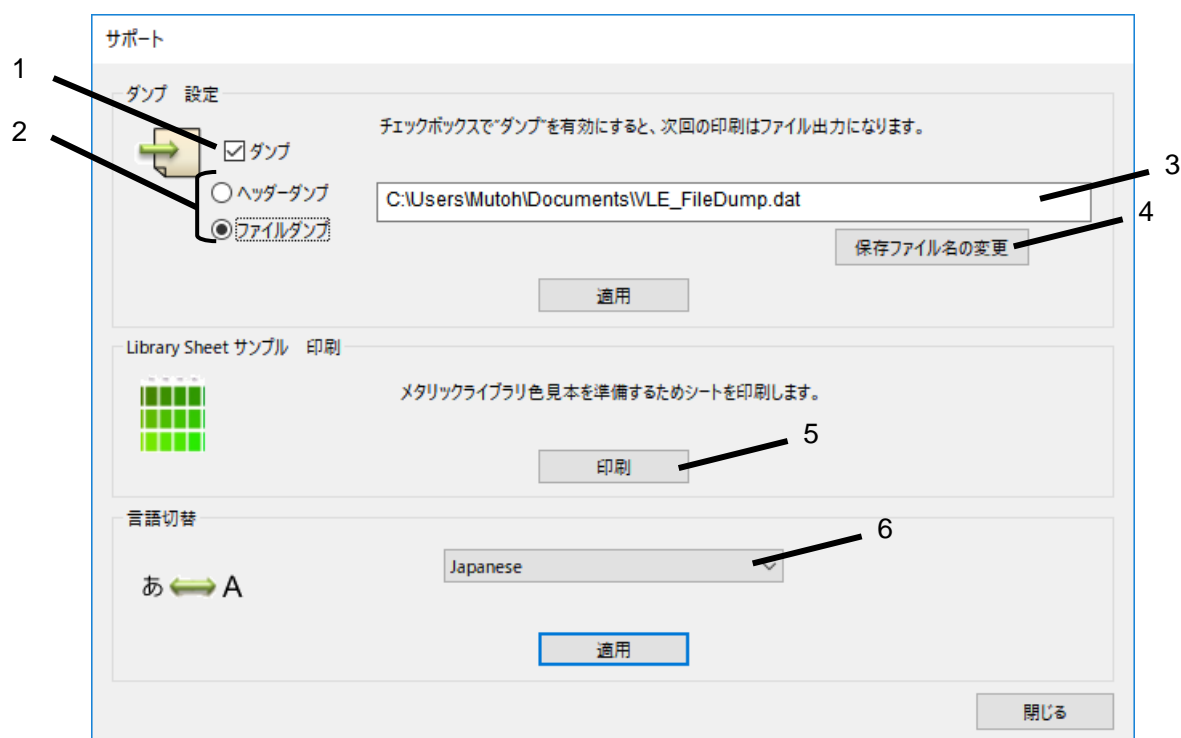
過去にスプールフォルダ、ホットフォルダとして設定したアクセスパスを履歴表示します。



番号	名称	内容
1	アクセス日時	参照フォルダにアクセスした日時を表示します。
	機種名	参照フォルダにアクセスした当時のプリンタ機種名を表示します。
	フォルダパス	参照フォルダのパスを表示します。
2	削除	参照フォルダパスを削除します。

## 7.19. サポート

プリンタに送る送信データのファイル保存をおこなうダンプ設定、及び Mutoh Metallic Library で使用する Library カラーの見本を印刷します。



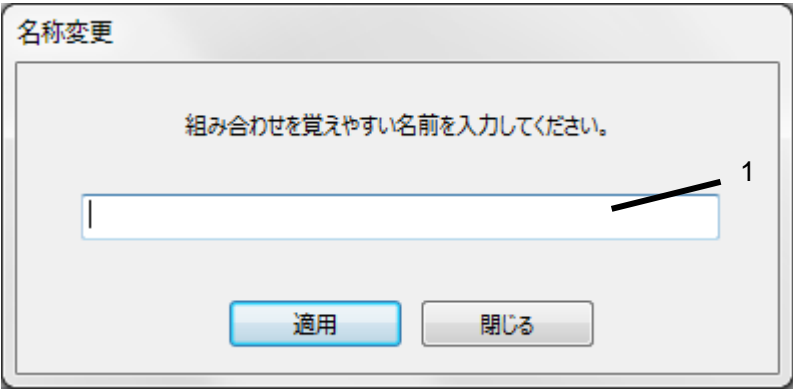
番号	名称	内容
1	ダンプチェックボックス	✓によりダンプ機能が有効になります。
2	ヘッダーダンプ	送信される印刷データコマンド部分をファイル保存します。
	ファイルダンプ	送信される印刷データ全てをファイル保存します。
3	保存データパス	ダンプファイルパスを表示します。
4	保存ファイル名の変更	ファイル保存ダイアログを起動します。
5	印刷	Library Sheet サンプルの印刷を開始します。(*1)
6	言語選択	日本語、英語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、フランス語、オランダ語、ポルトガル語よりのいずれかを選択します。

### 注 記

(\*1) 機種選択が VJ628X8 色セットの場合のみ印刷できます。

7.20. 名称変更

印刷で使用するドキュメント名を自由に変更できます。



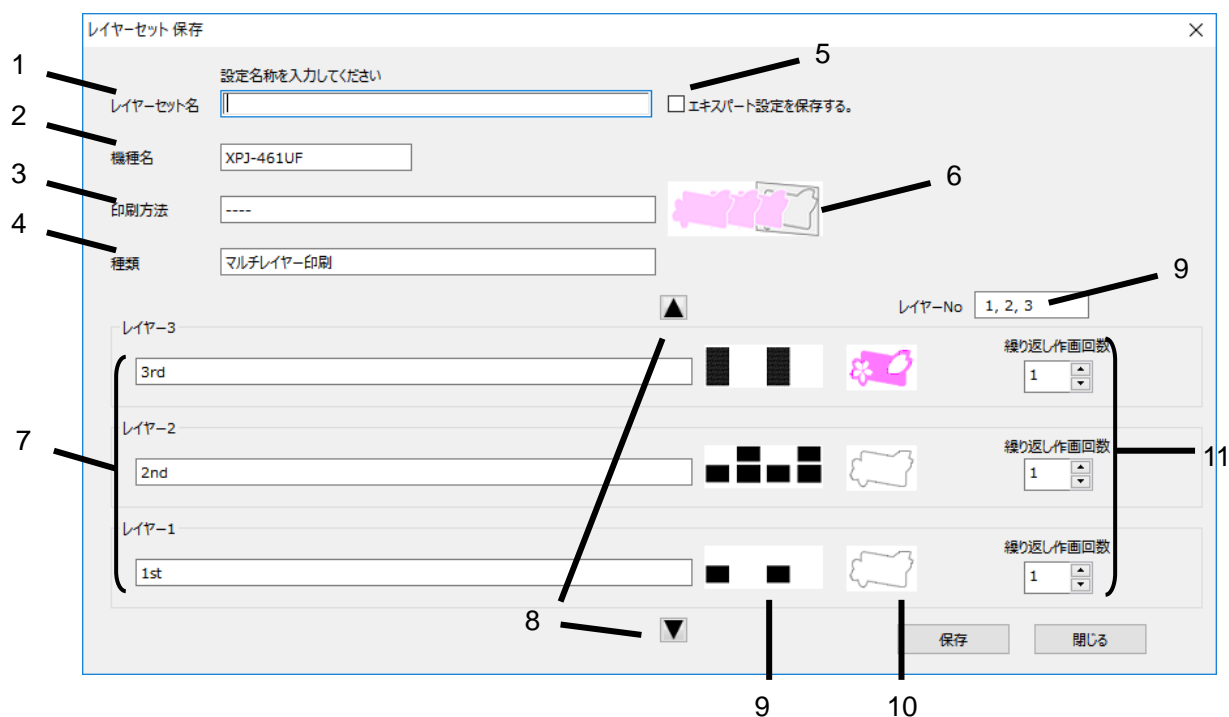
番号	名称	内容
1	名称変更入力欄	新規に使用する名称を入力します。

**注 記**

レイヤー設定時、印刷データの組み合わせに共通の名称を設定することで利便性が向上します。

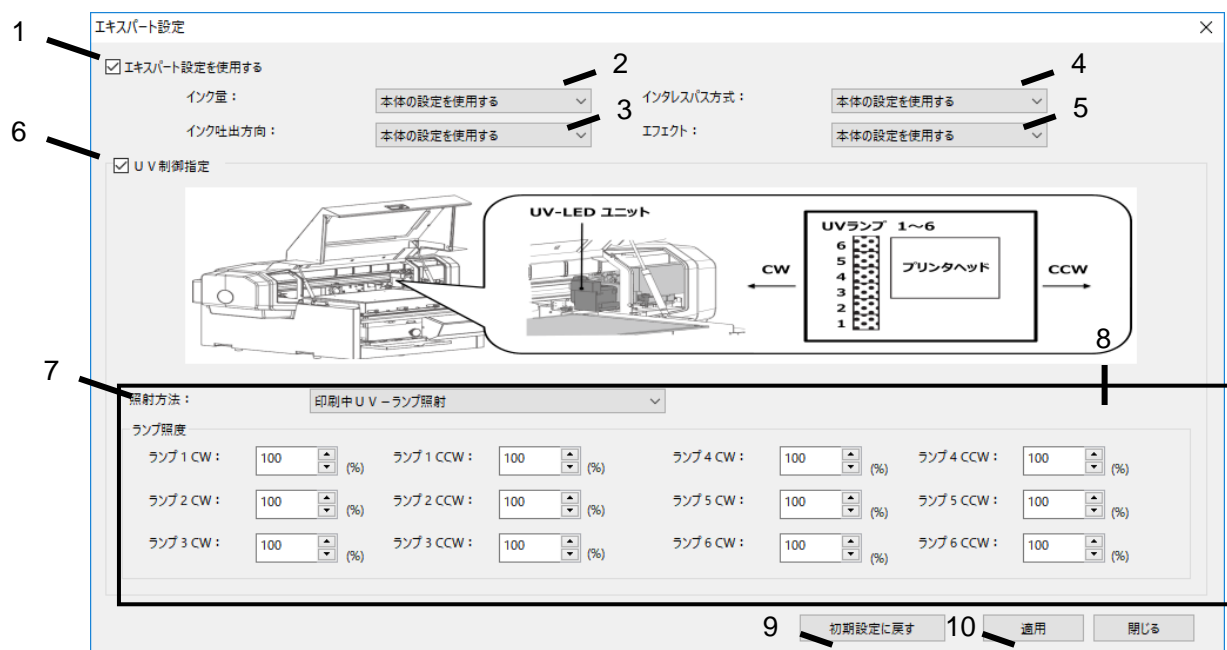
## 7.21. レイヤーセット保存

1 度印刷した設定内容を保存し再び同じ内容で印刷します。



番号	名称	内容
1	レイヤーセット名	レイヤーセット保存時の名称を入力します。
2	機種名	レイヤーセット保存時のプリンタ機種名を表示します。
3	印刷方法	レイヤーセット保存時の印刷方法を表示します。
4	種類	レイヤーセット保存時の印刷種類を表示します。
5	エキスパート設定を保存する。	レイヤーセット保存時のエキスパート設定の内容の保存の有無をチェックボックスで設定します。
6	インク構成	印刷方法をインク構成アイコンで表示します。
7	レイヤー	各レイヤーに割り当てられた印刷データファイル名を表示します。
8	▲▼	レイヤー表示を上下に 1 から 3 層刻みで切り替えます。
9	プレビュー	各印刷データの表示画像をプレビュー表示します。
10	カラーモードアイコン	各レイヤーに設定できるカラーをアイコンで表示します。
11	繰り返し作画回数	マルチレイヤー印刷設定時に表示します。現在のレイヤー全体を重ね印刷する回数を設定します。15 回まで指定可能です。

## 7.22. エキスパート設定(1) VPJ-461UF / XPJ-661UF

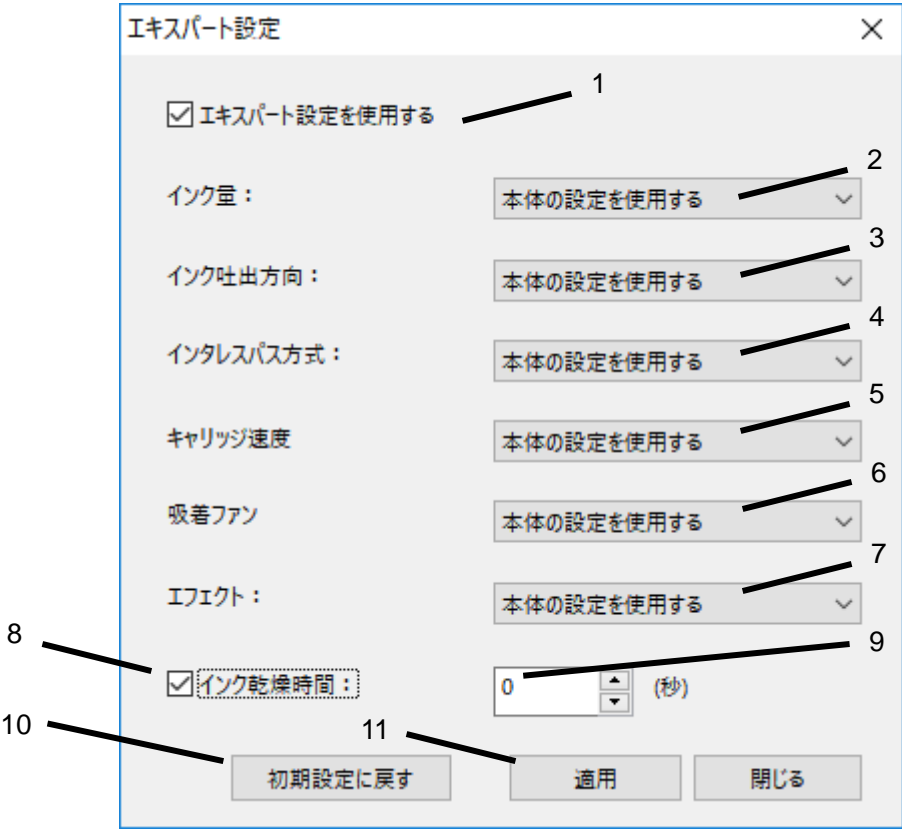


番号	名称	内容
1	エキスパート設定を使用する	✓によりエキスパート設定機能が有効になります。
2	インク量	ドットファミリーを設定します。
		設定値
		本体の設定を使用する
		大 中 小
3	インク吐出方向	インク吐出するヘッド操作方向を設定します。
		設定値
		本体の設定を使用する
		片方向(CW) 双方向
4	インタレスパス方式	インタレスパス方式を設定します。
		設定値
		本体の設定を使用する
		1 パス 2 パス 4 パス

番号	名称	内容	
5	エフェクト	エフェクト機能を設定します。 設定した作画モードに微調整を加えて、画質を向上します。	
		設定値	本体の設定を使用する
			None
			i-Weave UV
6	UV 制御指定	✓により UV ランプ照射方法が有効になります。	
7	照射方法	UV の照射方法を設定します。	
		設定値	本体の設定を使用する
			印刷中 UV-LED 照射
			印刷後 UV-LED 照射
			印刷中、印刷後 UV-LED 照射
			インク吐出なし UV-LED 照射
8	ランプ L1CW ～ ランプ L6CW	各 UV ランプの照度比を入力します。 0 から最大 100%まで設定できます。	
	ランプ L1CCW ～ ランプ L6CCW		
9	初期設定に戻す	全てのパラメータをリセットします。	
10	適用	上記 2～8 までの設定パラメータを有効にします。	

7.23. エキスパート設定(2) VJ-628X / VJ-1628X / VJ-1617H / VJ-628MP /

VJ-1627MH

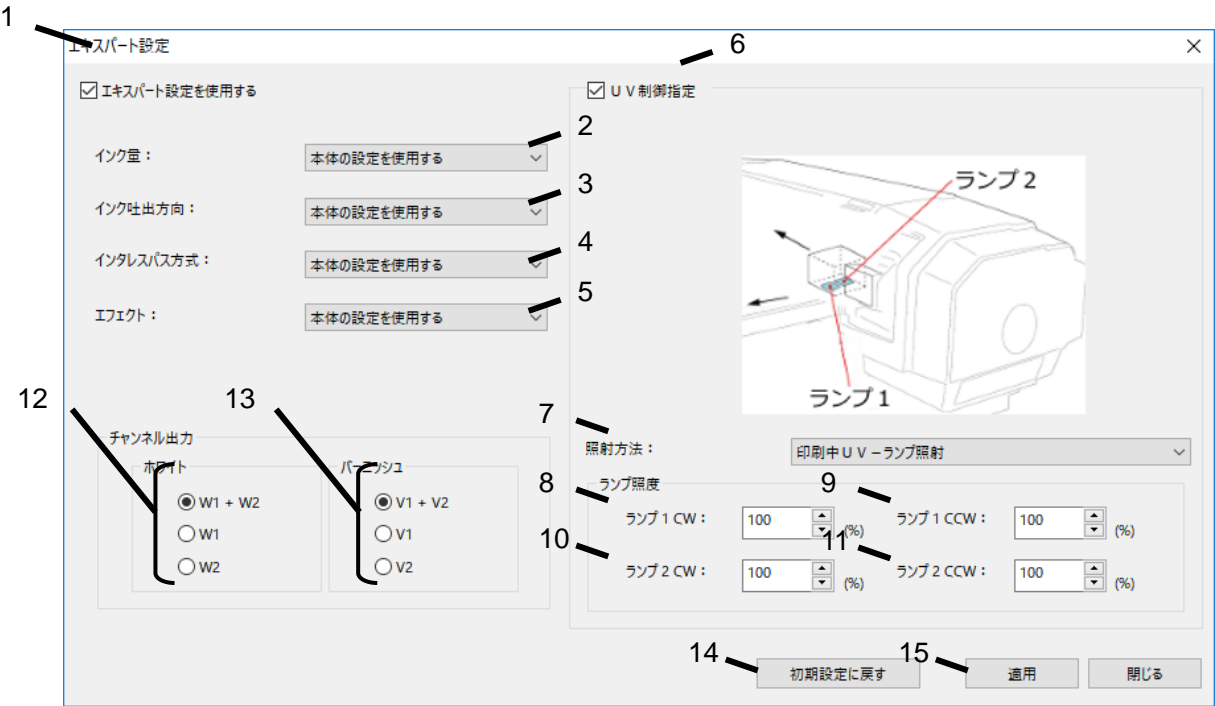


番号	名称	内容
1	エキスパート設定を使用する	✓によりエキスパート設定機能が有効になります。
2	インク量	ドットファミリーを設定します。
		設定値 本体の設定を使用する
		大
		中
3	インク吐出方向	インク吐出するヘッド操作方向を設定します。
		設定値 本体の設定を使用する
		片方向(CW)
		双方向

番号	名称	内容	
4	インタレスパス方式	インタレスパス方式を設定します。	
		設定値	本体の設定を使用する
			1 パス
			2 パス
			4 パス
5	キャリッジ速度	印刷速度を設定します。	
		設定値	本体の設定を使用する
			低速      印刷速度を低速にします。
			高速      印刷速度を高速にします。
6	吸着ファン	吸着ファンの動作を設定します。薄いメディアやコシのないメディアに印刷するときは、吸着ファンを弱めると、シワの防止やメディア詰まりの防止に効果があります。	
		設定値	本体の設定を使用する
			強
			中
			弱
			Off
7	エフェクト	エフェクト機能を設定します。 設定した作画モードに微調整を加えて、画質を向上します。	
		設定値	本体の設定を使用する
			None
			Wave
			Fine&Fuss
			Fog
			Fine&Fog
8	インク乾燥時間 チェックボックス	✓によりインク乾燥時間設定機能が有効になります。	
9	インク乾燥時間 入力ボックス	インク乾燥時間を入力します。 0 から最大 3600 秒まで設定できます。	
10	初期設定に戻す	全てのパラメータをリセットします。	
11	適用	上記 2～9 までの設定パラメータを有効にします。	



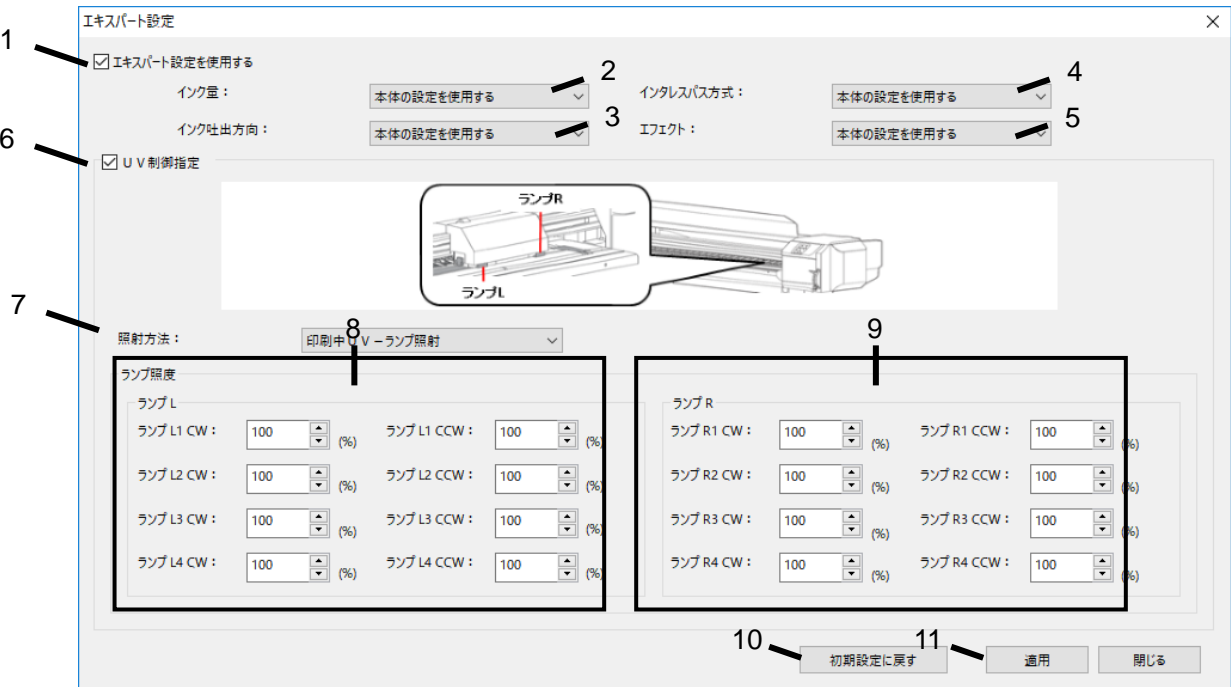
7.24. エキスパート設定(3) VJ-426UF / VJ-626UF / VJ-1626UH



番号	名称	内容
1	エキスパート設定を使用する	✓によりエキスパート設定機能が有効になります。
2	インク量	ドットファミリーを設定します。 設定値 本体の設定を使用する 大 中 小
3	インク吐出方向	インク吐出するヘッド操作方向を設定します。 設定値 本体の設定を使用する 片方向(CW) 双方向
4	インタレスパス方式	インタレスパス方式を設定します。 設定値 本体の設定を使用する 1 パス 2 パス 4 パス

番号	名称	内容	
5	エフェクト	エフェクト機能を設定します。 設定した作画モードに微調整を加えて、画質を向上します。	
		設定値	本体の設定を使用する
			None
			i-Weave UV
6	UV 制御指定	✓により UV ランプ照射方法が有効になります。	
7	照射方法	UV の照射方法を設定します。	
		機種	VJ-426UF      VJ-626UF
		設定値	本体の設定を使用する      本体の設定を使用する
			印刷中 UV-LED 照射      印刷中 UV-LED 照射
			印刷後 UV-LED 照射      印刷後 UV-LED 照射
			-      印刷中、印刷後 UV-LED 照射
8	ランプ 1CW	各 UV ランプの照度比を入力します。 0 から最大 100%まで設定できます。	
9	ランプ 1CCW		
10	ランプ 2CW		
11	ランプ 2CCW		
12	W1 + W2	ホワイトインクのチャンネル出力を設定します。 どちらか片側、または両方のチャンネルを使用するか設定できます。	
	W1		
	W2		
13	V1 + V2	バーニッシュインクのチャンネル出力を設定します。 どちらか片側、または両方のチャンネルを使用するか設定できます。	
	V1		
	V2		
14	初期設定に戻す	全てのパラメータをリセットします。	
15	適用	上記 2～13 までの設定パラメータを有効にします。	

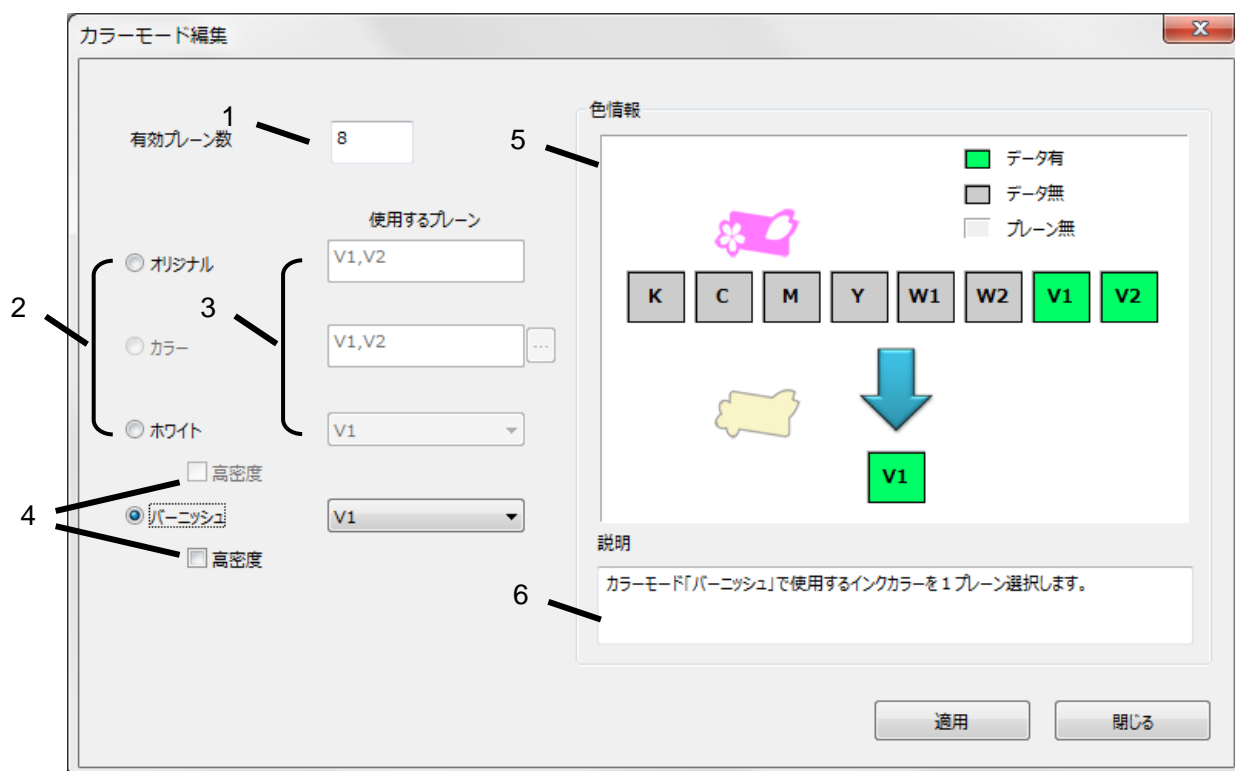
7.25. エキスパート設定(4) VJ-1638UH / VJ-1638UR



番号	名称	内容
1	エキスパート設定を使用する	✓によりエキスパート設定機能が有効になります。
2	インク量	ドットファミリーを設定します。 設定値 本体の設定を使用する 大 中 小
3	インク吐出方向	インク吐出するヘッド操作方向を設定します。 設定値 本体の設定を使用する 片方向(CW) 双方向
4	インタレスパス方式	インタレスパス方式を設定します。 設定値 本体の設定を使用する 1 パス 2 パス 4 パス

番号	名称	内容	
5	エフェクト	エフェクト機能を設定します。 設定した作画モードに微調整を加えて、画質を向上します。	
		設定値	本体の設定を使用する
			None
			i-Weave UV
6	UV 制御指定	✓により UV ランプ照射方法が有効になります。	
7	照射方法	UV の照射方法を設定します。	
		設定値	本体の設定を使用する
			印刷中 UV-LED 照射
8	ランプ L1CW ～ ランプ L4CW	各 UV ランプの照度比を入力します。 0 から最大 100%まで設定できます。	
	ランプ L1CCW ～ ランプ L4CCW		
9	ランプ R1CW ～ ランプ R4CW	各 UV ランプの照度比を入力します。 0 から最大 100%まで設定できます。	
	ランプ R1CCW ～ ランプ R4CCW		
	10	初期設定に戻す	全てのパラメータをリセットします。
11	適用	上記 2～8 までの設定パラメータを有効にします。	

## 7.26. カラーモード編集



番号	名称	内容
1	有効プレーン数	現ファイルの有効プレーン数を表示します。
2	カラーモード	現ファイルから変更するカラーモードを選択します。
3	使用プレーン	有効にするインクプレーンを選択します。
4	高密度	インク濃度を濃くする場合に使用します。
5	色情報	設定前、設定後のインクプレーンを表示します。
6	説明	各カラーモードの選択肢に応じて説明を表示します。

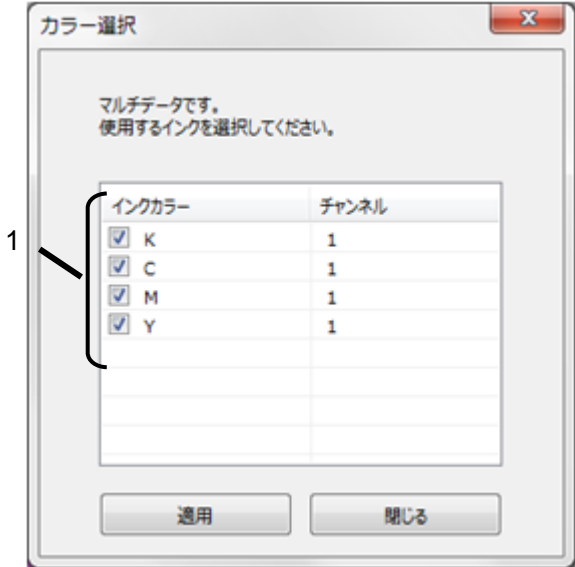
7.27. カラー選択

シングルプレーン



番号	名称	内容
1	インクカラー	「K / C / M / Y」中よりインクカラーをいずれか選択します。

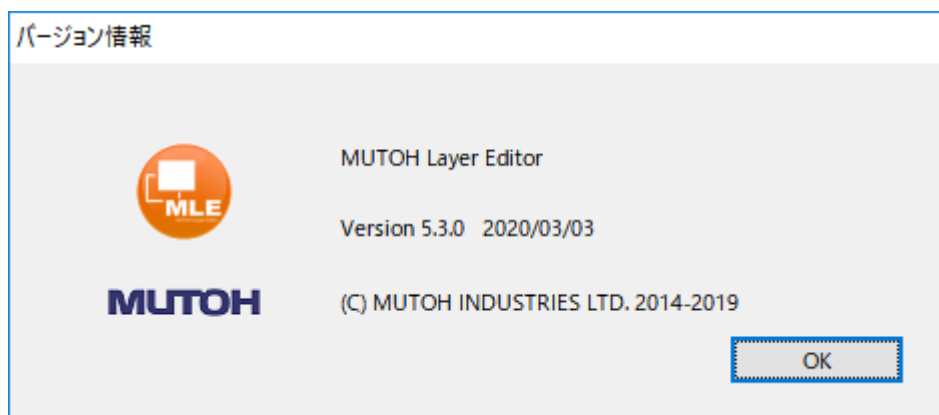
マルチプレーン



番号	名称	内容
1	インクカラー	「K / C / M / Y」中よりインクカラーを✓ボックスで選択します

## 7.28. バージョン表示画面

バージョンを確認する画面です。



## 8. FAQ

この章では、本アプリケーションを使用する際に生じる疑問と回答を記載します。

### 1). レイヤー印刷の「シングルレイヤー」と「マルチレイヤー」はどちらを選んだらよいのでしょうか？

通常レイヤー印刷を行う場合は「マルチレイヤー印刷」を選びます。

シングルレイヤーは1回のプリントヘッドの移動で複数のレイヤーを一度に印刷します。1層あたりのプリントヘッドの面積が狭くなる為に印刷速度が遅くなります。

シングルレイヤーは、1回のプリントヘッドの移動で各レイヤーの印刷を行うためにプリントヘッドノズルがレイヤー毎に割り振られています。そのため印刷速度が遅くなります。

マルチレイヤーでは1層ずつ印刷し、一旦メディアを引き戻しますが、プリントヘッド全面で印刷しますのでスループットが低下しません。

シングルレイヤーはマルチレイヤーでうまく作画できないようなメディアがあった時にお試しください。

### 2). パス間重ね設定ボタンが選択できません。

ファイルに既に繰り返し重ね描きの指定が含まれていると、Layer Editor では指定できません。





**MUTOH**